

資料編

資料1 計画策定の経緯

年月日	内容
平成24年12月21日	第1回岸和田市生物多様性地域戦略委員会 議題：策定スケジュール、委員会の進め方 市民アンケート(案)について
平成25年1月下旬	岸和田市の生物多様性について市民・団体アンケート(郵送) 対象：無作為抽出の市民1,000名 岸和田市内で生物多様性に関連した活動をする団体等39団体
平成25年2月5日	平成24年度第1回岸和田市環境審議会 議題：(仮称)岸和田市生物多様性地域戦略の策定について諮問 岸和田市環境審議会生物多様性地域戦略部会の設置について
平成25年2月14日	第2回岸和田市生物多様性地域戦略委員会 議題：庁内の現状と課題について 基本的な構成と考え方について
平成25年3月21日	第3回岸和田市生物多様性地域戦略委員会 議題：アンケート結果について、今後の進め方について (仮称)岸和田市生物多様性地域戦略骨子(案)について
平成25年5月24日	第4回岸和田市生物多様性地域戦略委員会 議題：岸和田市環境審議会生物多様性地域戦略部会について 原課の意見について、戦略がめざすものについて
平成25年6月5日	第1回岸和田市環境審議会生物多様性地域戦略部会 議題：岸和田市環境審議会生物多様性地域戦略部会について これまでの経過とスケジュールについて 現状と課題について、戦略のめざすものについて
平成25年8月13日	第5回岸和田市生物多様性地域戦略委員会 議題：第1回岸和田市環境審議会生物多様性地域戦略部会の意見について 行動計画について、推進体制について
平成25年10月1日	第2回岸和田市環境審議会生物多様性地域戦略部会 議題：これまでの経過とスケジュールについて (仮称)岸和田市生物多様性地域戦略(案)について
平成25年11月15日	第6回岸和田市生物多様性地域戦略委員会 議題：第2回岸和田市環境審議会生物多様性地域戦略部会の意見について (仮称)岸和田市生物多様性地域戦略(案)について
平成25年12月3日	第3回岸和田市環境審議会生物多様性地域戦略部会 議題：これまでの経過とスケジュールについて (仮称)岸和田市生物多様性地域戦略(案)について
平成26年1月20日	平成25年度第1回岸和田市環境審議会 報告事項：(仮称)岸和田市生物多様性地域戦略(案)について(中間報告)
平成26年3月9日～ 平成26年4月8日	パブリックコメントの実施
平成26年7月10日	岸和田市環境審議会 議題：(仮称)岸和田市生物多様性地域戦略の策定について(答申)

資料2 岸和田市環境審議会 委員名簿

氏名	所属・資格等	備考
あおのしょうじ 青野 正二	大阪大学大学院人間科学研究科 准教授	平成 25 年 4 月 25 日まで
いけだたいち 池田 太一	市民公募委員	平成 25 年 4 月 26 日から
いしだしげる 石田 茂	春木漁業協同組合 代表理事組合長	平成 25 年 4 月 26 日から
いずらかずや 泉原 一弥	市民公募委員	平成 25 年 4 月 26 日から
いずものりこ 泉本 法子	きしわだ環境市民会議	平成 26 年 4 月 30 日まで
えぐさのぶゆき 江種 伸之	和歌山大学システム工学部環境システム学科 准教授	平成 25 年 4 月 25 日まで
おおやひでき 大家 秀樹	市民公募委員	
おもてようこ 表 葉子	連合大阪泉州地区協議会	
かわせ 川瀬 まやな	塩路法律事務所 弁護士	
さくまだいすけ 佐久間 大輔	大阪市立自然史博物館植物研究室 主任学芸員	
さとうけんじ 佐藤 健二	(財)関西環境管理技術センター 参与	
たかはらひかる 高原 光	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授	
たけなかのりみち ○ 竹中 規訓	大阪府立大学大学院工学研究科 教授	
たにかわひろき ¹ ◎ 谷川 寛樹	名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 教授	平成 25 年 4 月 25 日まで
たにくちとしのぶ 谷口 敏信	いずみの農業協同組合 代表理事専務	
つねみちたくひこ 常道 拓彦	(有)ポアール学院 環境都市工学準学士	
ながのかつゆき 永野 勝之	岸和田市漁業協同組合 代表理事組合長	平成 25 年 4 月 25 日まで
にしおかかずふさ 西岡 数房	岸和田商工会議所 企画業務部長	
にしむらしずよ 西村 静代	岸和田市消費生活研究会 会長	平成 25 年 4 月 25 日まで
はらゆうじ 原 祐二	和歌山大学システム工学部環境システム学科 准教授	平成 25 年 4 月 26 日から
ひるまこういち 昼馬 光一	岸和田市町会連合会	平成 26 年 5 月 1 日まで
ひるまこういち 昼馬 光一	きしわだ環境市民会議	平成 26 年 7 月 10 日から
ふくいきよみ 福井 清美	市民公募委員	平成 25 年 4 月 25 日まで
まついたかのり 松井 孝典	大阪大学大学院工学研究科 助教	平成 25 年 4 月 26 日から
やまだきみえ 山田 紀美枝	岸和田地区労働組合協議会 事務局次長	
よこたすすむ 横田 進	岸和田市町会連合会	平成 26 年 7 月 10 日から
よしだのぼる ² ◎ 吉田 登	和歌山大学システム工学部環境システム学科 教授	
よしのみさお 吉野 操	岸和田市消費生活研究会 副会長 (平成 26 年 4 月 15 日から会長)	平成 25 年 4 月 26 日から

¹◎会長 (平成 25 年 4 月 25 日まで)、²◎会長 (平成 26 年 1 月 20 日から)、○副会長

資料3 岸和田市環境審議会 生物多様性地域戦略部会 委員名簿

NO	氏名	所属・資格等
1	高原 光（たかはら ひかる）	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 森林植生学研究室 教授
2	佐久間 大輔（さくま だいすけ）	大阪市立自然史博物館 主任学芸員
3	中島 敦司（なかしま あつし）	和歌山大学 システム工学部環境システム 学科教授

NO. 1、NO2の2名については、岸和田市環境審議会委員。NO. 3については審議会会長より推薦された委員。

資料4 岸和田市生物多様性地域戦略委員会 委員名簿

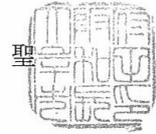
	部	氏名	役職	備考
委員長	環境部	西岡 修	部長	
	産業振興部	原 宗久	部長	平成 25 年 3 月 31 日まで
	産業振興部	小山藤夫	部長	平成 25 年 4 月 1 日から
	まちづくり推進部	野中道弘	部長	平成 25 年 3 月 31 日まで
	まちづくり推進部	森口茂樹	部長	平成 25 年 4 月 1 日から
	建設部	西川佳広	部長	
	学校教育部	岸田隆博	部長	平成 25 年 3 月 31 日まで
	学校教育部	小池俊一	部長	平成 25 年 4 月 1 日から
	生涯学習部	植原和彦	部長	
	きしわだ自然資料館	平田慎一郎	学芸員	
副委員長	環境部	松田正俊	環境保全課長	



岸 環 保 第 4 3 3 号
平 成 2 5 年 2 月 5 日

岸和田市環境保全審議会 会 長 様

岸和田市長 野 口



(仮称) 岸和田市生物多様性地域戦略の策定について (諮問)

標記の件について、下記の事項について貴審議会の意見を求めます。

記

1. 岸和田市生物多様性地域戦略の策定について



岸環審第2号
平成26年7月10日

岸和田市長 信貴 芳則 様

岸和田市環境審議会
会長 吉田 登



(仮称) 岸和田市生物多様性地域戦略の策定について (答申)

平成25年2月5日付け岸環保第433号により岸和田市環境保全審議会に
対してなされた「(仮称) 岸和田市生物多様性地域戦略の策定について (諮問)」
については、別添のとおり答申する。

(仮称) 岸和田市生物多様性地域戦略の
策定について

(答申)

平成26年7月

岸和田市環境審議会

目 次

1. はじめに	1
2. 検討結果	2
(1) 生物多様性地域戦略の普及、啓発	2
(2) 情報の収集、公開と施策への反映	2
(3) 文化、歴史との関係を意識した戦略の展開	2
(4) 日常生活における個人の取り組み	2
(5) 広域での取り組み	3
(6) 推進体制、進行管理	3

1. はじめに

平成20年に「生物多様性基本法」が施行され、豊かな生物の多様性を保全し、その恩恵を将来にわたって享受できる自然と共生する社会の実現を図り、あわせて地球環境の保全に寄与することが明文化され、平成22年には生物多様性条約第10回締約国会議が愛知県名古屋市にて開催され、これを受けて「生物多様性国家戦略2012-2020」が策定された。その中で、市町村は生物多様性地域戦略の策定に努めるよう求められた。

平成20年に改定された岸和田市環境計画においても、生態系に配慮した自然環境の保全、創出を図ることによる生物の多様性の確保を取り組みとして掲げた。

地域ごとの生物多様性の特性や社会状況を踏まえながら、産業、文化などさまざまな分野で、人と自然が共生した地域づくりを進めるためには、あらたに生物多様性地域戦略を策定することが必要であった。

これを受けて、市長は、生物多様性地域戦略を策定するため、平成25年2月5日付けで岸和田市環境保全審議会に対し、「(仮称)岸和田市生物多様性地域戦略の策定について」諮問を行った。

本審議会では、岸和田市生物多様性地域戦略部会を設置して調査検討を進めることにした。部会においては、岸和田市が行ったアンケート調査、自然活動団体へのヒアリング、行政内部に設置された岸和田市生物多様性地域戦略委員会での検討内容等を審議し、その意見を戦略に反映させる方法を用いた。昨年3回の部会を開催し、今年1月には本審議会において経過報告を行うとともに、パブリックコメント手続を経て、このたび部会報告がまとめられた。

本審議会において、部会報告について審議したところ、報告のとおりとすることが適当との結論を得たので、ここに答申するものである。

2. 検討結果

部会での審議を経て、別添「岸和田市生物多様性地域戦略2014(案)」をとりまとめた。本戦略が実のあるものとなるように以下の点に留意して推進されたい。

(1) 生物多様性地域戦略の普及、啓発

生物多様性は、人間にとって自然から受ける恵み、資源として重要であるとともに、地上に生きるすべての生きものが存在する基盤でもある。生物多様性を守り、次世代に引き継ぐには、多くの市民の理解と行動が必要になる。

地域の特性、将来像、重点的取り組みなど、戦略について多くの市民の理解を得られるよう、さまざまな機会を通して説明することを求める。

(2) 情報の収集、公開と施策への反映

戦略を進めるうえで、生息する生きものの種類、場所類型など、情報の収集、整理が重要であるが、行政機関が全ての情報を得るには限界がある。

学術機関、個人、団体が収集する情報を活用する方策を検討することを求める。

また、情報の公開、更新について検討するとともに、都市基盤整備、産業振興、学校教育など関係する市の施策に反映できるよう努めることを求める。

(3) 文化、歴史との関係を意識した戦略の展開

祭礼時の食卓を彩る地元産食材を用いた食文化など、幾世代にもわたる岸和田市の人々の生活があって、現在の自然が形成されている。その自然をもとに文化や歴史的資産が築かれている。

生物多様性と文化、歴史のつながりを十分認識し、戦略を展開することを求める。

(4) 日常生活における個人の取り組み

地元産の魚介類や野菜の摂取、環境にやさしい洗剤の使用、ごみの減量、節電など、市民一人ひとりによる生態系への配慮や環境負荷低減の取り組み

みが生物多様性を守ることにつながる。市民一人ひとりが、生物多様性と生活との関係を意識し行動することを求める。

(5) 広域での取り組み

個々の生きものが生息する環境は、岸和田市域に限定されたものではない。山、川、海は市域を超えてつながりがあり、大気や水は地球規模で循環している。また、広域を移動して暮らす生きものもいる。市域だけでなく、近隣市町村をはじめさまざまな主体との連携に努めることを求める。

(6) 推進体制、進行管理

各取り組みを効果的、効率的に進めるため、行政内部で情報を共有するとともに、市民、事業者などさまざまな主体と連携、協力して、将来像の実現に向けた戦略の具体的な取り組みの目標を設定し、推進に努めることを求める。

また、生物多様性国家戦略の動向、収集した情報、各主体の取り組み状況を考慮しながら、必要な時期に戦略の見直しを検討することを求める。

1 調査概要

(1) 目的

(仮称)岸和田市生物多様性地域戦略策定に向けて、市民への普及啓発を行うとともに、「生物多様性への認識」や「自然や生き物への関心」、「岸和田市の自然環境への認識」などを把握し、戦略策定の際の基礎資料とする。

(2) 調査方法

郵送によるアンケート調査（平成25年1月下旬発送）

(3) 調査対象

満15歳以上の市民 1,000人

【対象者抽出方法】

- ・住民基本台帳及び外国人登録から無作為抽出
- ・小学校区をベースとして流域及び地区特性（山地部、丘陵部、平地部、臨海部）によって12地区に分け、12地区に対して同数を配布、生物多様性地域戦略を策定するにあたり、環境問題についての市民の関心や取組状況等を把握する。

(4) 調査内容

生物多様性の普及啓発及び市民が何に取り組んできたのかを検証し、さらに市民との協働を進めるための基礎資料とする。

- ・原体験の振り返りや認識状況の把握を行う
- ・啓発的意味も込めて意識や意向を聞く（市民として何ができるか）
- ・シンボルや目標設定、計画の推進のための方策検討の基礎資料環境問題への関心 など

(5) 回収結果

- ・回収数 340件（34.0%）

(6) 結果概要

- ・属性は、市域全体の12地区からほぼ偏りのない回収を行え、回答者の年齢は配布数に連動し60歳代以上が約37%と多い、岸和田市での居住年数は30年以上が約63%を占めている。世帯構成は2世帯の約51%が多く、世帯主の主な職業は第1次産業が約7%、第2次産業が約13%、第3次産業が約58%であった。
- ・自然や生き物への関心は「大変関心がある」が約31%、「少しは関心がある」が約55%で「関心がある」と答えた回答者は合計約87%と高い割合となっている。
- ・岸和田市の自然については「豊かだと思う」が約49%となっており、多くの市民が「岸和田の自然は豊かだ」と思っていることが分かる。
- ・子どもの頃「川、野山、田んぼ、海岸などで遊ぶ」原体験を持つ回答者が約72%と大変多い。
- ・岸和田市の自然で「好きなもの、大切に思うもの、誇りに思うもの」では「和泉葛城山」が約57%と多く、続いて神於山、寺・神社、公園・道路、ため池、丘陵地などの田園風景となっている。このことから、「和泉葛城山」が岸和田市民にとって象徴的な自然であることが分かる。
- ・用語については、「生態系サービス(約11%)」、「生物多様性(約26%)」について、「言葉の意味を知っている」との回答が低く、今後、言葉の意味を含めた普及啓発が必要である。
- ・「あなたは『生物多様性』を保全することは大切だと思いますか」との問いに対して「非常に大切だと思う」が約61%で、「少しは大切だと思う(約30%)」と併せると約92%となり、全体の約9割の人が「生物多様性を保全することは大切だ」と思っていることが分かる。
- ・日常生活の中での「よく参加している」、「参加したことがある」活動は「清掃活動」が約64%を占め、次に「緑化活動(約22%)」、「自然観察会(約19%)」となっている。
- ・今後、参加してみたい活動は、「自然観察会」が最も多く約38%を占め、それに続いて「緑化活動(約28%)」、「農業体験(約27%)」、「里山保全(約25%)」、「清掃活動(約24%)」、「生き物調査(約23%)」など幅広い関心があることが分かった。
- ・生物多様性地域戦略の策定の中で重点的に取り組むべきことは、「外来生物等による被害の防止」が約57%を占め、次に「市民理解の促進(約41%)」、「地域の生物の多様性の保全(約38%)」、「野生生物の種の多様性の保全(約32%)」などが高い割合を示した。
- ・今後の生物多様性の保全について、市民・事業者等の意識向上や取り組みの実践については「学校での生物多様性に関する教育の推進」が約67%と他と比べて著しく期待が高いことが分かった。

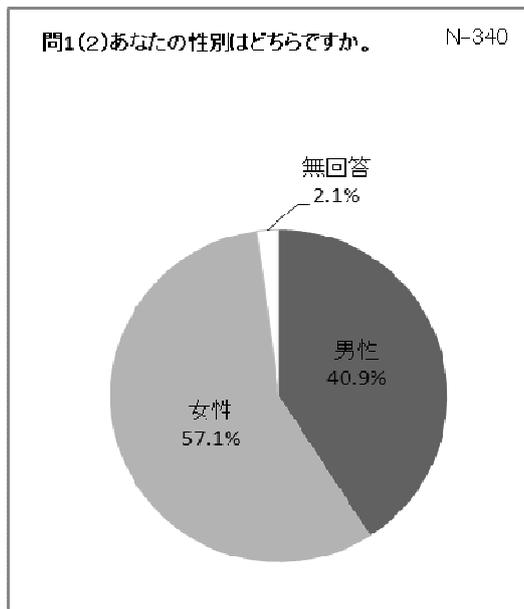
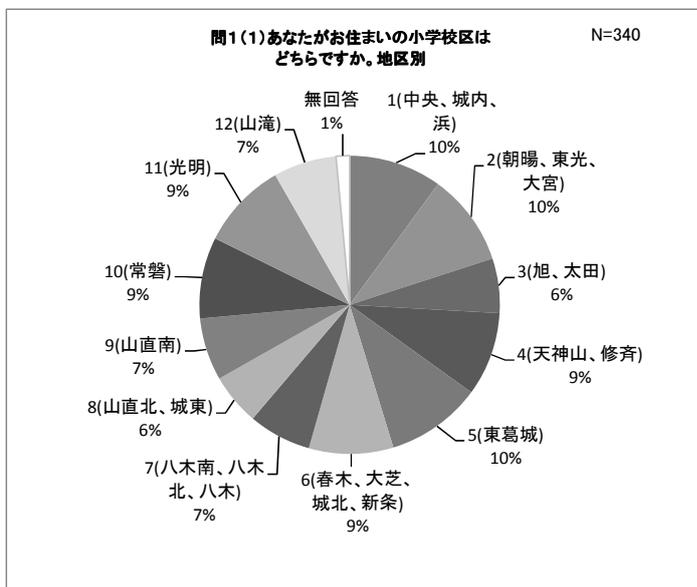
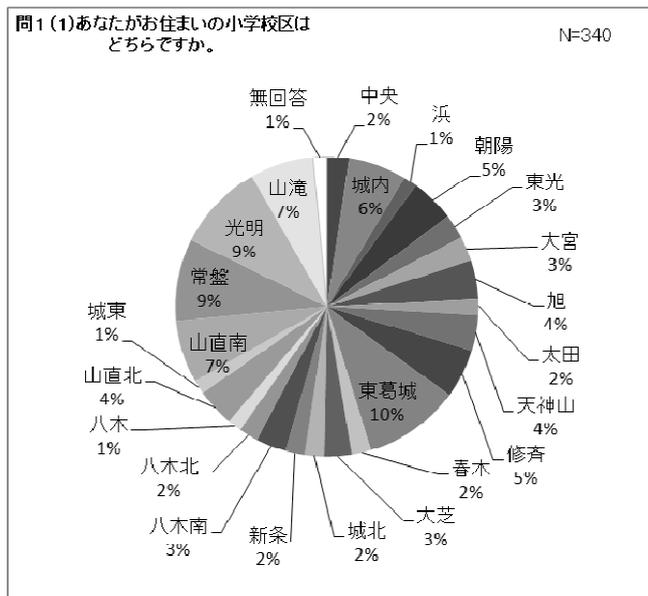
2. 調査結果

(2) 詳細結果

■属性について

○回答者の地域割合は、小学校区別では、山地部、丘陵部が多い傾向にあるが、12の地区別では、ほぼ同程度の割合となっており、配布数に対してほぼ同等の回収率である。

○性別は、男性約41%、女性約57%と女性がやや多い。



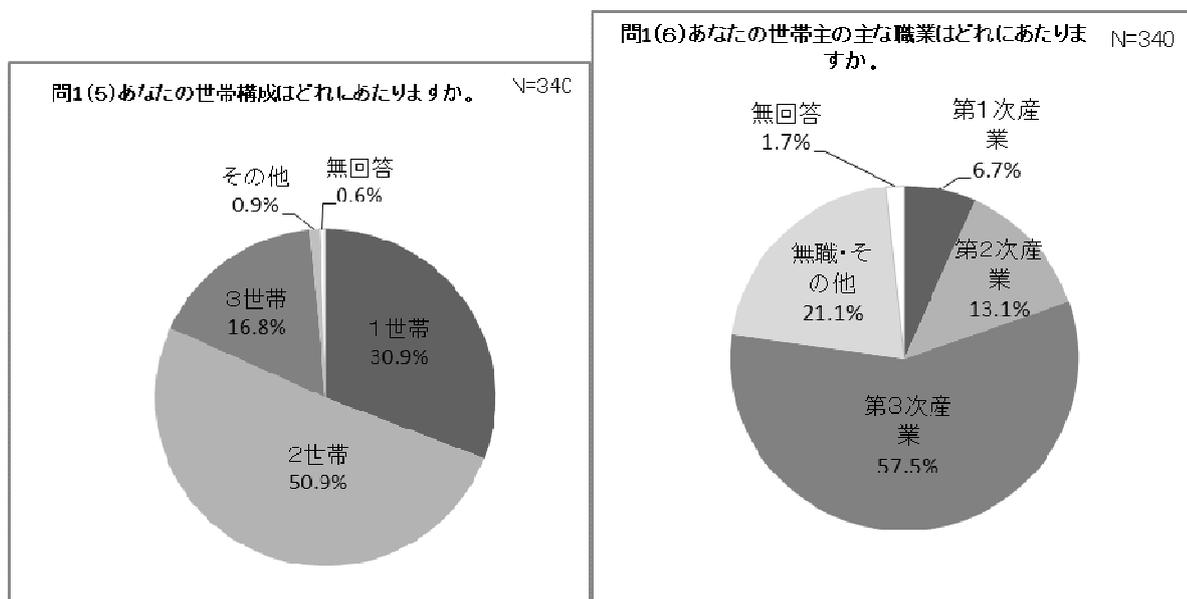
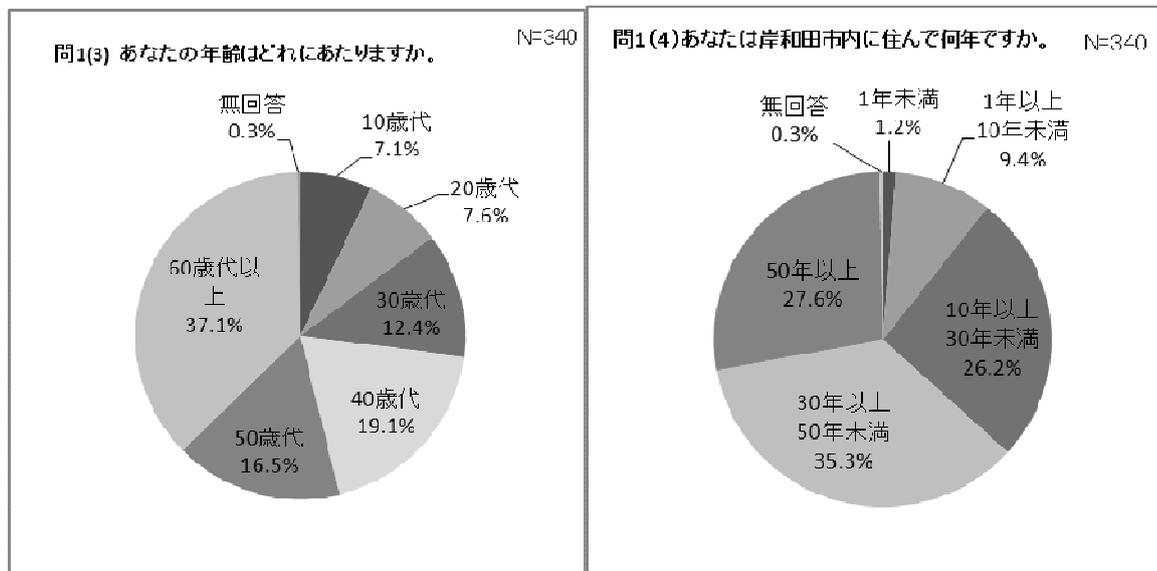
地区別	回答数	割合 (%)
1(中央、城内、浜)	34	10.0%
2(朝陽、東光、大宮)	34	10.0%
3(旭、太田)	20	5.9%
4(天神山、修齊)	31	9.1%
5(東葛城)	35	10.3%
6(春木、大芝、城北、新条)	31	9.1%
7(八木南、八木北、八木)	23	6.8%
8(山直北、城東)	19	5.6%
9(山直南)	23	6.8%
10(常盤)	30	8.8%
11(光明)	32	9.4%
12(山滝)	23	6.8%
無回答	5	1.5%

○回答者の年齢は、10歳代約7%、20歳代約8%、30歳代約12%、40歳代約19%、50歳代約17%、60歳代以上約37%、と各世代から回答があったが配布数と連動して60歳代以上の回答者が多い。

○居住年数は30年以上50年未満が約35%と最も多く、次に50年以上が約28%、10年以上30年未満が約26%となっている。

○世帯構成は、2世帯が約51%と最も多く、1世帯が約31%と続く。

○世帯主の主な職業については、第3次産業が約58%を占め、第2次産業が約13%、第1次産業が約7%である。



問1(6) 無職・その他具体的回答

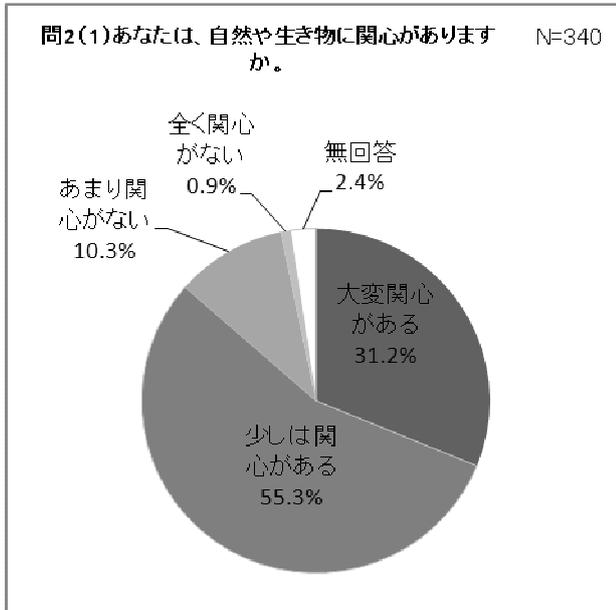
- 年金生活 (12人)
- 学生 (5人)
- 生活保護 (2人)
- パートタイマー (1人)
- 住職 (1人)
- 定年退職 (1人)
- 宗教法人 (1人)

■自然や生き物への関心

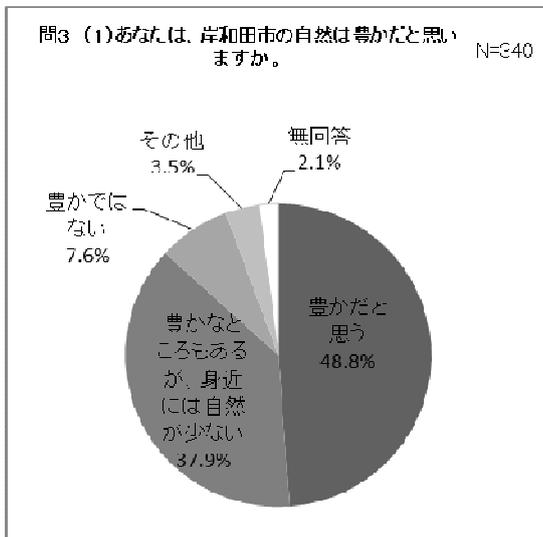
【岸和田市の自然について】

○自然や生き物への関心は「大変関心がある」が約 31%、「少しは関心がある」が約 55%で「関心がある」と答えた回答者は合計約 87%と高い割合となっている。

○岸和田市の自然については「豊かだと思う」が約 49%と大変多く、多くの市民が「岸和田の自然は豊かだ」と思っていることが分かる。



問2 (1)あなたは、自然や生き物に関心がありますか。		
	回答数	割合 (%)
大変関心がある	106	31.2%
少しは関心がある	188	55.3%
あまり関心がない	35	10.3%
全く関心がない	3	0.9%
無回答	8	2.4%
合計	340	



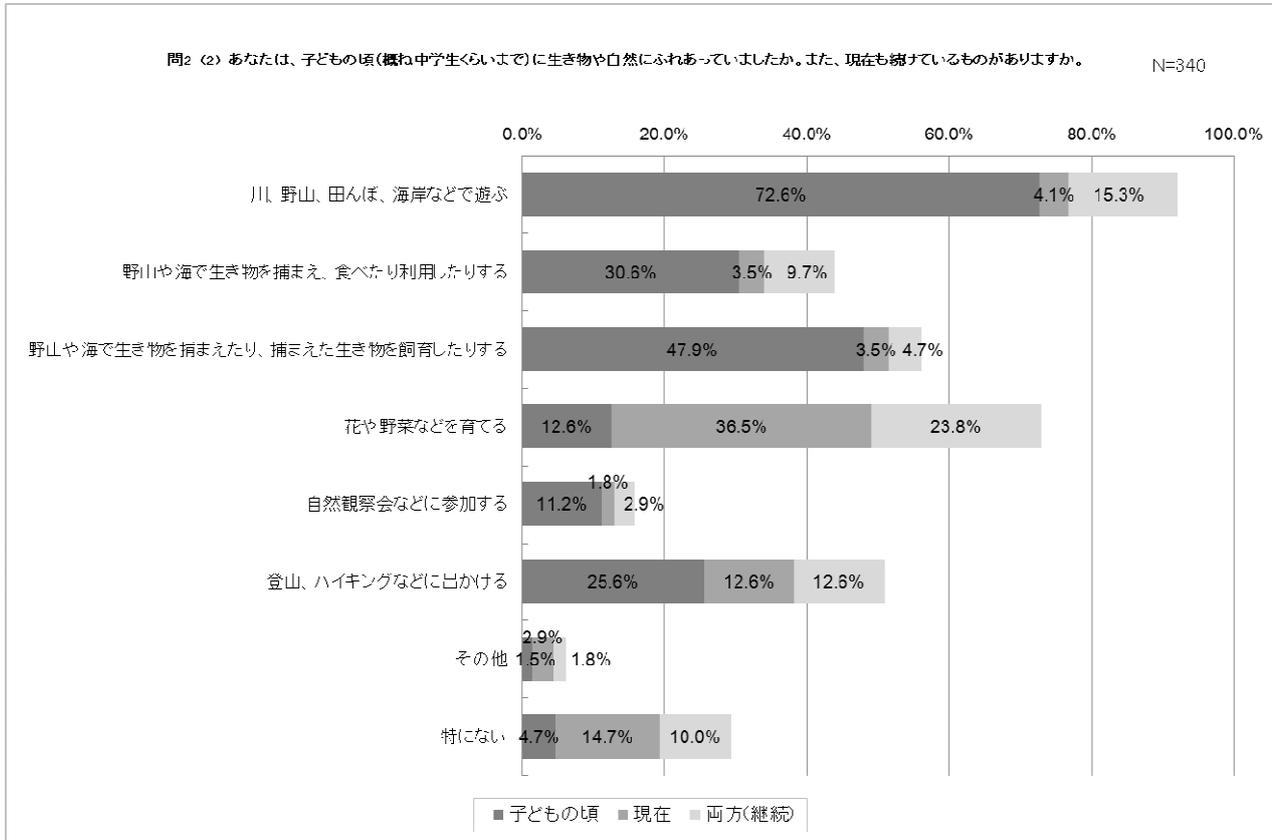
問3 (1)あなたは、岸和田市の自然は豊かだと思いますか。		
	回答数	割合 (%)
豊かだと思う	166	48.8%
豊かなところもあるが、身近には自然が少ない	129	37.9%
豊かではない	26	7.6%
その他	12	3.5%
無回答	7	2.1%
合計	340	

問3 (1) その他具体的回答

- 居住2年なのでわからない
- 竹林の増加がひどい
- 桃畑があるけど、自然という感じではない
- 山手は豊かである
- 緑が多いから自然が多いとは言えない。岸和田の山手は、放置された竹藪と放置された檜などの人工林は害悪であり、非自然である
- 昔ほど豊かではない
- 子供の頃に比べ自然が少なくなった
- 田畑は多いが豊かとはいえない。農家の人等が川を汚しているのが現状。川をゴミ箱と感思している
- 市の方は自然が少ない
- わからない
- 地域により差が大きいと思う
- 自然が破壊されている
- 激減してきている
- 和泉葛城山（登山口を整備要）

○子どもの頃「川、野山、田んぼ、海岸などで遊ぶ」原体験を持つ回答者が約 73%と大変多い。しかし、「現在(約 4%)」や「継続(約 15%)」は少なくなっている。

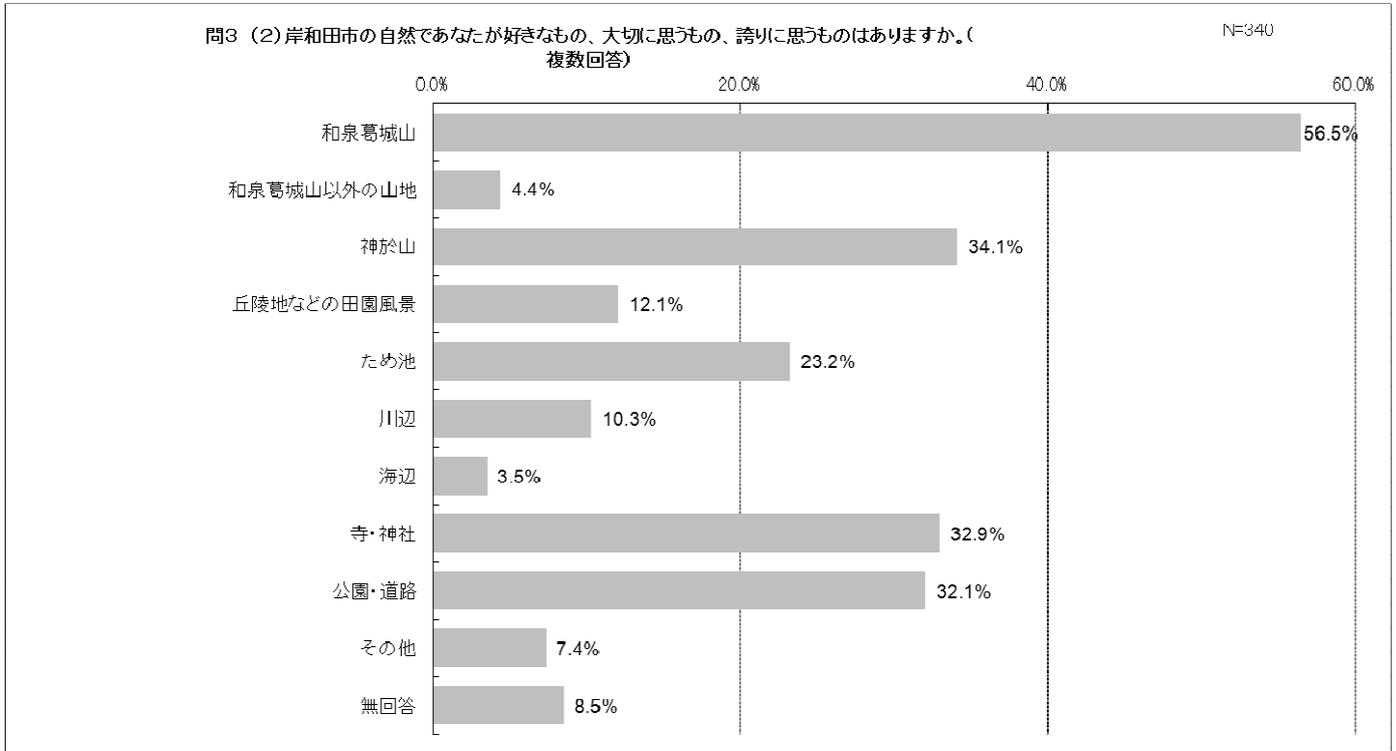
○現在や継続では「花や野菜を育てる」の割合が高い結果となり、「花や野菜を育てる」ことが岸和田市民によってもっとも継続的に取り組まれている生き物や自然とのふれあいであることが分かる。



問 2 (2) その他の具体的内容

- 金魚を買って飼っていたことがある
- れんげの花かんむり作り
- 春は桜、秋は紅葉。公園に行ってもいつも空を覗いている。
- 子供の頃たきぎ拾いに行っていた
- 家庭菜園で野菜作り
- 田畑の道をウォーキング
- 花で有名な寺などを巡る
- 飼育が大好き
- 久米田池が近いので散歩
- 林間学校に参加
- 学校の授業程度
- 特になし
- 川にキャンプ
- ウォーキング 山菜摘み
- 写真を撮る
- 山間部に住んでいるので自然にはいろいろ見たり感じたりすることが多い
- 犬、ネコ
- 畑の野菜を収穫し、食べる

○岸和田市の自然で「好きなもの、大切に思うもの、誇りに思うもの」では「和泉葛城山」が約57%と著しく多く、続いて神於山、寺・神社、公園・道路、ため池、丘陵地などの田園風景となっている。このことから、「和泉葛城山」が岸和田市民にとって自然のシンボルであることが分かる。



問3 (2) 岸和田市の自然であなたが好きなもの、大切に思うもの、誇りに思うものはありますか。

	回答数	割合 (%)
和泉葛城山	192	56.5%
和泉葛城山以外の山地	15	4.4%
神於山	116	34.1%
丘陵地などの田園風景	41	12.1%
ため池	79	23.2%
川辺	35	10.3%
海辺	12	3.5%
寺・神社	112	32.9%
公園・道路	109	32.1%
その他	25	7.4%
無回答	29	8.5%
合計	765	

問3(2) その他具体的回答

和泉葛城山以外の山地

- 牛滝山 (4件)
- ハイキングコース (整備も必要と思う) (1件)
- 槇尾山 (1件)
- 犬鳴山 (1件)
- 大石ヶ峰 (1件)
- 貴重なブナ林 (1件)
- 相川町のホタルの住む川 (1件)
- 竹ヤブ (1件)
- 自分自身が生活の為仕事している山と畑 (1件)

丘陵地などの田園風景

- 包近の桃畑 (3件)
- トンボ池公園 (3件)
- ミカン畑 (1件)
- 塔原町 (1件)
- 相川のホタル (1件)
- 山間の小村 (1件)
- 四季の風景 (1件)
- 近所の山 (1件)
- 田 (1件)
- 桜台中学と光明小学校の間の所 (1件)
- 北阪 (1件)
- 牛滝山 (1件)

ため池

- 久米田池 (野鳥・桜・菜の花) (55件)
- とんぼ池 (4件)
- 大池 (1件)
- 中島池 (1件)
- 新池 (1件)
- 東ヶ丘・近くの三田のため池 (1件)
- 小動物の住処 (1件)

川辺

- 牛滝川 (上流部) (9件)
- 津田川 (上流部) (4件)
- 春木川、(3件)
- 相川 (2件)
- 槇尾川 (1件)
- 犬鳴山の上流 (1件)
- いよやか (1件)
- 小動物の住処 (1件)

海辺

- 春木港 (1件)
- 二色浜 (1件)
- カンカンベイサイドモール近くの海辺 (1件)

寺・神社

- 久米田寺 (31件)
- 岸城神社 (11件)
- 積川神社 (7件)
- 大威徳寺 (6件)
- 岸和田城 (5件)

- 沼天神宮 (5件)
- 牛滝寺 (3件)
- 弥栄神社 (3件)
- 神於寺 (2件)
- 山直神社 (2件)
- 岸和田神社 (2件)
- 泉光寺 (2件)
- 矢代寸神社 (1件)
- 意賀美神社 (1件)
- 三の丸神社 (1件)
- 菅原神社 (1件)
- 夜疑神社 (1件)
- 八木神社 (1件)
- 七宮参り (1件)
- 久米田池 (1件)
- 宗光寺 (1件)
- 兵主神社 (1件)
- 大徳寺 (1件)
- 光忍上人塚、他 (1件)
- 高見の観音さん (1件)
- 各町の神社 (1件)
- 神社、寺が多いので (1件)
- 木花等、よく手入れされていると思うので (1件)
- 森 (1件)
- 小動物の住処、原始林のなごり (1件)

公園・道路

- とんぼ池公園 (51件)
- 中央公園 (25件)
- 岸和田城 (3件)
- 流木墓地公園 (2件)
- 今池公園 (1件)
- 八幡公園 (1件)
- 浜公園 (1件)
- 府営蜻池公園 (1件)
- ときわ公園 (1件)
- 東岸和田駅山手周辺道路 (1件)
- 天神山町周辺の遊歩道 (1件)
- 泉光寺線、磯の上山直線 (1件)
- 蜻蛉池公園→子供から大人まで楽しく利用 (1件)
- 公園の枝おとしを毎年やってらっしゃるのできれいで
す (1件)
- 現代のいやしの場 (1件)

その他

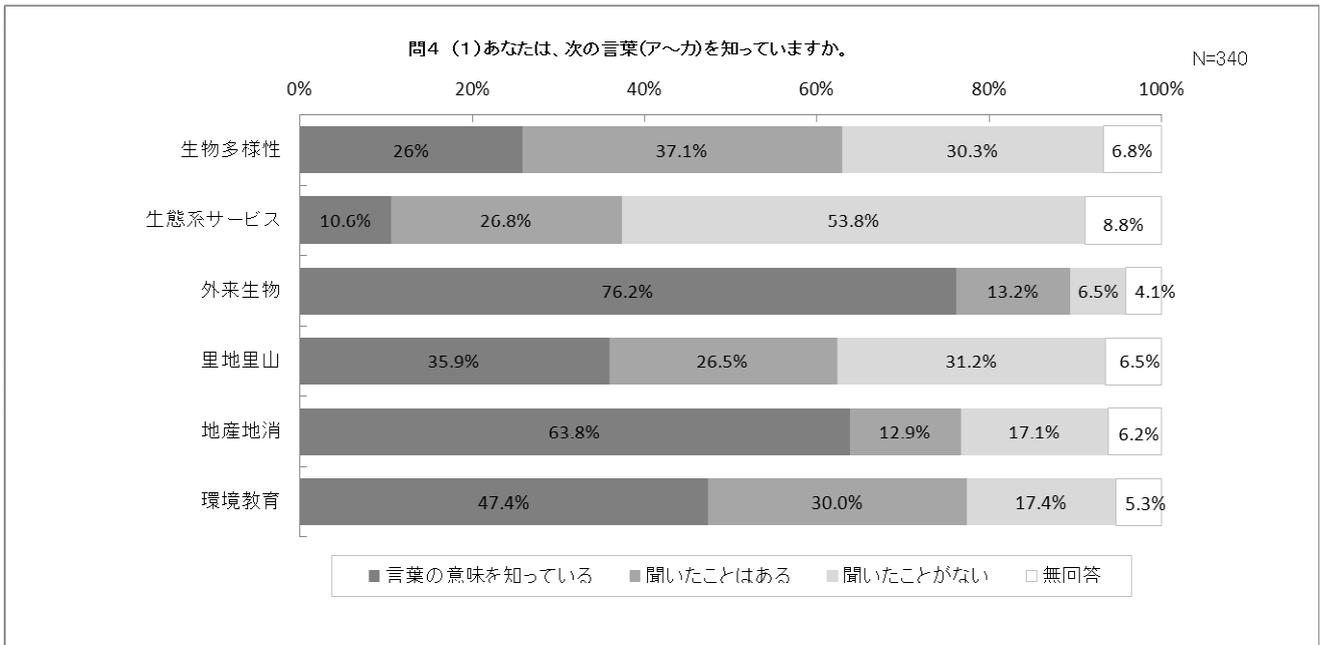
- 岸和田城 (8件)
- いよかの里 (2件)
- 山直神社のおみこし (1件)
- ダンジリ祭、(1件)
- 和泉葛城山のブナ林 (1件)
- 家の近くに畑があります。少し (1件)
- グランド 天神山2丁目の青少年グラウンド (1件)
- ない (3件)

■生物多様性について

【言葉の認識】

○生物多様性関連する言葉については「言葉の意味を知っている」との回答が「外来生物（約 76%）」、「地産地消（約 64%）」、「環境教育（約 47%）」の割合が高く、言葉の意味を含めて市民にとって理解が浸透していることが分かる。

○一方、「生態系サービス（約 11%）」、「生物多様性（約 26%）」については「言葉の意味を知っている」との回答が低い結果となっており、今後、言葉の意味を含めた普及啓発が必要である。



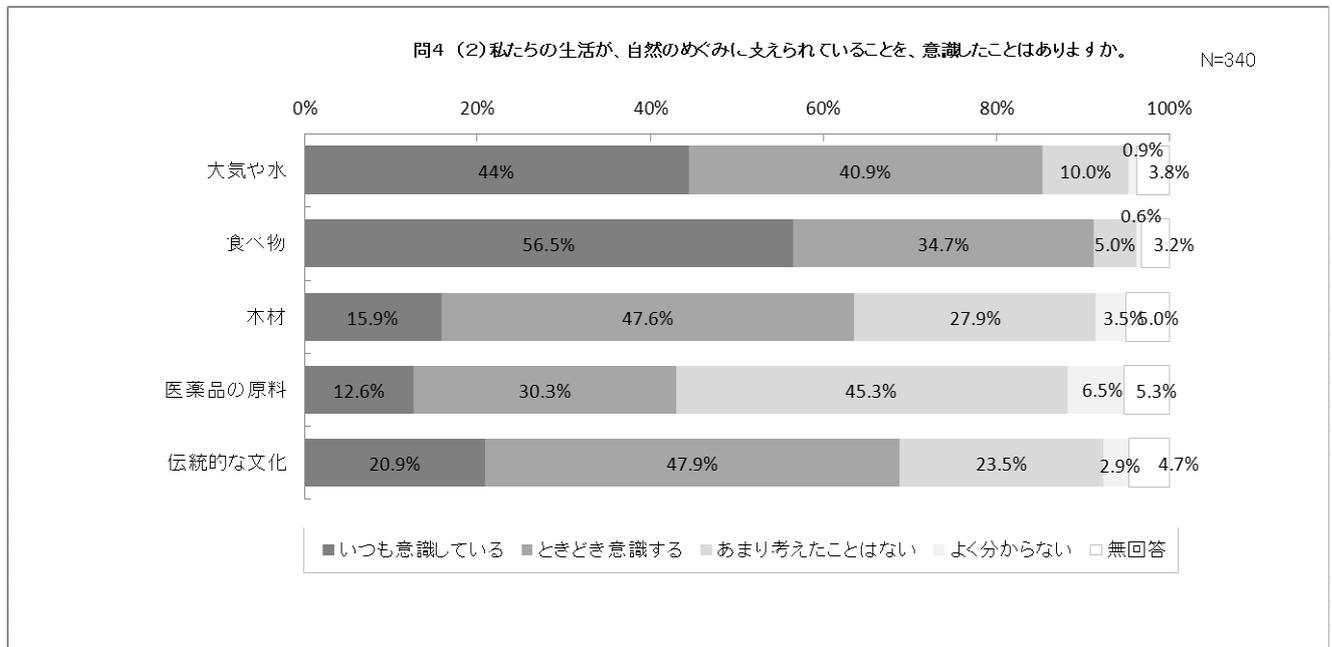
問4 (1)あなたは、次の言葉(ア～カ)を知っていますか。

※回答数	言葉の意味を知っている	聞いたことはある	聞いたことがない	無回答
生物多様性	88	126	103	23
生態系サービス	36	91	183	30
外来生物	259	45	22	14
里地里山	122	90	106	22
地産地消	217	44	58	21
環境教育	161	102	59	18
※割合	言葉の意味を知っている	聞いたことはある	聞いたことがない	無回答
生物多様性	25.9%	37.1%	30.3%	6.8%
生態系サービス	10.6%	26.8%	53.8%	8.8%
外来生物	76.2%	13.2%	6.5%	4.1%
里地里山	35.9%	26.5%	31.2%	6.5%
地産地消	63.8%	12.9%	17.1%	6.2%
環境教育	47.4%	30.0%	17.4%	5.3%

【生物多様性の恵みへの意識】

○「いつも意識している」は、「食べ物」が最も多く全回答者の約 57%を占め、次に「大気や水」が約 44%を占める。

○「いつも意識している」と「ときどき意識する」を併せると、「食べ物(約 91%)」、「大気や水(約 85%)」以外に「伝統的な文化(約 69%)」と「木材(約 64%)」も市民によって「自然の恵みに支えられている」ことを意識する対象であることが分かる。



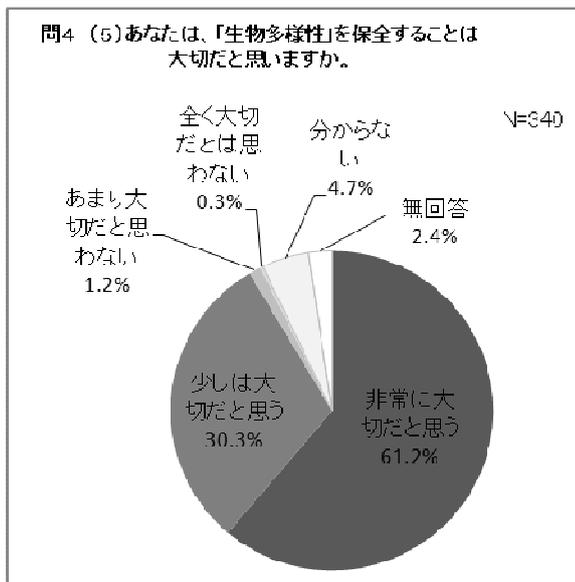
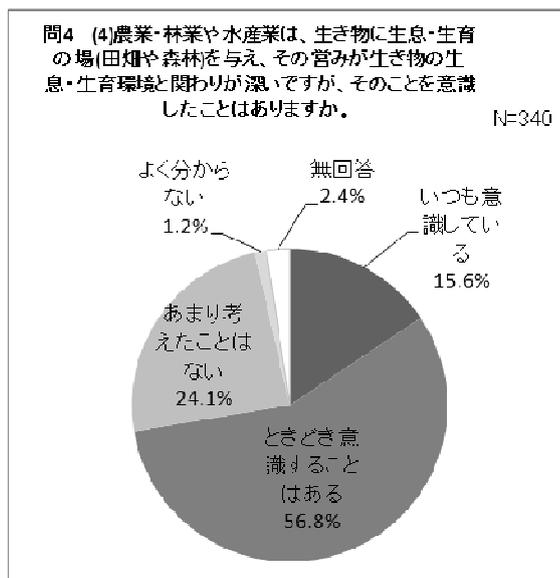
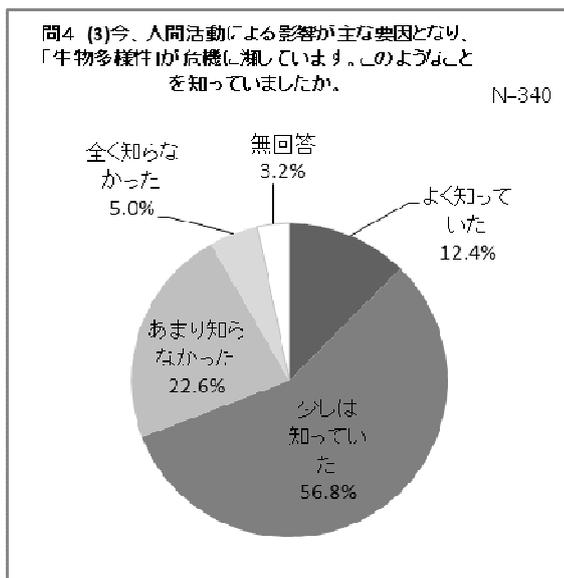
問4 (2) 私たちの生活が、自然のめぐみに支えられていることを、意識したことはありますか。					
※回答数	いつも意識している	ときどき意識する	あまり考えたことはない	よく分からない	無回答
大気や水	151	139	34	3	13
食べ物	192	118	17	2	11
木材	54	162	95	12	17
医薬品の原料	43	103	154	22	18
伝統的な文化	71	163	80	10	16
※割合	いつも意識している	ときどき意識する	あまり考えたことはない	よく分からない	無回答
大気や水	44.4%	40.9%	10.0%	0.9%	3.8%
食べ物	56.5%	34.7%	5.0%	0.6%	3.2%
木材	15.9%	47.6%	27.9%	3.5%	5.0%
医薬品の原料	12.6%	30.3%	45.3%	6.5%	5.3%
伝統的な文化	20.9%	47.9%	23.5%	2.9%	4.7%

【生物多様性について】

○「人間活動によって『生物多様性』が危機に瀕していることを知っていますか」の問いに対しては「少しは知っていた(約 57%)」が全体の半数以上を占め、「よく知っていた(約 12%)」と併せると約 69%を占める。

○また、農林水産業と生物多様性との関係については「いつも意識している(約 16%)」、「ときどきは意識することはある(約 57%)」となっており、併せると全体の約 72%と高い割合を占めることが分かる。

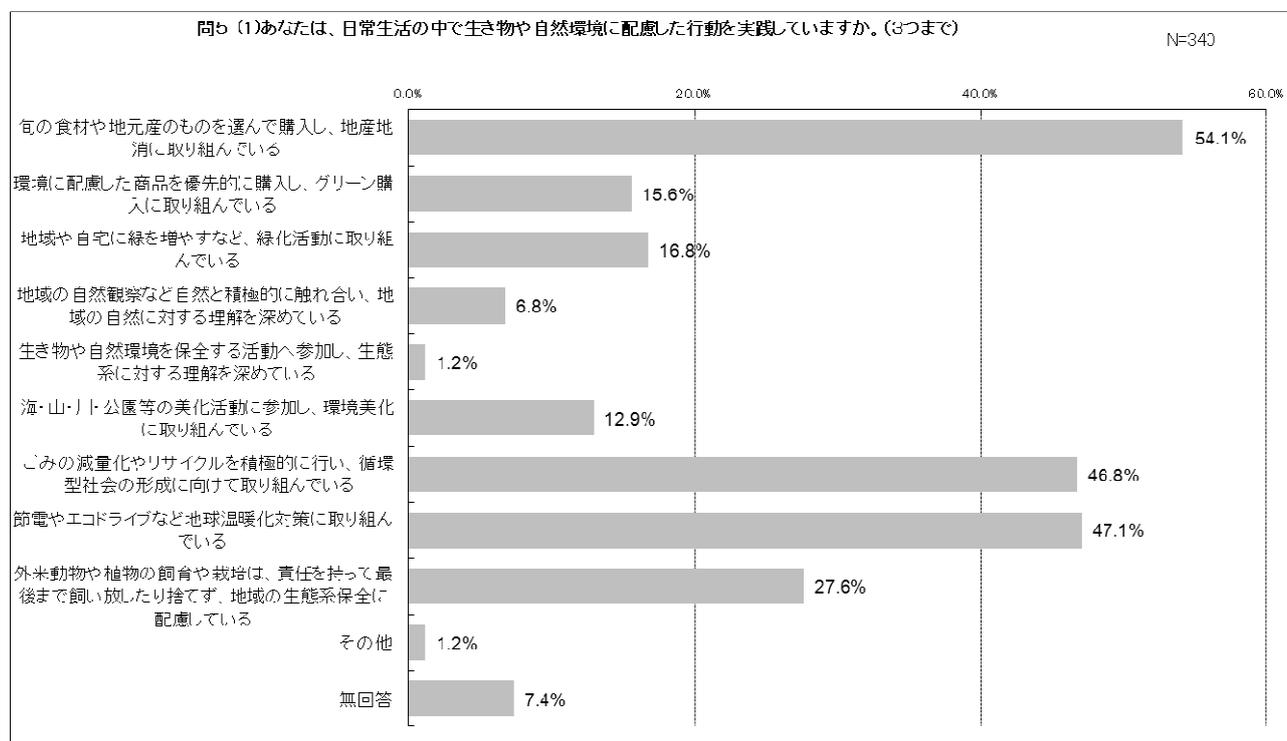
○さらに、「あなたは『生物多様性』を保全することは大切だと思いますか」との問いに対して「非常に大切だと思う」が約 61%で、「少しは大切だと思う(約 30%)」と併せると約 92%となり、全体の約 9 割の人が「生物多様性を保全することは大切だ」と思っている。



【日常生活での取り組みについて】

○日常生活での取り組みについては、「旬の食材や地元産のものを選んで購入し、地産地消に取り組んでいる(約 54%)」、「節電やエコドライブなど地球温暖化対策に取り組んでいる(約 47%)」、「ごみの減量

やリサイクルを積極的に行い、循環型社会の形成に向けて取り組んでいる(約 47%)」の順に回答者が多く、対照的に「生き物や自然環境を保全する活動へ参加し、生態系に対する理解を深めている(約 1%)」が著しく少なくなっていることが分かる。



問5 (1)あなたは、日常生活の中で生き物や自然環境に配慮した行動を実践していますか。(3つまで)

	回答数	割合 (%)
旬の食材や地元産のものを選んで購入し、地産地消に取り組んでいる	184	54.1%
環境に配慮した商品を優先的に購入し、グリーン購入に取り組んでいる	53	15.6%
地域や自宅に緑を増やすなど、緑化活動に取り組んでいる	57	16.8%
地域の自然観察など自然と積極的に触れ合い、	23	6.8%
生き物や自然環境を保全する活動へ参加し、生	4	1.2%
海・山・川・公園等の美化活動に参加し、環境美	44	12.9%
ごみの減量化やリサイクルを積極的に行い、循	159	46.8%
節電やエコドライブなど地球温暖化対策に取り組	160	47.1%
外来動物や植物の飼育や栽培は、責任を持って最後まで飼い放したり捨てず、地域の生態系保全に配慮している	94	27.6%
その他	4	1.2%
無回答	25	7.4%
合計	807	

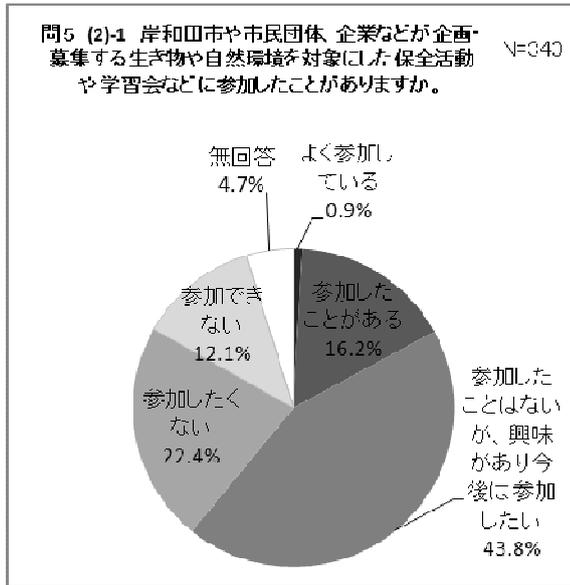
問5 (1) その他具体的回答

- 特になし (3件)

【参加について】

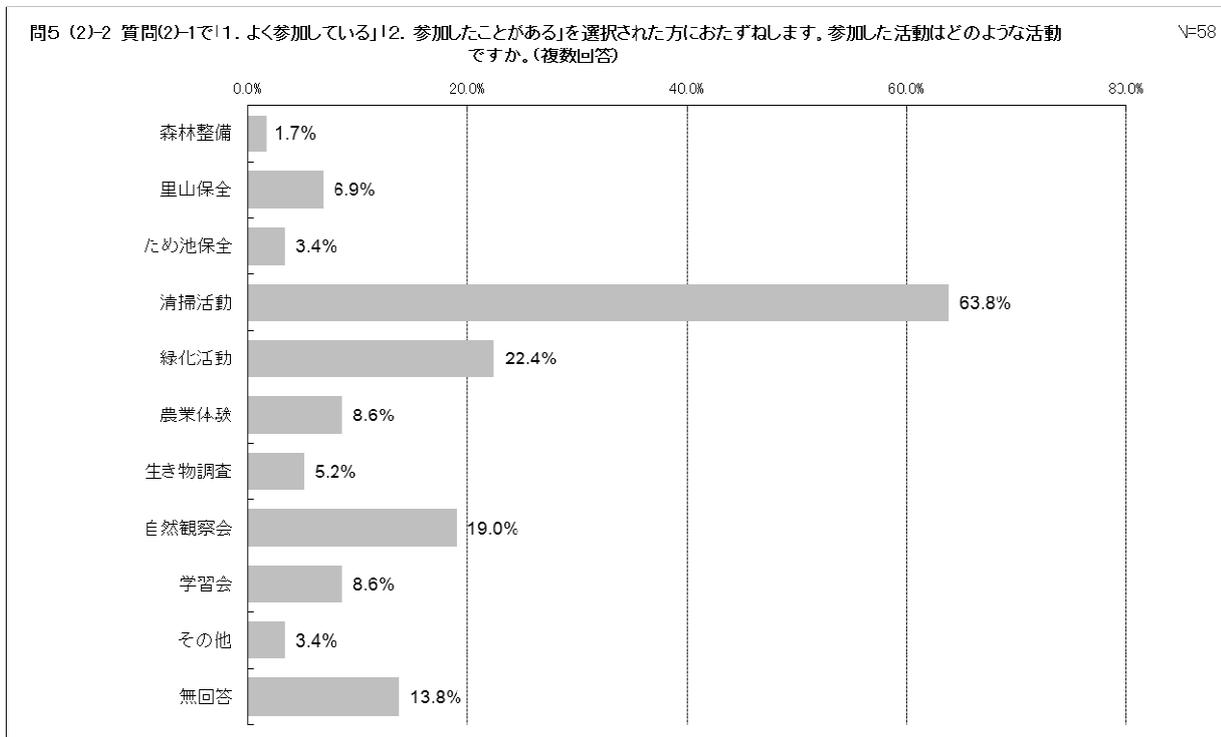
○「生き物や自然環境を対象にした保全活動や学習会などに参加したことがありますか」の問いに対して、「参加したことがある(約 16%)」、「参加したことはないが、興味があり今後は参加したい(約 44%)」が多く、「参加できない(約 12%)」、「参加したくない(約 22%)」の計約 35%よりも高い割合を示していることが分かる。

○また、「よく参加している」、「参加したことがある」活動は「清掃活動」が約 64%を占め、次に「緑化活動(約 22%)」、「自然観察会(約 19%)」が続く。



問5 (2) —1 その他具体的回答

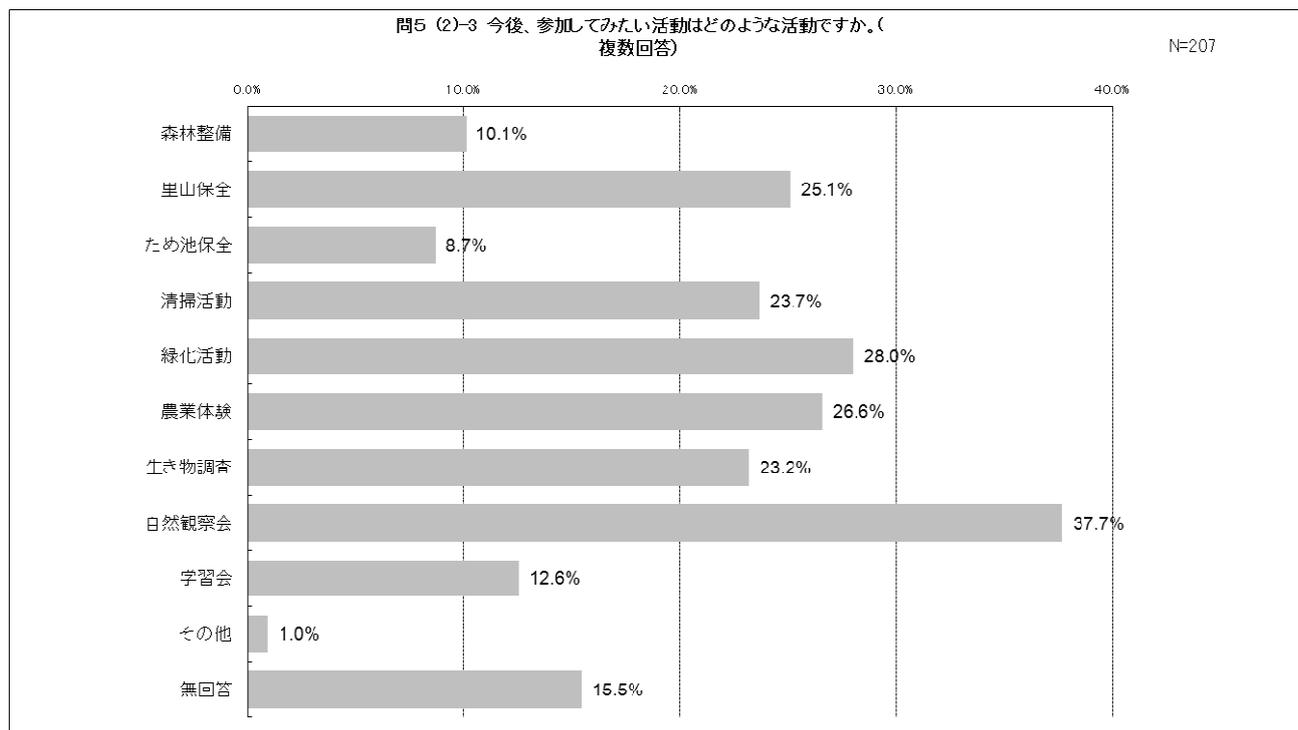
- あまり時間がない・時間が合わない (10 件)
- 身体の都合 (障害・病気) (7 件)
- あまり知らない (5 件)
- 同居しているので、出にくい
- 子供も大きくなり興味の対象が違ってきた
- 生活面
- 介護
- 一緒に参加する人がいない (身近に)



問5 (2) —2 その他具体的回答

- 自主学習グループの活動
- ハイキング道の整備、樹木名の札取付

○今後、参加してみたい活動は、「自然観察会」が最も多く約 38%を占め、それに続いて「緑化活動(約 28%)」、「農業体験(約 27%)」、「里山保全(約 25%)」、「清掃活動(約 24%)」、「生き物調査(約 23%)」など幅広い関心があることが分かった。

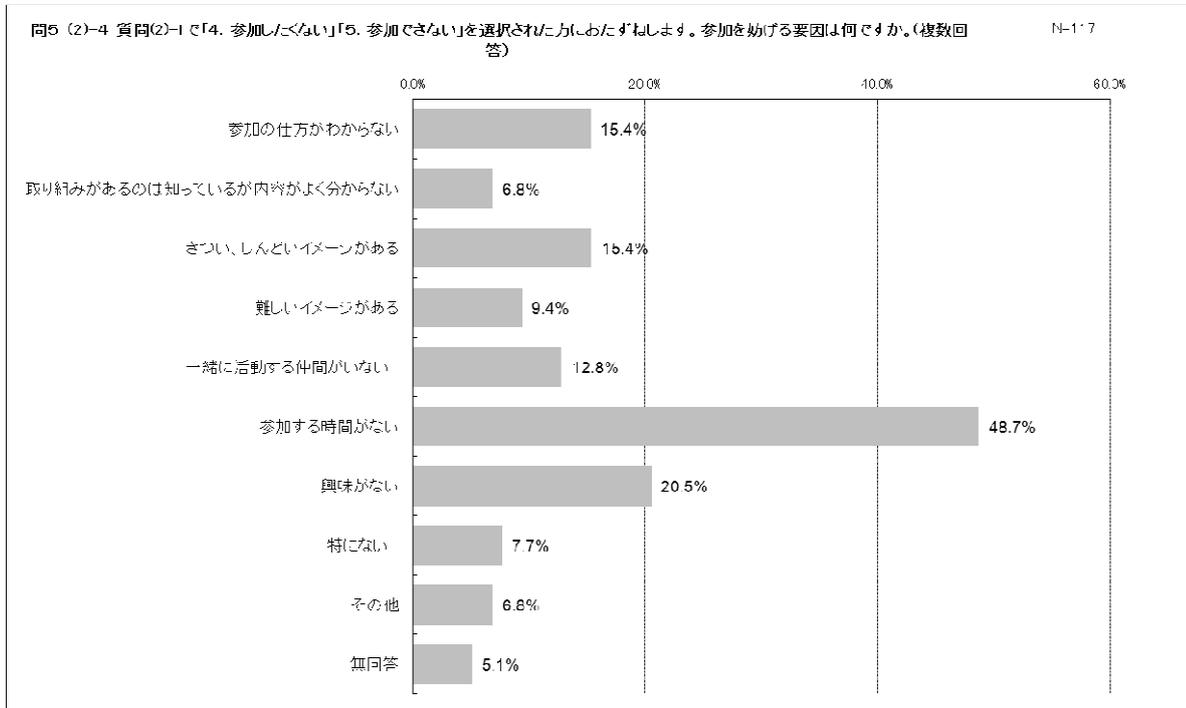


問5 (2) —3 その他具体的回答

- 特になし
- 特に参加はしたくない

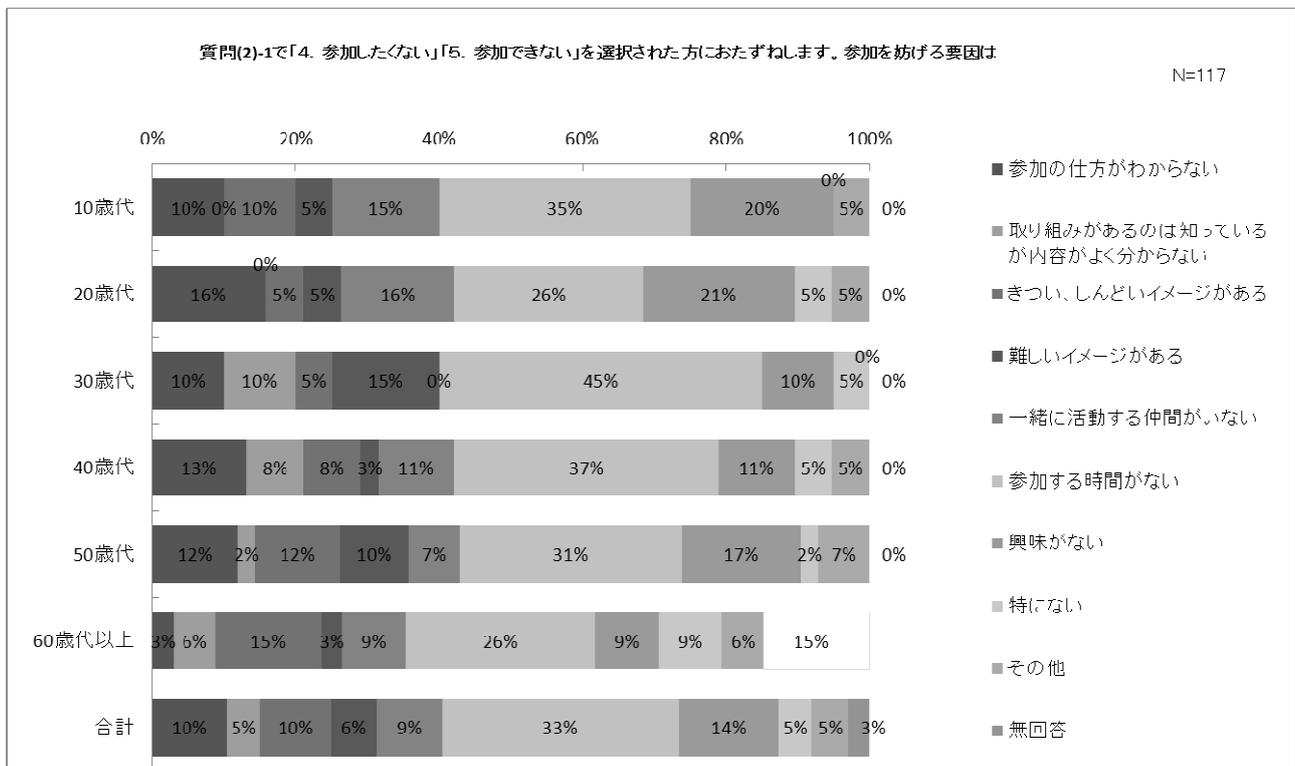
○「参加できない」、「参加したくない」と回答した方への参加を妨げる理由についての質問には「参加する時間がない(約 49%)」が大きな要因となっていることが分かる。

○参加を妨げる理由を年代別にみると、30代以上の年代のみに「取り組みがあるのは知っているが内容が分からない」との認識があり、10代、20代では「一緒に活動する仲間がいない」、「参加の仕方が分からない」ことが参加を妨げる理由のひとつとなっていることが分かった。



問5 (4) その他具体的回答

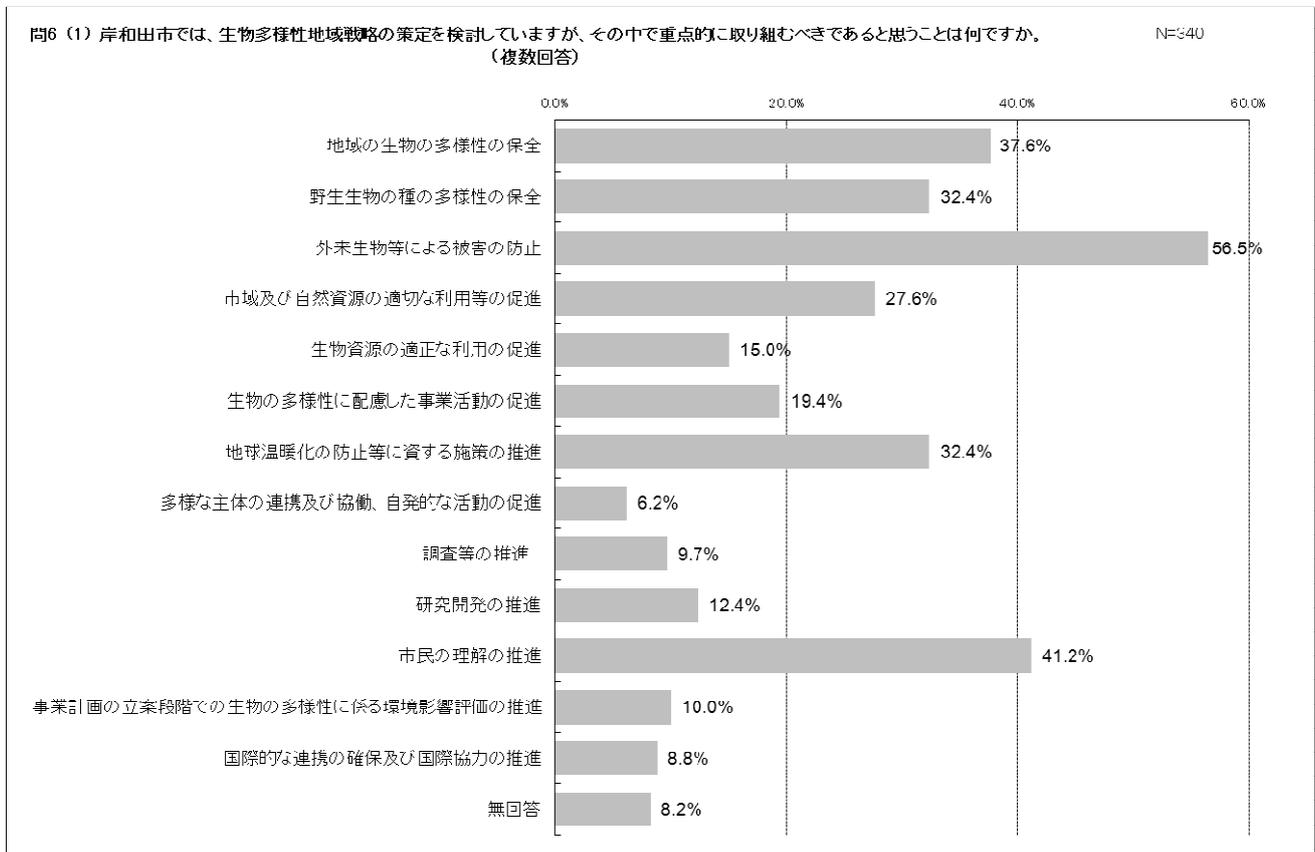
- 仕事が忙しい為、身体的理由、あえて参加する目的がない、今は年齢的にも身体的にも参加は難しいです
- 虫が苦手
- 子供が小さい為



■生物多様性地域戦略の策定について

【重点的に取り組むべきであると思うこと】

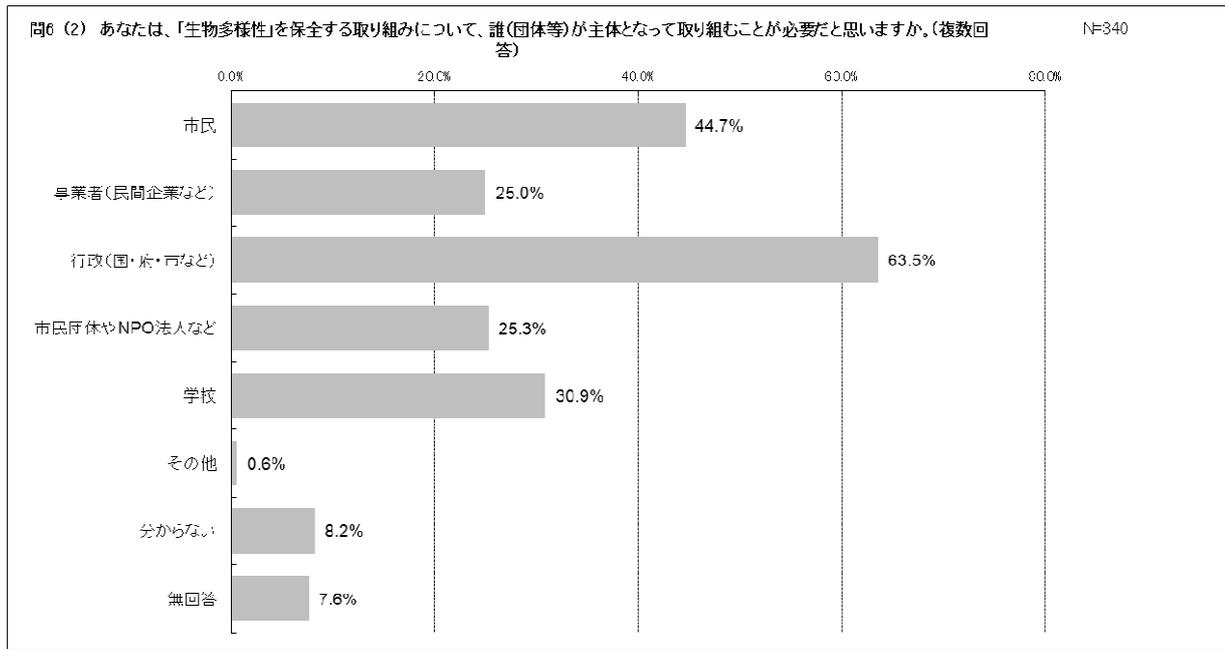
○生物多様性づくりへの取り組みに関しては、「生物多様性地域戦略の策定の中で重点的に取り組むべきこと」については、「外来生物等による被害の防止」が約57%を占め、次に「市民理解の促進(約41%)」、「地域の生物の多様性の保全(約37%)」、「野生生物の種の多様性の保全(約32%)」などが高い割合を示す。



問6 (1) 岸和田市では、生物多様性地域戦略の策定を検討していますが、その中で重点的に取り組むべきであると思うことは何ですか。

	回答数	割合 (%)
地域の生物の多様性の保全	128	37.6%
野生生物の種の多様性の保全	110	32.4%
外来生物等による被害の防止	192	56.5%
市域及び自然資源の適切な利用等の促進	94	27.6%
生物資源の適正な利用の促進	51	15.0%
生物の多様性に配慮した事業活動の促進	66	19.4%
地球温暖化の防止等に資する施策の推進	110	32.4%
多様な主体の連携及び協働、自発的な活動の促進	21	6.2%
調査等の推進	33	9.7%
研究開発の推進	42	12.4%
市民の理解の推進	140	41.2%
事業計画の立案段階での生物の多様性に係る環境影響評価の推進	34	10.0%
国際的な連携の確保及び国際協力の推進	30	8.8%
無回答	28	8.2%
合計	1079	

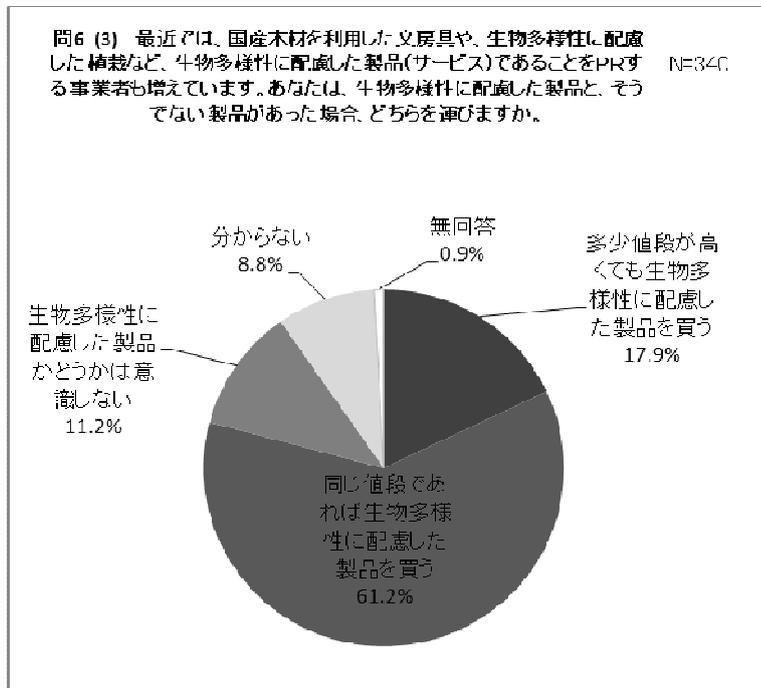
○生物多様性の取り組みを進めていくうえで主体となる必要があるのは「行政(国・府・市など)」が約64%と高い割合を占め、続いて「市民」が約45%となっている。



問6 (2) その他具体的回答

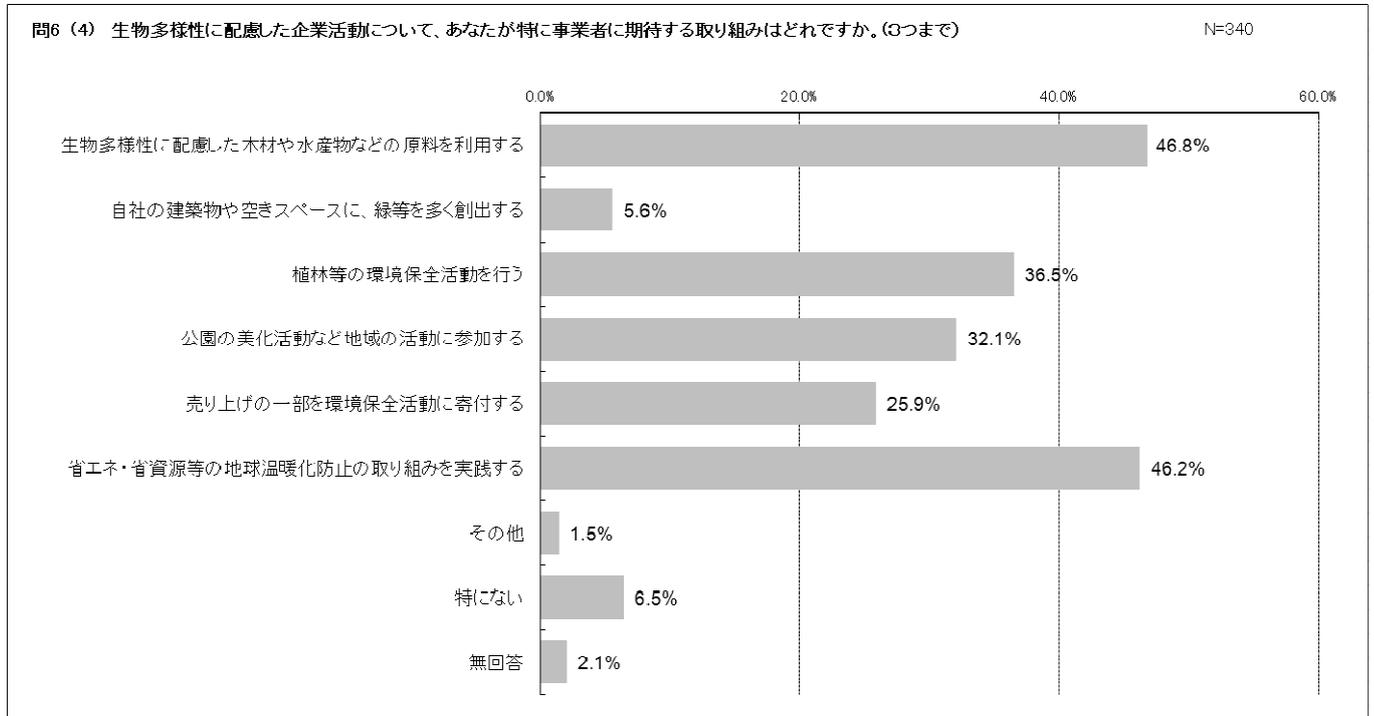
- 地区ごとで
- 駐車場、トイレ棟の設置

○生物多様性に配慮した製品(サービス)については「同じ値段であれば生物多様性に配慮した製品を買う」が約61%と大きな割合を占める。



【企業活動について】

○また、生物多様性に配慮した企業活動については期待する取り組みは「生物多様性に配慮した木材や水産業などの原料を利用する(約47%)」と「省エネ・省資源等の地球温暖化防止の取り組みを実践する(約46%)」が高く、続いて「植林等の環境保全活動を行う(約37%)」などに対する期待が大きい。

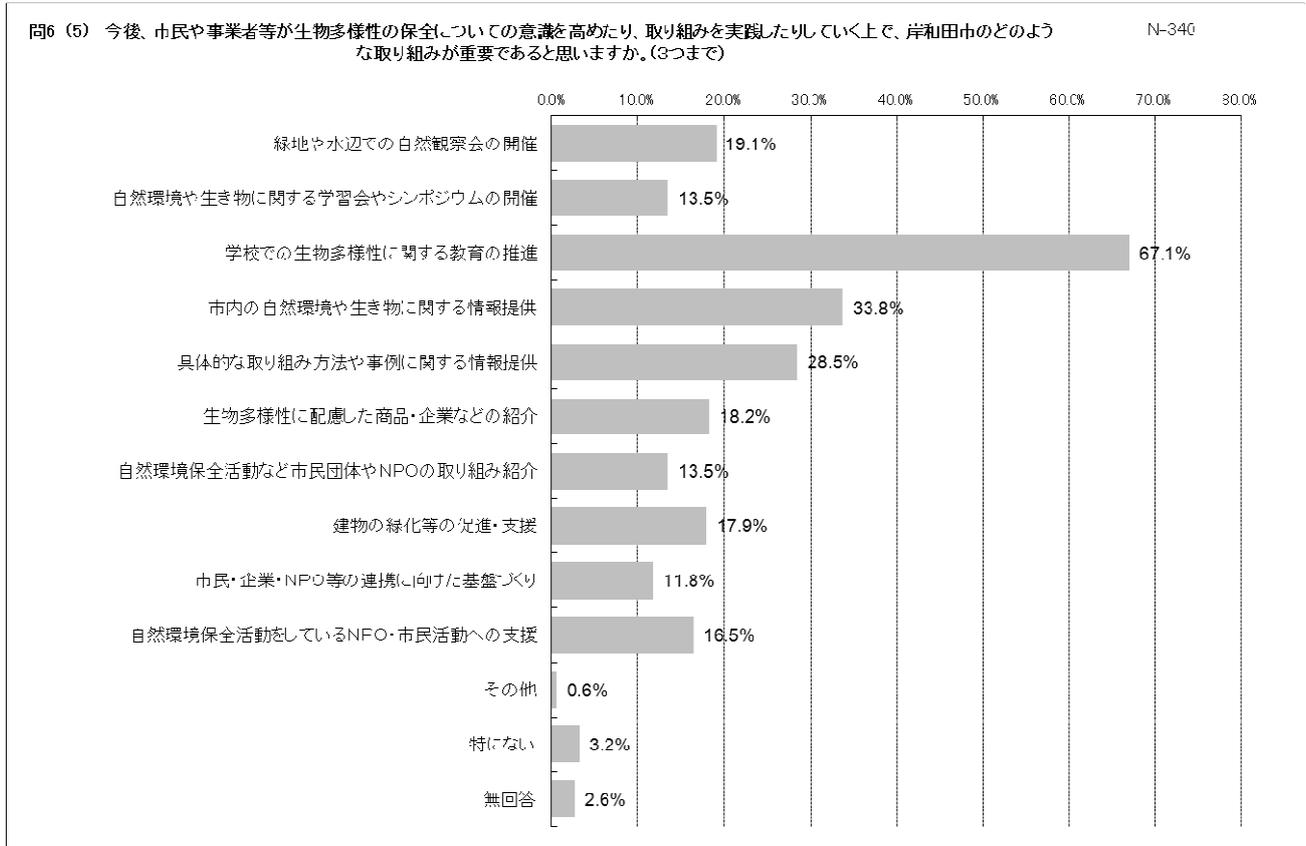


問6 (4) その他具体的回答

- どこで作られているのかこの物を使っているか
- 駐車場、トイレ棟の設置・・・牛滝川源流部、和泉葛城山の自然保護、ボランティアを行き易くする

【今後の活動について】

○今後の生物多様性の保全について、市民・事業者等の意識向上や取り組みの実践については「学校での生物多様性に関する教育の推進」が約67%と他と比べて著しく期待が高い。



問6 (5) 今後、市民や事業者等が生物多様性の保全についての意識を高めたり、取り組みを実践したりしていく上で、岸和田市のどのような取り組みが重要だと思いますか。

	回答数	割合 (%)
緑地や水辺での自然観察会の開催	65	19.1%
自然環境や生き物に関する学習会やシンポジウムの開催	46	13.5%
学校での生物多様性に関する教育の推進	228	67.1%
市内の自然環境や生き物に関する情報提供	115	33.8%
具体的な取り組み方法や事例に関する情報提供	97	28.5%
生物多様性に配慮した商品・企業などの紹介	62	18.2%
自然環境保全活動など市民団体やNPOの取り組み紹介	46	13.5%
建物の緑化等の促進・支援	61	17.9%
市民・企業・NPO等の連携に向けた基盤づくり	40	11.8%
自然環境保全活動をしているNPO・市民活動への支援	56	16.5%
その他	2	0.6%
特にない	11	3.2%
無回答	9	2.6%
合計	838	

(6).あなたは将来（約 50 年後）の岸和田市の自然環境はどうなっていて欲しいと思いますか。また岸和田の生物多様性に関する取り組みについて、あなたの考えやご提案をご自由にお書きください。

回答について：回答数 156 件、意見の数 184 件

意見の分野	意見の件数	備考
自然環境に対して	127 件	内、全体:59 件、緑:17 件、山:10 件、川:11 件、海:3 件、田畑:11 件、生物:16 件
自然と共生した開発	11 件	
子ども（教育）	26 件	
食（農・一次産業）	6 件	
その他意見	14 件	

自然環境に対して

自然環境全体に対して

- 岸和田在住 2 年余りです。50 年後の岸和田市について東南部の豊かな自然を残して、無秩序な開発でなく、生活環境と自然環境の共存した気持ちの良い都市であってほしい。トンボ池、神於山周辺は現状のまま残ってれば良いのですが。（旭地区 60 歳以上 男性）
- 今より自然がなくならないでほしい。（光明地区 50 歳代 女性）
- 今現在の自然環境を維持できる様頑張っていて欲しいと思います。（光明地区 60 歳以上 女性）
- 地域で取り組み、地域で責任をもたす様に、まず個人の意識を高めてきれいな自然を手に入れて行ってほしいです。すばらしい岸和田になってほしいです。森、山、公園、色々と。（光明地区 60 歳以上 女性）
- 将来は現在以上に自然環境が悪化してほしくないと思う。（山滝地区 10 歳代 女性）
- 岸和田は自然に恵まれた環境にあり、このままというか、今以上に自然に恵まれた環境であってほしい。そのために山手の調整区域をキープし続けていくのもやむをえない気がします。外環を車で走っていて、岸和田から和泉市へ入るとガラリと景色が変わりますよね。住宅、マンションが増え街が発展するのも大事ですが、自然環境も同じくらい大事だし、岸和田が大災害等から守られているのも自然環境に恵まれているおかげではないでしょうか。浜手はすでに住宅等で発展しているので公園等の木々を増やすことが大事。山手は今のままの自然環境をキープし続け、人にも動食物にも住みやすい環境であってほしい。（山滝地区 30 歳代 女性）
- 50 年後は今よりも自然環境が良くなっているか、悪くても現状維持が出来ていると良いと思う。（山滝地区 40 歳代 男性）
- 自然が豊かで、食、住、等安心して生活できる町であって欲しいと思います。生物多様性、自然を守る活動をされている方々に感謝しています。私自身は参加はできませんが自分の周りのできる事を微力ですが心かけていきたいと思っています。（山滝地区 60 歳以上 女性）
- 今と変わらずに自然がたくさんある街。このアンケートの主旨があまり分からなかった。（山直南地区 20 歳代 女性）
- 今ある自然を守りつつ、時代に合った自然環境を残して欲しい。公園が増えて、自然を見ながらゆったりと過ごせるようなベンチなども整備して、また帰ってきたくなるような町であって欲しいと思います。（山直南地区 30 歳代 女性）
現在と同じくらいの自然が残っていてほしい。（山直南地区 50 歳代 女性）
- 個人が自覚をもって自然保全に取り組まないといけないと思います。（山直南地区 50 歳代 女性）

- 草木があり、ゴミ等で汚れていない。・田に生き物がおり、川に人が入れるようなきれいな川。(山直南地区 50 歳代 男性)
- 自然環境や生き物が今より豊であってほしい。(修斉地区 20 歳代)
- 今みたいに緑豊かで自然動物に優しい環境であればステキだと思います。トキや野うさぎをみると嬉しくなります。(修斉地区 20 歳代 女性)
- 生活の利便性と自然環境の保全とのよい関係が保たれるような開発。(修斉地区 60 歳以上 女性)
- 自然環境が今より良くなっている事を願っています。(春木地区 60 歳以上 女性)
- 私は嫁いで来た身ですから昔の岸和田市の風景は存じ上げません。でも、生物も段々減り近隣でも緑も減っているし中々生物も多様性も引きつぐ子供達も少ないし最低は今あるものをなくさないで欲しいなあ。(春木地区 60 歳以上 女性)
- 自然が多く色々な観光客が岸和田の自然を見に来てもらえるようにしてほしい。大変ですが頑張ってください。(城東地区 10 歳代 男性)
- 身近に自然を感じられるように住宅街に緑の小道をつくったりコンクリートよりも緑が多い街になって欲しい。公園などの美化活動や清掃を一人一人が取り組めるように活動後にその地の物産を使ったもの(例:汁もの)を出したりしたらもっと参加する人、興味をもつ人が増えていくのではないかと思います。(城内地区 30 歳代 女性) 今よりも自然豊かであって欲しい。(城内地区 30 歳代 女性)
- できるだけ今と変わらない風景であって欲しい。岸和田市は海、山、自然環境にめぐまれこのままでも充分いけると思います。地域で取り組み、地域で責任をもたす様に、まず個人の意識を高めてきれいな自然を手に入れてほしいです。すばらしい岸和田になってほしいです。森、山、公園、色々と。(城内地区 40 歳代 女性)
- 特になしです。現状のまま、住み良い岸和田市であってほしいです！50年後も岸和田市で住んでいたいです！(城北地区 10 歳代 男性)
- 身近に自然を感じられる場所であってほしい。(城北地区 30 歳代 男性)
- 今と変わらないでいてほしい。(常磐地区 10 歳代 女性)
- 住まいの校区は自然と市街地がバランスよく、将来(50年とは言わず)も維持していく事を望むし、自身も意識していきたい。(常磐地区 30 歳代 男性)
- わかりません。でも、小さい頃から自然と触れあう事のできる場所(ミオパーク)みたいな所があれば良い。(常磐地区 40 歳代 男性)
- 自然がこれ以上こわされていないように願っている。(常磐地区 60 歳以上 女性)
- 現在の岸和田市がそのままである事が大切だと思います。新しい建物などが立っていくでしょうか？古い場所や建物等を大切にしていって岸和田市であってほしいです。(新条地区 30 歳代 男性)
- 岸和田市はとても住みやすい土地です。だからこそ、だんじりのイメージだけではなく山も海もあり、自然もたくさん残すべきだと思います。住宅を増やすのも仕方ないかもしれませんが、この先緑あふれる美しい市であってほしいですね。子供達の為にも。(太田地区 30 歳代 女性)
- 自然が豊かであってほしいです。(太田地区 40 歳代 女性)
- 昔の様に広場や公園で遊べる環境づくり、虫を採ったりできる公園があること。(大宮地区 40 歳代 女性)
- 良くなってほしい(大芝地区 10 歳代 女性) 緑はキレイで海、川もキレイな岸和田にしてほしい。そうなれば地元でなんでも育てて地元で作れるようになる。(大芝地区 40 歳代 男性)
- 自然豊かな岸和田に！市民の理解の推進に力を入れて下さい。(大芝地区 40 歳代 女性)
- 現在の状態を継続していけばいいと思います。(朝陽地区 10 歳代 男性) 緑地や水辺の環境保全に取り組み、多くの生き物が暮らしていけるような環境になってほしいと思います。(朝陽地区 40 歳代 男性)
- 今より悪くなっていると思います。小さい頃池でざりがにや自然の生き物に触れ田畑の中を走り回り遊んでいたので現

在の子供達がかわいそう。東京に行くと緑が多いのとスペースの広さにびっくりする。ビルが並んでいても植物や木々がたくさんあり高い所から見ても緑色が目立つ。ビルが並んでいてもスペースを広くとっており、空間にほっとする。岸和田を含め、大阪はゴチャゴチャしていてイメージ悪い。岸和田にもたくさんだんじり祭りなどで他府県から人が来てくれるので駅前やその周り、自然環境を守りつつ緑の多い街づくりイメージUPしてほしい。よろしくお願いします。

(朝陽地区 50 歳代 女性)

- 岸和田市は海、山、自然環境にめぐまれこのままでも充分いけると思います。(朝陽地区 60 歳以上 女性)
- 下水の完備で川・海がかなりきれいになってきているので、市民意識の高揚と相まって、自然がかなり元に戻ってきているように感じている。昆虫や魚も増えているようになってほしい。(朝陽地区 60 歳 男性)
- 今と変わらない、今まで以上に静かで空気のきれいな町であってほしいと思います。(天神山地区 40 歳代 女性)
- 現在の環境保全を 50 年後も維持しておいて欲しい。(天神山地区 60 歳以上 男性)
- 山、川、野、畑等今のままで続いてほしいと思います。(天神山地区 60 歳以上 女性)
- 自然保護は絶対に残してほしい。市が積極的に取りこんでほしい。(天神山地区 60 歳以上 男性)
- 自然豊かで、楽しい町。(東葛城地区 20 歳代 女性)
- 50 年後は今ある自然環境はそのままに、残していきたいです。(東葛城地区 30 歳代 女性)
- 守るべき文化自然を守り、現在以上に生物にも、人にも住みごちのよい、岸和田市であって欲しいと思います。(東葛城地区 40 歳代 男性)
- 市の山間に生を重ねて、七十年。子どもの頃の自然状況を知っている者にとっては、あまりにも悲しい自然の凋落。夕方には、家の周りを無数に飛んだカトリトンボ、川の生き物の命の支えとなっていた無数のカワエビ、などは姿を全く消した。カッコーの声、ヨタカの声もかつては聞こえたが、今はない。これらは象徴であり、数え切れない命の種類が消えていった。共に過ごした私たち田舎人の深い郷愁は都会の人や若い人には……。今、放置された竹藪、放置された人工林、このまま捨て置けば、五十年後を想像するだに恐ろしい。夏になれば、津田川の中流では湯水となり、水のない川床となる。もはや、川の体をなさない。幾種類もの生き物が海と川、上流を行ききしている。保水力の弱まった山地の川の水を途中途中の堰で取水され、町に降った雨は別の水路を流れ、川には入らない。自然林が破壊され、保水力のない山、途中で川が分断され生き物が路頭に迷う。とても、豊かな自然とは言いがたい。エセ自然の緑だ。行動としては、放置された竹藪や人工林をどう自然林に変えるか。これは、もう国の施策だろうが、多数の市民の実動を組織できないものだろうか。川の護岸工事は、でこぼこで、深い穴を持った護岸にできないものだろうか。池の護岸も同じこと。少なくとも、降った雨が川にそそぐような水路のあり方はどうか。里山のある小さな地域を自然保護区に設定し、市としてあらゆる援助をする。それと同時にその地域に、自然の野、山、川に触れられる施設をつくることのできないか。そもそも自然資料館が街中にあることも不自然。以上、いろいろ思いますがとりあえず。(東葛城地区 60 歳以上 男性)
- 今から 50 年前の少年時代の用な自然環境であって欲しい (東葛城地区 60 歳以上 男性)
- 山や海の自然は、将来も、今と変わりなく、残っていて欲しいと思う。(東光地区 50 歳代 女性)
- 海や川がドロドロとしていない美しい環境にしたい。(東光地区 60 歳以上 男性)
- 緑がいっぱいで自然豊かな市になってほしいと思っております。生物多様性に関する取り組みについてはよくわかりませんが、でも私は岸和田が好きですよ。だからステキな市になってくれたらいいなあと思っております。わたくしなんかの意見が参考になるかわかりませんが、少しでもお役に立てればなあと思います。それでは失礼いたします。(八木地区 10 歳代 女性)
- 今よりも緑が多く、新鮮な空気を吸えたらなと思います。もっと緑を増やして、いろんな動物ともふれあいたいです。(八木南地区 10 歳代 女性)
- 少なくとも、今の自然を破壊しないで残してほしい。(八木南地区 50 歳代 女性)
- 今より自然が増えて欲しい。公園や皆が集まれる自然にふれやすい場所が増えて欲しい。(八木北地区 30 歳代 女性)

性)

- 岸和田市に居住し50年弱になりますが、50年前の近隣は自然の緑も豊富で空気も澄んで人の気質も穏やかであったように思います。現在は身近な田畑等が乱開発されマンション等が非常に多くなり年々寒暖の差が激しく感じます。これ以上、自然を崩壊してはなりません。将来(50年後)の岸和田市は今の環境を保全して次世代に繋ぐことを個々、肝の命じなければいけないと思います。老体(微力)ですが保全活動に今後参加できればと思っています。(八木北地区 60歳以上 男性)
- 現在のままでいいと思います。(浜地区 40歳代 男性) 自然との共生 開発主義で自然が怒っている現象に我々人間は原点に戻り生活環境に取り組むべきである。(浜地区 60歳以上 男性)
- 人間は常識を持って行動しない限り50年も自然環境は良くならないと思います。(浜地区 60歳以上 男性)
- 土や緑を増やしてほしい。子供達が遊べる公園を増やしてほしい。(旭地区 40歳代 女性)

緑について

- 道が整備され両端には植物と歩道がある。(光明地区 30歳代 女性)
- 緑を守って他市から移住する人々が増える。(光明地区 30歳代 女性)
- 今より、もしくは今と同じくらい自然を残こして緑あふれる街にしてもらいたい。(光明地区 30歳代 女性)
- 私は現存70才なので50年後は生きてないと思います。希望は、緑豊かな岸和田になってほしいです。孫たちのために。(光明地区 60歳以上 女性)
- 緑の多い地域であって欲しい。(修斉地区 40歳代 女性)
- 緑あふれる町になってほしい。(城内地区 10歳代 男性)
- 緑を促進し、川をきれいにする。住宅ばかり建てず、公園を増やしてほしい。(城内地区 10歳代 女性)
- 小規模開発住宅地域に植樹の義務(例 100㎡に1㎡の緑地の設置)。(城内地区 60歳以上 男性)
- 市街地でも緑化率20%ある緑多い街にしてほしい。(朝陽地区 60歳以上 男性)
- 公園などにもう少し緑がほしいですね。(朝陽地区 60歳以上 女性)
- 市内中心部に樹木を中心とした公園があると良い。今はポツンと樹木があるという感じ。(天神山地区 30歳代)
- 緑地を増やし、今よりも自然環境が向上していて欲しい。(天神山地区 40歳代 女性)
- 市街地でもみどりが豊かであってほしい。街路樹のせん定について、管理を優先しすぎて過度に切りすぎている。管理は最少限にして生物が生きていける場所にしてほしい。(東葛城地区 30歳代 男性)
- 緑豊かな岸和田であってほしい。(東葛城地区 30歳代 女性)
- これ以上緑をへらさない様、住宅地に木や緑を少しでも多く残すよう。(八木南地区 60歳以上 女性)
- 緑が多い町(市)であって欲しい。(八木北地区 40歳代 女性)
- 今回里地里山というのを知ってとってもいいと思いました。岸和田市全体がそれに近づいてほしいと思います。別紙の自然がほとんど山側で海側は開発ばかりで自然がないことを物語っているのではないのでしょうか。山側は交通など不便でどんどん人がはなれたら放ったらかしの自然にならないよう、里地里山になれるような開発をして下さい。山側はもう少し便利で、海側はもう少し自然のある住みよい街にしてほしいです。(光明地区 30歳代 女性)

山について

- 一方はげ山も目にするようにもなりましたのでそれは寂しいので紅葉の景観は大切にしてほしいです。(山滝地区 40歳代 女性)
- 神於山周辺の環境の保全をし残してほしい。(山滝地区 60歳以上 男性)
- 荒れた竹林をなくす。四季の彩りを作る広葉樹林となる事。(山直南地区 60歳以上 男性)
- 40年程度前の美しい山川に戻せる事ができるなら、すばらしいと思います。(城内地区 50歳代 男性)
- 森林、緑地、海岸の岸和田市に！！(城北地区 40歳代 男性) 山間部(森林)は増々自然の恵が生かされ、四季毎に我々に景色・風景を楽しませてくれる環境に期待。(中央地区 60歳以上 男性)

- 自然が豊かだとは云え、まだまだ緑は少ないかと思えます。植樹をして木々を増やし、はげ山がなくなり、50年、60年後には緑の山々があちらこちらに見られる環境であれば良いと思えます。(東葛城地区 60 歳以上 女性)
- 山は荒れ、山菜等は全くなくなりました。もう少し悲しくなります。山歩きも少しくらいは出来るように手を加えてもらえないでしょうか。(東葛城地区 60 歳以上 女性)
- 私は和泉市の出身で山育ちです。今は海側に嫁いできて30年をすぎました。正直いって私は海より山が好きです。田んぼ等でよく遊びました。緑が大好きです。緑は目にも良いし、空気が澄んでいる感じがすごく好きです。自然は本当に大切です。それと触れあう教育をさせてあげてください。(浜地区 50 歳代 女性)

川について

- 下水の整備により牛滝川ではたるを観る事ができるようになっていますので50年後もみれますように。(山滝地区 40 歳代 女性)
- 川の水がきれいで流域に見合う魚種の姿が見れる事。(山直南地区 60 歳以上 男性)
- 将来、今より自然が豊かになって欲しい。草木などの植林だけでなく、川なども魚や水棲昆虫が棲めるような自然の水辺を整備する。(城内地区 50 歳代 男性)
- 泉州特有の池の保全(コンクリートの堤防でなく、出来るだけ土堤で)。(城内地区 60 歳以上 男性)
- 自然環境に影響の少ない河川改修。(常磐地区 50 歳代 男性)
- 春木川沿いの緑道の延長と川床の整備を行ない、野鳥や多くの種類の川魚が住める環境であってほしい。(常磐地区 60 歳以上 男性)
- 50年後の春木川で泳ぎたい。そもそも自然の生き物にエサをあげてる時点で無理やと思う。自然に人が手を加えたりしたらダメ。アメリカのようにするべき。市や市民が川の清掃をしているのをみたことがない。生活排水が流れていて何が自然やねん。私は、海も山も川も好きです。ここまで放置していた岸和田市に何ができますか?おじいちゃんの頃の自然があれば、子供達は、生き物のありがたさ、命の大切さがわかるはずです。キツイコメントですが、自然を大切にしてほしいです。(大宮地区 20 歳代 男性)
- 川でざりがに e t c を取って遊んだ頃がなつかしく、今の子供たちにもそういう経験をさせてあげたいです。(朝陽地区 50 歳代 女性)
- 川などはいつも綺麗にしておく必要があると思います。(朝陽地区 60 歳以上 女性) 川の水が、いつまでもきれいでいてほしい。(東葛城地区 60 歳以上 女性)
- 川は20年程前まではとてもよごれていたけれど近年ははたるも飛ぶように、ずいぶんきれいになりました。(東葛城地区 60 歳以上 女性)

海について

- 今と同じように夏にはたくさんの方が海水浴を楽しめる岸和田であってほしい。(旭地区 10 歳代 女性)
- 砂浜の復活。(常磐地区 50 歳代 男性)
- 海辺、海岸を昔の様に自由に開放してほしい。企業が進出してきて昔の様に海岸、海辺に行くことが出来ない。市民には自由に海岸海辺に行ける権利が有ると思う。(中央地区 60 歳以上 男性)

田畑について

- これ以上、山の木々や田畑を減らさず残っていてほしい。(光明地区 20 歳代 女性)
- 家のまわりには田んぼや畑がたくさんありますがよく(年中)燃やして困っています。お母さんが洗たく物に、においや灰がついているとおこっています。自然がいっぱいあっていいのですが、燃やすのはやめてほしいです。窓もあけられません(夏でも)(山直北地区 10 歳代 男性) 環境を考えた街の整備や企業誘致、農業離れに対するなんらかの取組み。(山直北地区 40 歳代 女性)
- 野山田畑が無くなり、子どもの遊び場所もありません(公園なども子どもが遊べる様な状態でない所が多い)。(山直北地区 40 歳代 女性)

- 休耕地に対して、行政が借地として借り上げ、景観を維持したり、冬期には水を張り生き物をよび込むなどの検討をしてほしい。(城北地区 60 歳以上 男性)
- 最低でも今現在の自然を残してもらいたいです。住宅地が山手の方に広がりつつあります。(常磐地区 20 歳代 女性)
- 子どもの頃に親しんだ自然環境(畑や田んぼ、ため池など)は多少宅地化したものの、まだ多くは残っています。(常磐地区 30 歳代 女性)
- 田や畑がだんだん利用されなくて、荒地になっていたり家が建っていたりするのを見ると、岸和田の未来が不安になってくる。(常磐地区 60 歳以上 女性)
- 子供の頃よく遊んでいた田畑は、全て住宅地が変わっています。50年後、せめて今のように緑や、木、土が近くで見えていて欲しいです。(新条地区 40 歳代 女性)
- 里地里山が現在より増えれば最高ですが、悪くても今より少なくならない取組を強化してほしい。(八木南地区 60 歳以上 男性)
- 山手の方の田や畑はへらさない様にしてほしいです。(浜地区 50 歳代 女性)

生物について

- 土生中学校の近く比較的市街地の近くに住んでいます。10年程前迄は土生中学校の前の池に小型のカモメの様な(図鑑で調べてみても不明)鳥が飛んでいたが今は見る事が出来なくなった。今飛んでいる鳥達が、あちこちを飛びまわっている様な、山も海も近くにある岸和田はとても良いところだと思う。最低限今の景色がこれ以上変わらない岸和田であって欲しい。(旭地区 60 歳以上 女性)
- 外来生物の繁殖を阻止し生態系を守る。(光明地区 30 歳代 女性) 外環道路など山手の道の下に動物の通り道(トンネル)を作っては?よく跳ねられている。(山滝地区 40 歳代 女性)
- 春木川がもっときれいになり、小鳥等が飛んで来ると楽しいです。(山滝地区 60 歳以上 女性)
- 今と変わらず身近に生物がいるという事であってほしい。《虫の悩み》10月に入ると「カメムシ」が大量発生し、洗濯物等にたくさんくっつき、困ってます。外に干せません。季節のいい時期に布団も干せず、外出する時間も考えないと、知らぬ間に服に・・・。(山直北地区 40 歳代 女性)
- 下水道の充実(水の汚染の為、国のタニシがいなくなり、外来種のタニシがふえつづけています)。(山直北地区 40 歳代 女性)
- 緑がいっぱいで鳥・魚・蛭等、昔の様にすぐ近くで見られる事を願う。川(牛滝川等)の両岸を、出来ればセメントで固めないでほしい。今は田舎でもセメントになってっている。見ためはさっぱりとなっているが、小鳥も魚も蛭も住めないと思う。(修斉地区 60 歳以上 女性)
- ほたるが増えて欲しい。田、畑を残して欲しい。(修斉地区 60 歳以上 女性)
- 動植物も生きやすく、私達も自然に守られた環境。(大宮地区 40 歳代 女性)
- これ以上自然環境を破壊することなく、上手に人と自然が共存していて欲しい。生物多様性が守られ、絶滅する動植物がないことを願う。(朝陽地区 40 歳代 女性)
- 野生動植物と人が共存できる地域であってほしいと思います。個人宅でも、土地全面をコンクリートでうめるのではなく、それぞれの家に土面の見える場所がある様な街を望みます。(朝陽地区 50 歳代 女性)
- 田畑や山が、少しでも多く残っていて欲しいです。人と動物が共存していける環境を望みます。(天神山地区 50 歳代 女性)
- 動物園があつたらいい。(東葛城地区 10 歳代 男性)
- かぶと虫、みみず、ホタル等が生きる場開発する場の区別が出来、下水道の処理設備をし、生活廃水が河に流入しない様、川魚が居ても子どもが川遊びしても安全な様にして欲しい。設備が必要!(東葛城地区 40 歳代 女性)
- イノシシやあらいぐまの被害が近年多くなっている。個人農園では限度があり、行政のほうでなんとかしてほしい。(東葛城地区 50 歳代 女性)

- 私が小さい頃（50年くらい前）には津田川には、ホテル、アメンボウ、水すまし、糸とんぼ、かえる、どじょう e t c いろんな生物がいましたが、今はほとんど見かけません。かつての様の自然がいつまでもつづく事を祈ります。（東葛城地区 60 歳以上 男性）

自然と共生した開発

- 人が便利に（楽に）生きるには自然を破壊して道路を作り、建物ができて自然環境を守るという事とは真逆な事になってしまう。できるなら開発した土地の中に人が自然と普通に触れ合う事のできる場所を多く作って欲しい。（光明地区 40 歳代 女性）
- 自然と日常生活が共存し合いながら生きていける環境が非常に望ましいと思います。単純ですが、1人1人が自然を大切にするという心を持つことが必要ではないかと思います。（山滝地区 20 歳代 男性）
- 今、自然をこわしすぎていない岸和田市は立派だと思っています。これからも開発があっても自然との共生を第一に考えてきれいな岸和田市であってほしいと思っています。（山滝地区 60 歳以上 女性）
- 自然を残すのは大切だが、無駄が多い様に思う。計画的に見つめなおし、自然と利便性を考慮した快適な岸和田市として孫たちが安心して生活出来る様に……。 （山直南地区 60 歳以上 女性）
- 山、川、海、どこでも散策できる環境（駐車場、トイレ棟）が完備されている事。（山直南地区 60 歳以上 男性）
- 自然環境を今以上に悪化させてはならない、厳しい開発規制もやむえないと思う人工で自然をとりもどすには時間も費用も当然かかります。住民・企業に多少の不担はしかたがない。（修齊地区 60 歳以上 女性）
- 新しく開発するところは自然に配慮した構造にしていけばいいと思います。財政面を考えると最重要課題ではなく、過剰な費用を費やすのは反対です。（城東地区 40 歳代 女性）
- 岸和田全域に緑（公園・憩いの場）を増し、道路整備とともに、川・池・海の汚染を無くし、空気の良い住みやすい自然環境と地場産業（林業・農業・漁業）の更なる発展を自然環境が良くなる事により期待したい。（中央地区 60 歳以上 男性）
- 50年後、たくさん家が建ったりして自然環境は少なく悪くなって、しまうような気がします。ニュータウンを作る為に、自然を切り開いていくことよりも廃屋など人の住んでいない建物や、ビルなど見直してそこに家を建て替えるなどした方がいいと思います。（天神山地区 30 歳代 女性）
- 今以上自然環境をこわさない様に美しい町（街）造りを進めていって欲しい。（東葛城地区 60 歳以上 男性）
- 海や川は子供の時の様に美しく、アスファルトの道は車の通路だけにして他は地道（土の道）にしてほしいです。（東光地区 60 歳以上 女性）

子ども(教育)

- 子どもたちが山や海まで行かなくても、小さな自然でも良いので身近で触れる機会が残っていれば良い。（旭地区 20 歳代 男性）
- 現在私は、貝塚南高校にかよっています。岸和田市や貝塚市などが、情報を提供しあい、高校の生徒会などの参加の協力体制を作り、まず、機動力のある中高生の協力をするべきだと思う。（光明地区 10 歳代 男性）
- 緑が豊かな自然がたくさんある場所で子供達が伸びやかに育つように望みます。（光明地区 60 歳以上 女性）
- 自然と共に生活ができればいいなァー（昔みたいに！）子供たちに大切なことがのこせれば、自然の中で自分たちも生きていることを！！自然のルールおしえてあげてね（いいふる里、岸和田でね）。（山滝地区 50 歳代 女性）
- 50年後も自然環境は変わらず、今のままであってほしい。山や野原をなくさないでほしい。便利な生活よりも故郷の自然を残すことが、次世代の子どもたちにとっても良いと思います。市や団体の方々が生物多様性を保全する取り組みをしているかどうか、あまり知られていないと思います。特に学校でもっとPRできれば、子どもたちとその新世代に

意識してもらえないのではないかと思います。各自治会へもっと働きかけをしてもらうのも大切かもしれません。(山滝地区 60 歳以上 男性)

- 子供達も関心を持ち(教育の場で自然とふれあい)豊かな環境を作って欲しいと思います。(山滝地区 60 歳以上 女性)
- 50年後は自然がいっぱいで子供たちが自然とふれあえる環境になってほしいと思います。(山直南地区 40 歳代 男性)
- 人と自然の共存は理想ですが、本気になって、行政が、取り組まないとむずかしいと思う。このように意しき調査してくれて、うれしいです。少しは意識も高まります。教育は大事だと思いました。(山直北地区 30 歳代 女性)
- このまま子供達が自然にかかわれる状態を維持できる環境になってほしいと思います。(修斉地区 30 歳代 女性)
- 今より、豊かな緑を子供に、残してやりたい。(春木地区 30 歳代 男性)
- 人の行動として、これからの世代に対して、教育過程で環境保全のあり方を教えた方がいいと思います。(城東地区 40 歳代 女性)
- 未来の子供達が自然とふれあい遊べる場所が増える事を望みます。(城東地区 40 歳代 女性)
- 小学生の時から自然の大切さを教えることで、市民全体の環境への意識を高めることが重要。(城内地区 50 歳代 男性)
- 子どもが、自然とふれあって育っていけるように、出来るかぎり、自然環境を守っていけるような活動をしたい。(城北地区 30 歳代 女性)
- 最近、畑が家やお店になっていて、どんどん緑が減っているのが気になります。だから、その建て物に木を増やさせたり、もっと緑を多くしてほしいです。あと、学校とかで、もっとリサイクルとか自然の大切さを教えた方がいいと思います。(常磐地区 10 歳代 女性)
- 人口が増える可能性は地域的に低いと思われるので、恐らく環境は50年後もいまと大差ないと考えられます。ただ、農業に従事する人や里山を管理する人が今後どの程度いるのかと考えれば、少子化によって逆に(ある程度人の手が加わった)自然環境が荒廃しているのではと心配されます。できるだけ今の状況が残っていてほしいと思います。子どもに環境保護意識を高めさせる環境教育が大切だと思います。(常磐地区 30 歳代 女性)
- 子供達が大人になって、その子供と一緒に自然にふれ合う事ができるように公園や山の植物を大切にしていきたいと思う。(常磐地区 40 歳代 女性)
- 子供達がいきいきと過ごせる町であってほしい。(常磐地区 50 歳代 女性)
- 緑が増えていると良い。将来のチビっ子達が土の上で走りまわって遊んでいる環境が残っていて欲しい。(常磐地区 60 歳以上 女性) 自然を守り管理する人の人材教育に努めてほしい。(常磐地区 60 歳以上 男性)
- 環境意識の高い市民であってほしい。(大芝地区 60 歳以上 男性)
- 子供達が安心して遊べる自然あふれる場がたくさん作られて欲しいです。(朝陽地区 20 歳代 女性)
- 学校などでも積極的に岸和田の自然環境についての教育ができればよいと思います。(朝陽地区 40 歳代 男性)
- 環境の保護は組織的に取りくむより個々のモラルが重要だと思う。そのためには、教育が大切だと思う。(東葛城地区 60 歳以上 男性)
- 自然との共存は大事な事だと思います。人間が自然によって生かされている事を小さい頃から教育(学校で)するべきだと思います。自然が無くなる恐さも教えるべきでは……。大人が、本当は教育を受けるべきだとは思いますが。(八木南地区 50 歳代 男性)
- 子供が、もっと「土」と遊べる環境が整備されたらいいと思う。(八木南地区 60 歳以上 男性)

食(農・一次産業)

- 地域の物ですべてまかなえる用にしたい。(山直南地区 60 歳以上 女性)
- 岸和田市に限らず日本全体が農業、林業、漁業から離れてしまっている。若い世代に継いでゆく為には、もっと待遇を

- 良くして働き手を増やすようにすれば、山、川、森、海も今のままでいられると思う。(城内地区 40 歳代 女性)
- 空農地も沢山ありますが、作りたい人に借りてもらい農業等にも力をいれてもらいたい。(常磐地区 20 歳代 女性)
- 泉州たまねぎや水ナスなど、豊かな食文化が引き継がれてきた岸和田。50年後も変わらず第一次産業がしっかりと根付いている。そんな地域であり続けて欲しいと願っています。(朝陽地区 40 歳代 女性)
- 田畑の空地をもうすこし利用して岸和田の特産品をもうすこしふやしてほしいです。(東葛城地区 60 歳以上 女性)
- 自然環境は悪くなっていくと思うのでとりあえず今の状態を維持してほしいです。身近なスーパーに地元でつくられたものを今よりもたくさん置いたらいいと思います。(八木地区 50 歳代 女性)

その他

- 古き良き岸和田の街並みを存続し観光地にする。(光明地区 30 歳代 女性)
- 生物多様性とか地域戦略とか、むつかしい言葉で何のこともはっきりわかりません。もう少し、小学生でもわかるような表現、キャッチフレーズを考えてほしい気がします。(光明地区 60 歳以上 女性)
- 自然も大事かもしれないけれど、交通の便が悪すぎて、子供の通学や夫の通勤、私の仕事、不便です。又、その為車で移動になるので、排気ガスの方が問題だと思います。まず、個々の排気ガスを減らして空気をよくしてから自然だと思います。(山直南地区 40 歳代 女性)
- 不法投棄(ゴミ)のない岸和田市。(山直南地区 60 歳以上 男性)
- どうでもいい。ようわからん。(山直北地区 10 歳代 女性)
- 全国区でのPR不足だと思う。地車だけの岸和田市は芸が無さ過ぎる。岸和田に暮らす事を他市の人に言う事を臆してしまう。地元民が誇れる町に、教育も必要だと思います。(修斉地区 50 歳代 女性)
- ゴミの分別の徹底と道端のゴミ等をなくす努力がまず必要だと思う。一部の真面目な人の取り組みだけでは環境保全是机上の空論です。罰則等ルール化すべき。(春木地区 10 歳代 女性)
- 特になし。市役所とは別の場所にあり今の若い世代の主婦達は環境部って毎日何の仕事してるのぐらいにしか思いません。(ゴミの件以外は)私も意味不明な所です。すみません。ゴミ収集7時~7時半にきます。せめて8時半~9時にしてほしい。早いので近所は困っています。夜から出すわけにもいかず・・・引越してきた者にはビックリしています。(城内地区 40 歳代 女性)
- 意識は良いと思うがこのアンケートに答えなかった場合のこの紙や、封筒の資源はムダになると思う。ネットでアンケートを取ったり、役所に来てる人に直接聞いて税金を大切に使うて欲しいと思います。(常磐地区 20 歳代 女性)
- ソーラー発電による防犯灯設置と設置箇所の増設。(常磐地区 60 歳以上 男性)
- 自転車道を作り、なるべく車を使うのを少なくして身体の為にも、環境の為にも安全に自転車が乗れるような、岸和田市にして欲しい。(常磐地区 60 歳以上 女性)
- いつも思うことですが他の事柄でもアンケートだけをとりだけで終わっていないかという事です。お役所仕事で終らせないでどのような事でも効果のあがる取組を切に願っています。(中央地区 60 歳以上 男性)
- アンケートに参加させて頂き、自然や生物に対する思いが変わりました。有りがとうございました。(30 歳代)
- 自然環境を良くするためにいくらがんばっても、犬を飼育している人たちの、犬のどこにでも、おしっこや、フン(持ち帰らない)をさせる事を、もう少し行政からきびしい条例を、つくってもいいのではないかと思います。(60 歳以上 女性)

1 調査概要

(1) 目的

(仮称)岸和田市生物多様性地域戦略策定に向けて、既存の活動団体への普及啓発を行うとともに、その活動内容や各団体の「生物多様性への認識」、「岸和田市の自然環境への認識」、「他団体との連携の可能性」などを把握し、戦略策定の際の基礎資料とする。

(2) 調査方法

郵送等によるアンケート調査（平成25年1月下旬発送）

(3) 調査対象

岸和田市内等で活動する39団体

(4) 調査内容

生物多様性の普及啓発及び団体の活動状況及び生物多様性の保全への意向の把握し、さらに他の主体等との協働を進めるための基礎資料とする。

- ・団体活動の振り返りや岸和田の自然についての認識状況の把握を行う
- ・啓発的意味も込めて意識や意向を聞く（団体として何ができるか）
- ・シンボルや目標設定、計画推進のための方策を検討する基礎資料

(5) 回収結果

- ・回収数29件（74.4%）

(6) 結果概要

●属性

- ・団体の活動年数は、10年以上20年未満が約32%と最も多く、10年以上活動している団体が全体の60%を占める。
- ・活動頻度は、月1～2回程度が約28%で、週1～2回程度が約17%、毎日が約14%と続く。
- ・活動への年間参加者数（累計）は、「10人以上50人未満」が約24%と最も多く、次に「100人以上500人未満」と「1,000人以上2,000人未満」がそれぞれ約21%となっており、活動への参加者数にはばらつきがある。
- ・活動への参加者の主な年代は、60代が約21%と最も多いが、40代、50代、70代はそれぞれ約15～16%となっている。しかし、10代～30代もそれぞれ約8～9%の参加者であり、比較的幅広い年代が参加していることが分かる。
- ・主な参加者の構成は、「単身」が約52%と最も多く、次に「夫婦」と「親子」がそれぞれ約7%となっており、半数以上の参加者が単身にて活動に参加している。

●生物多様性について

- ・生物多様性に関連する言葉については「言葉の意味を知っている」との回答が「生態系サービス」の約41%以外は全ての言葉が約76%以上の割合で認識されている。

- ・一方、「生態系サービス」、については「言葉の意味を知っている(約 41%)」との回答が他の言葉に比べて著しく低い結果となっており、今後、言葉の意味を含めた普及啓発が必要である。
- ・自然の恵みについては、「いつも意識している」と「ときどき意識する」を併せると、「食べ物(約 97%)」、「大気や水(約 97%)」以外に「伝統的な文化(約 93%)」と「木材(約 93%)」も市民にとって「自然の恵みに支えられている」ことを意識する対象であることが分かる。
- ・「人間活動によって『生物多様性』が危機に瀕していることを知っていますか」の問いに対しては「よく知っていた(約 31%)」と「少しは知っていた(約 59%)」となっており、併せると約 90%を占める。
- ・また、農林水産業と生物多様性との関係については「いつも意識している(約 48%)」、「ときどきは意識することはある(約 45%)」となっており、併せると全体の約 93%と著しく高い割合を占めることが分かる。
- ・「あなたは『生物多様性』を保全することは大切だと思いますか」との問いに対して「非常に大切だと思う」が約 86%で、「少しは大切だと思う(約 7%)」と併せると約 93%となり、全体の約 9 割以上が「生物多様性を保全することは大切だ」と思っている。
- ・また、「貴団体は生物多様性の保全に対して、関心がありますか」については、「大変関心がある」が約 55%となっており、「少しは関心がある」は約 35%であった。

●岸和田市の自然

- ・岸和田市の自然については「豊かだと思う」が約 52%、「豊かなところもあるが、身近には自然が少ない」が約 41%となっており、多くの団体が「岸和田の自然は豊かだ」もしくは「豊かなところもある」と思っていることが分かる。
- ・岸和田市の自然で「好きなもの、大切に思うもの、誇りに思うもの」では「神於山(約 66%)」及び「和泉葛城山(約 62%)」が著しく多く、続いて「ため池(約 41%)」となっている。このことから、「和泉葛城山」、「神於山」、「ため池」が岸和田市における自然のシンボルであることが分かる。

●活動について

- ・子どもたちを対象とした活動については、「特にない」が最も多くなっている。
- ・現在取り組まれている活動では「自然観察会」や「川、野山、田んぼ、海岸などで遊ぶ」取り組みが多い。
- ・今後実施したい活動については、「里山保全(約 41%)」が最も多く、次に「自然観察会」と「清掃活動」がそれぞれ約 38%となっている。
- ・また、「緑化活動(約 24%)」や「学習会(約 24%)」、「森林整備(約 21%)」、「生き物調査(約 17%)」、「ため池保全(約 14%)」など幅広い活動に対する希望がある。

●連携について

- ・「他団体等と連携した取り組みの実施」に対しては、「実施したことがある(約 35%)」、「よく実施している(約 31%)」、「実施したことはないが、興味があり今後は実施したい(約 17%)」となっており他団体との連携について高い実績とニーズがあることを示している。

●生物多様性地域戦略について

- ・生物多様性づくりへの取り組みに関しては、「生物多様性地域戦略の策定の中で重点的に取り組むべきこと」については、「市民理解の促進」、「地域の生物多様性の保全」がそれぞれ約 45%を占め高い割合を示すとともに、「市域及び自然資源の適切な利用等の促進」が約 38%となっている。
- ・生物多様性の取り組みを進めていくうえで主体となる必要があるのは「行政(国・府・市など)」が約 76%と高い割合を占め、続いて「市民」が約 62%となっているが、全てに関わる人たちの協力

が必要であるとの認識が強い。

- ・市民の日常生活での実践については、「海・山・川・公園等の美化活動に参加し、環境美化に取り組む」が約 66%となっており、次に「生き物や自然環境を保全する活動へ参加し、生態系に対する理解を深める(約 52%)」、「地域の自然観察など自然と積極的に触れ合い、地域の自然に対する理解を深める(約 48%)」、「旬の食材や地元産のものを選んで購入し、地産地消に取り組む(約 45%)」が大切であると高い割合で認識されている。

●企業活動について

- ・生物多様性に配慮した企業活動で期待する取り組みは「公園の美化活動など地域の活動に参加する(約 52%)」が最も高く、「生物多様性に配慮した木材や水産業などの原料を利用する(約 48%)」と「省エネ・省資源等の地球温暖化防止の取り組みを実践する(約 48%)」などに対する期待が大きい。

●今後の意識向上や取り組みの実践について

- ・今後の市民・事業者等の意識向上や取り組みの実践については「学校での生物多様性に関する教育の推進(約 52%)」、「市内の自然環境や生き物に関する情報提供(約 48%)」が他と比べて著しく期待が高い。

●将来(約 50 年後)の岸和田について (一部抜粋)

- ・岸和田市の特徴である 3 本川とそれにつらなるため池、市街地、農地、山地という地形の特色を生かし、それぞれの自然環境を維持、保全できるようにしてほしい。(特に自然海岸の回復)
- ・市民の大多数が「自然環境の保全」や「地球温暖化」、「自然資源の適切な利用」等の理解を深め、積極的に活動に参画する意識が高まり、地域の様々な環境の中のいろいろな生物がつながり、全体のバランスが保たれているような自然環境。
- ・子どものすぐ近くに豊かな自然があってほしい。その自然の中で彼らが遊び、学べるような環境を望みます。
- ・現状のままであってほしい。自然環境は、放任状態では維持されません。現状維持できる対策が必要だと考えます。
- ・主要 3 河川でホタルが飛び交い、山地、里山は緑で覆われ、田畑が適切に使用されており、砂浜が再生されている。

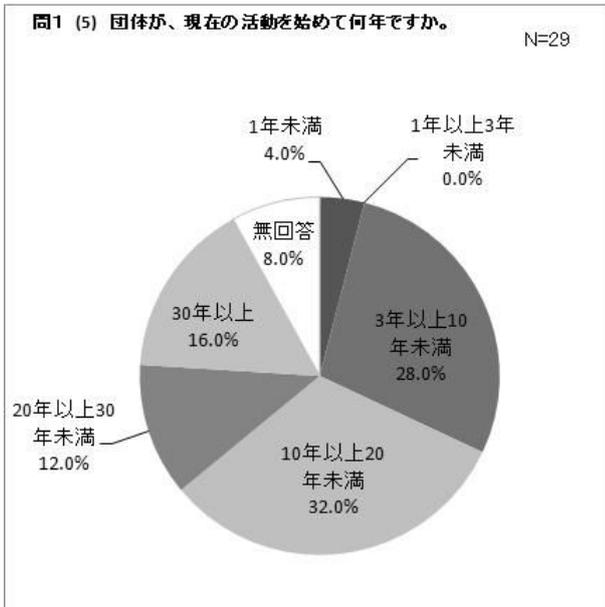
2. 調査結果

(2) 詳細結果

■団体概要について

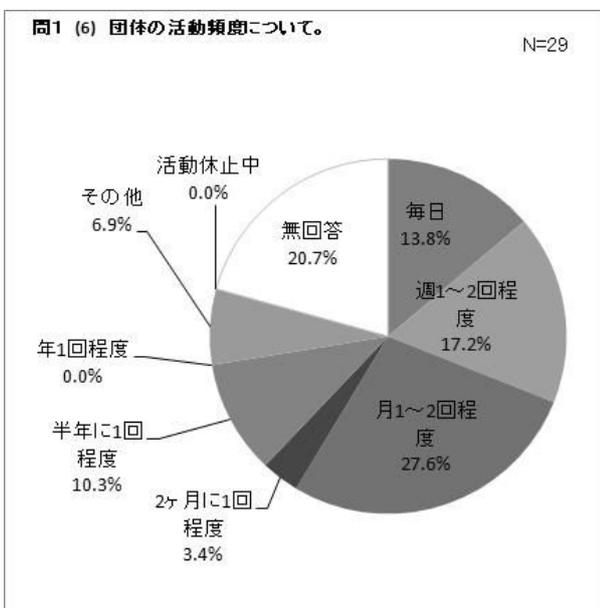
○団体の活動年数は、10年以上20年未満が約28%と最も多く、10年以上活動している団体が60%を占める。

○活動頻度は、月1～2回程度が約28%で、週1～2回程度が約17%、毎日が約14%と続く。



問1 (5) 団体が、現在の活動を始めて何年ですか。(番号に1つ〇)

	回答数	割合 (%)
1年未満	1	3.4%
1年以上3年未満	0	0.0%
3年以上10年未満	7	24.1%
10年以上20年未満	8	27.6%
20年以上30年未満	3	10.3%
30年以上	4	13.8%
無回答	2	6.9%
合計	25	

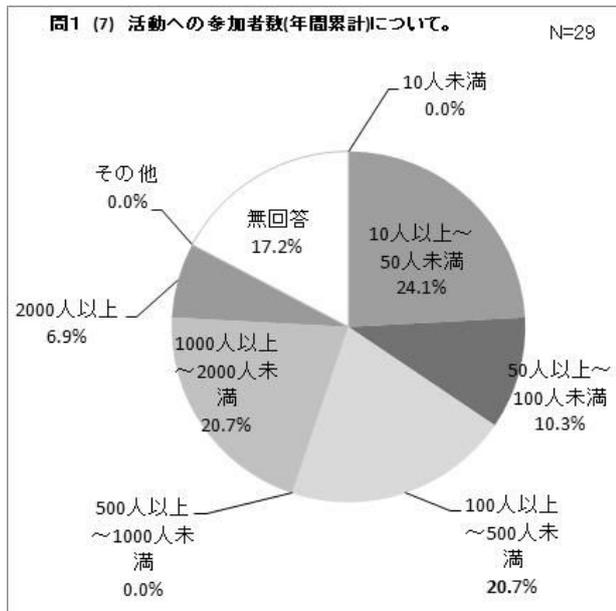


問1 (6) 団体の活動頻度について。(番号に1つ〇)

	回答数	割合 (%)
毎日	4	13.8%
週1～2回程度	5	17.2%
月1～2回程度	8	27.6%
2ヶ月に1回程度	1	3.4%
半年に1回程度	3	10.3%
年1回程度	0	0.0%
その他	2	6.9%
活動休止中	0	0.0%
無回答	6	20.7%
合計	29	

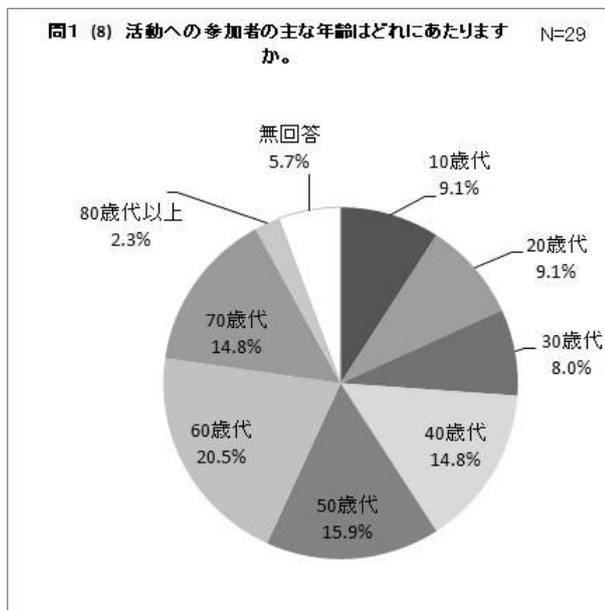
○活動への年間参加者数（累計）は、「10人以上50人未満」が約24%と最も多く、次に「100人以上500人未満」と「1,000人以上2,000人未満」がそれぞれ約21%となっており、活動への参加者数にはばらつきがある。

○活動への参加者の主な年代は、60代が約21%と最も多いが、40代、50代、70代はそれぞれ約15～16%となっている。また、10代～30代もそれぞれ約8～9%の参加者となり、比較的幅広い年代が参加していることが分かる。



問1 (7) 活動への参加者数(年間累計)について。(番号に1つ〇)

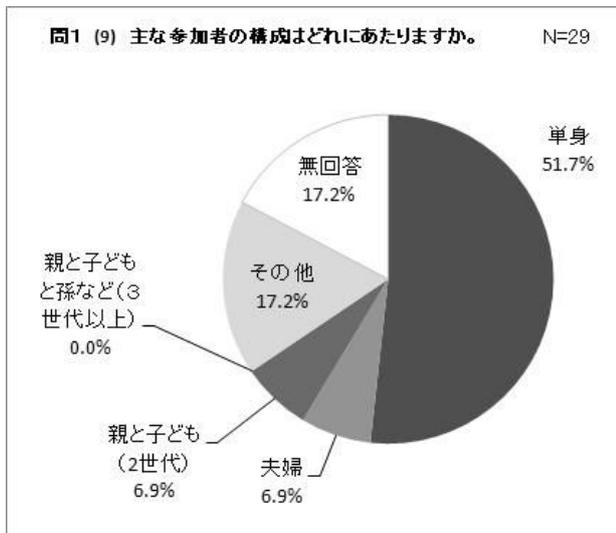
	回答数	割合(%)
10人未満	0	0.0%
10人以上～50人未満	7	24.1%
50人以上～100人未満	3	10.3%
100人以上～500人未満	6	20.7%
500人以上～1000人未満	0	0.0%
1000人以上～2000人未満	6	20.7%
2000人以上	2	6.9%
その他	0	0.0%
無回答	5	17.2%
合計	29	



問1 (8) 活動への参加者の主な年齢はどれにあたりますか。

	回答数	割合(%)
10歳代	8	27.6%
20歳代	8	27.6%
30歳代	7	24.1%
40歳代	13	44.8%
50歳代	14	48.3%
60歳代	18	62.1%
70歳代	13	44.8%
80歳代以上	2	6.9%
無回答	5	17.2%
合計	88	

○主な参加者の構成は、「単身」が約 52%と最も多く、次に「夫婦」と「親子」がそれぞれ約 7%となっており、半数以上の参加者が単身にて活動に参加していることが分かる。



問1 (9) 主な参加者の構成はどれにあたりますか。(番号に1つ○)

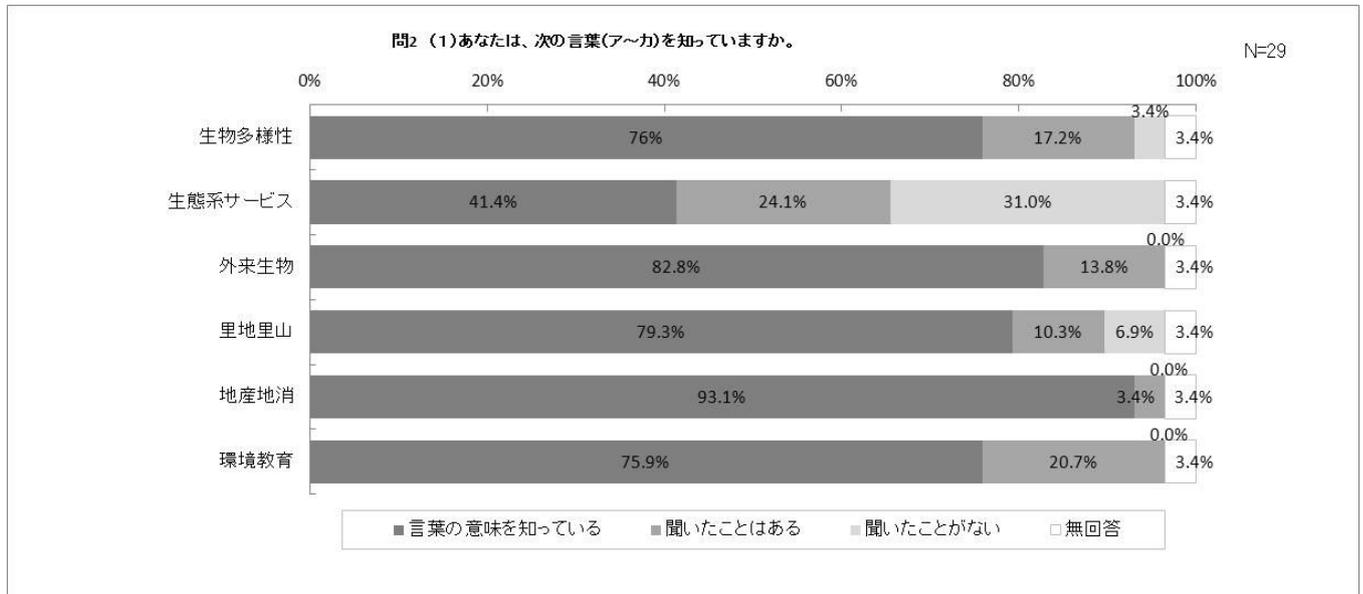
	回答数	割合 (%)
単身	15	51.7%
夫婦	2	6.9%
親と子ども(2世代)	2	6.9%
親と子どもと孫など(3世代以上)	0	0.0%
その他	5	17.2%
無回答	5	17.2%
合計	29	

■生物多様性について

【言葉の認識】

○生物多様性に関連する言葉については「言葉の意味を知っている」との回答が「生態系サービス」の約41%以外は全ての言葉が約76%以上の割合で認識されていることが分かった。

○一方、「生態系サービス」については、「言葉の意味を知っている(約41%)」との回答が他に比べて著しく低い結果となっており、今後、言葉の意味を含めた普及啓発が必要である。



問2 (1)あなたは、次の言葉(ア～カ)を知っていますか。

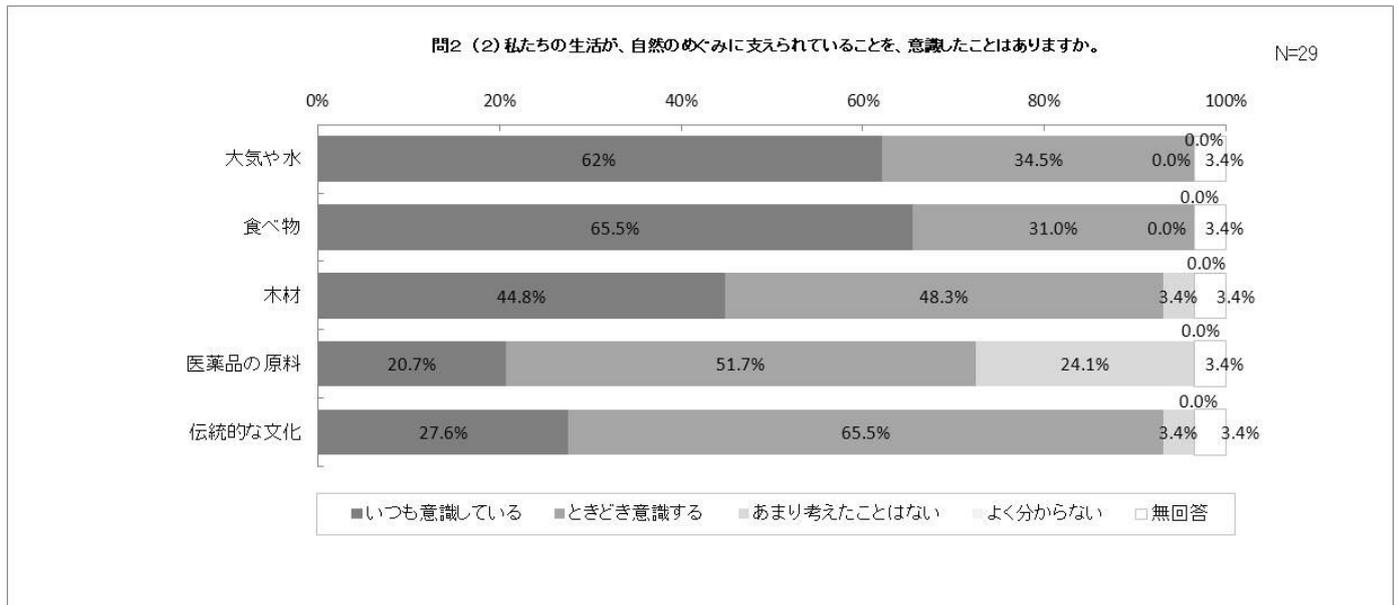
※回答数				
	言葉の意味を知っている	聞いたことはある	聞いたことがない	無回答
生物多様性	22	5	1	1
生態系サービス	12	7	9	1
外来生物	24	4	0	1
里地里山	23	3	2	1
地産地消	27	1	0	1
環境教育	22	6	0	1
※割合				
	言葉の意味を知っている	聞いたことはある	聞いたことがない	無回答
生物多様性	75.9%	17.2%	3.4%	3.4%
生態系サービス	41.4%	24.1%	31.0%	3.4%
外来生物	82.8%	13.8%	0.0%	3.4%
里地里山	79.3%	10.3%	6.9%	3.4%
地産地消	93.1%	3.4%	0.0%	3.4%
環境教育	75.9%	20.7%	0.0%	3.4%

【生物多様性の恵みへの意識】

○「いつも意識している」は、「食べ物」が最も多く全回答者の約 66%を占め、次に「大気や水」が約 62%を占める。

○「いつも意識している」と「ときどき意識する」を併せると、「食べ物(約 97%)」、「大気や水(約 97%)」以外に「伝統的な文化(約 93%)」と「木材(約 93%)」も市民にとって「自然の恵みに支えられている」ことを意識する対象であることが分かる。

○一方、「医薬品の原料」については「いつも意識している」が約 21%となっており、他に比べると低い回答となった。

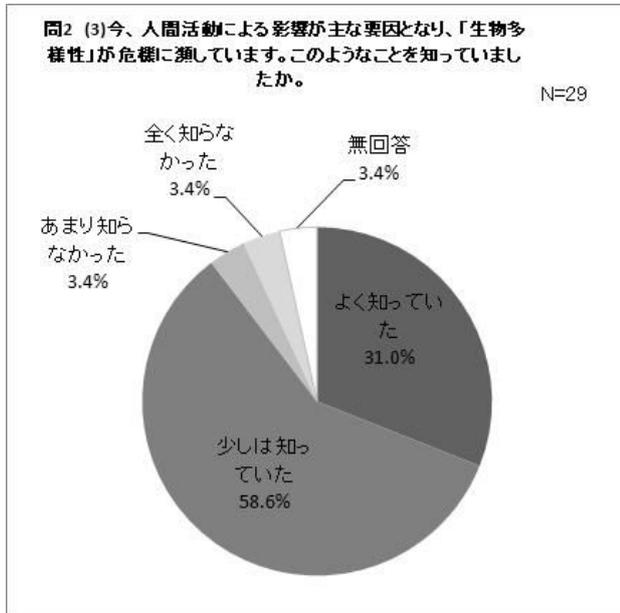


問2 (2) 私たちの生活が、自然のめぐみに支えられていることを、意識したことはありますか。					
※回答数	いつも意識している	ときどき意識する	あまり考えたことはない	よく分からない	無回答
大気や水	18	10	0	0	1
食べ物	19	9	0	0	1
木材	13	14	1	0	1
医薬品の原料	6	15	7	0	1
伝統的な文化	8	19	1	0	1
※割合	いつも意識している	ときどき意識する	あまり考えたことはない	よく分からない	無回答
大気や水	62.1%	34.5%	0.0%	0.0%	3.4%
食べ物	65.5%	31.0%	0.0%	0.0%	3.4%
木材	44.8%	48.3%	3.4%	0.0%	3.4%
医薬品の原料	20.7%	51.7%	24.1%	0.0%	3.4%
伝統的な文化	27.6%	65.5%	3.4%	0.0%	3.4%

【生物多様性について】

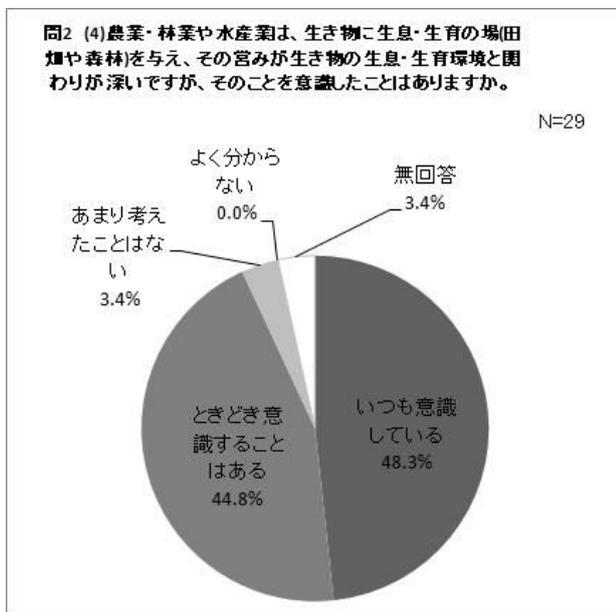
○「人間活動によって『生物多様性』が危機に瀕していることを知っていますか」の問いに対しては「よく知っていた(約 31%)」と「少しは知っていた(約 59%)」となっており、併せると約 90%を占める。

○また、農林水産業と生物多様性との関係については「いつも意識している(約 48%)」、「ときどきは意識することはある(約 45%)」となっており、併せると全体の約 93%と著しく高い割合を占めることが分かる。



問2 (3)今、人間活動による影響が主な要因となり、「生物多様性」が危機に瀕しています。このようなことを知っていましたか。

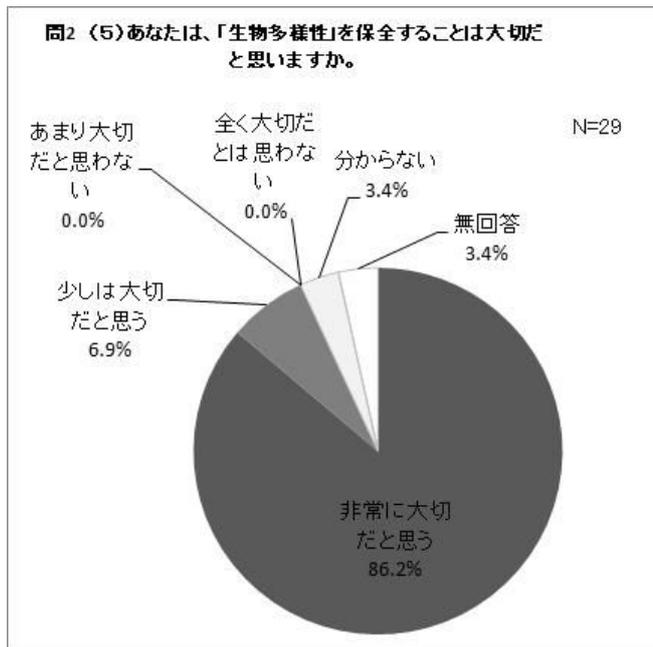
	回答数	割合(%)
よく知っていた	9	31.0%
少しは知っていた	17	58.6%
あまり知らなかった	1	3.4%
全く知らなかった	1	3.4%
無回答	1	3.4%
合計	29	



問2 (4)農業・林業や水産業は、生き物に生息・生育の場(田畑や森林)を与え、その営みが生き物の生息・生育環境と関わりが深いですが、そのことを意識したことはありますか。

	回答数	割合(%)
いつも意識している	14	48.3%
ときどき意識することはある	13	44.8%
あまり考えたことはない	1	3.4%
よく分からない	0	0.0%
無回答	1	3.4%
合計	29	

○「あなたは『生物多様性』を保全することは大切だと思いますか」との問いに対して「非常に大切だと思う」が約 86%で、「少しは大切だと思う(約 7%)」と併せると約 93%となり、全体の約 9 割以上が「生物多様性を保全することは大切だ」と思っている。



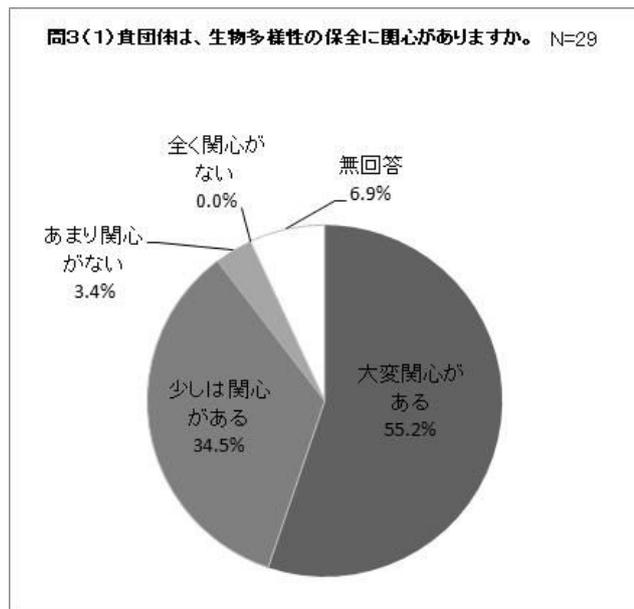
問2 (5)あなたは、「生物多様性」を保全することは大切だと思いますか。

	回答数	割合(%)
1 非常に大切だと思う	25	86.2%
2 少しは大切だと思う	2	6.9%
3 あまり大切だと思わない	0	0.0%
4 全く大切だとは思わない	0	0.0%
5 分からない	1	3.4%
6 無回答	1	3.4%
合計	29	

問2 (5) あなたは「生物多様性」を保全することは大切だと思いますか。その理由を記入してください。

団体番号	番号	理由
0001	2	阪和線より山手は自然が残っているが、浜側ではほとんどない。
0002	1	相川町住民としてはそう思う。
0003	1	岸和田市の地形は海岸部から山間部まであり変化に富んでいます。それぞれの地形は生物の生息環境を豊かにしています。
0004	1	森林資源が豊富
0005	1	神於山、葛城山の存在。
0006	2	比較対象は・・・基準が難しい。
0009	2	山手に行く程、自然が残っていると感じられるが、阪和線より西側では（海側）感じられない。
0010	1	臨海部、平野部、丘陵部、山間部、和泉葛城山が位置している
0011	1	単層人工材だけでなく、四季の色合いを感じる天然広葉樹林もあり、山頂付近にはブナ林もある。谷合いには大きな落差の滝もあり。神於山という里山もある。水がきれいで、カワニナが住み、天然の蛍が飛ぶ。まずは、住宅調整区域がきちんと確保されているのが自然を荒らしていない理由ではないかと考えます。
0012	1	まだまだ、緑が多く残っているところがある。
0013	2	それぞれの人によって違うかもしれませんが、私は和泉葛城山に約18年程行っている中で、和泉葛城山には残っています。
0015	1	海から山まであり、歴史があり、川、ため池、社寺林、古墳等身近な自然が豊富にある。
0018	2	全体としては、まあまあであるが西側（海）には少ないのではないかと。
0019	2	都会部分と山間部部分との差が大きい。それぞれの地域の良さをアピールする。
0020	2	岸和田高校の周りには五風荘の庭園などに野鳥もよくやってきます。しかし、市街地には緑が少なく豊かとは言い難いでしょう。
0021	2	丘陵部から山間部にかけては、自然は豊かではあるが、年々在来種の植物の種類も減少し量も減っている。
0022	2	山、川、溜池、海、緑があり、まちづくり計画で無指定区域における開発規制や開発に係る事前協議などによって、これらの環境要素が一定保存されている。
0023	1	過去から無造作な開発をせずに（市街化調整区域の線引き等）町づくりを実施。
0025	1	牛滝川など自然が保たれている。
0026	1	学校のそばの川でカワセミがいたり神於山で動物を見たり、まだ、学校の前では養魚池、水田があり、日々それを目にするので。
0027	1	東葛城校区は山、川、水に恵まれている。
0029	1	歴史的な背景もあり、山、川、海とが有機的に連鎖する里山を有するから。

○また、「貴団体は生物多様性の保全に対して、関心がありますか」については、「大変関心がある」が約 55%となっており、「少しは関心がある」は約 35%であった。



問3 (1) 貴団体は、生物多様性の保全に関心がありますか。(番号に1つ〇)

	回答数	割合 (%)
大変関心がある	16	55.2%
少しは関心がある	10	34.5%
あまり関心がない	1	3.4%
全く関心がない	0	0.0%
無回答	2	6.9%
合計	29	

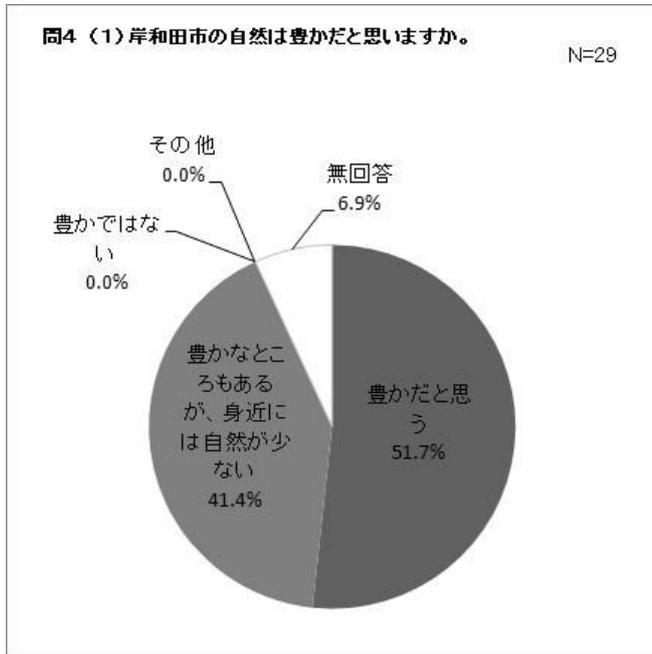
問3(2) 貴団体と「生物多様性」との関わり方についてお聞かせください。

団体番号	内容
0001	当団体は30年も前から5年に1度のタンポポ調査をし、岸和田市全域をメッシュ割りにし在来種と西洋タンポポの割合を出したり、幹線道路沿いの調査をし西洋タンポポの進入度を調査している。春木川に住む魚や昆虫を採取し、水質調査とまわりの自然環境との関連を調査し記録を残している。関西空港開港によってどれ程変わるのか調査するため開港前の大気汚染を表す元となる墓石に付く地衣類調査をしている。植栽された樹木ではあるが、中央公園の樹木調査、記録冊誌作成。岸和田にある社寺林の樹木調査(くまなく)冊誌作成。摩湯山古墳の樹木調査、30年前の記録との比較。和泉葛城山、大和葛城山、里山として神於山、相川などの観察会。淡路島の成ヶ島や和歌山天神崎での観察会や当地の保全活動を見学。久米田池やトンボ池に来る渡り鳥の観察。一月七日の「春の七草つみ」や七草がゆの日本の風習、習慣を守る。山野草をつんで料理をしたり食べたりする。花粉を運ぶハチの観察や木の実を食べる鳥の観察を通して虫と植物、鳥と植物の関係を観察、知る。
0003	当会は一消費者団体で主に消費者問題を追求しています。しかし、大げさに言えばどのような団体であれ地球上の一員として生物多様性とかかわりがないとは言えません。今、自然環境の悪化に伴って生物の多様性がこれまでにない早さで刻一刻と失われつつあると聞きます。これは、私たち自身が人類を含めた多くの生命にとって欠かすことのできない命のもとである。生物多様性を自ら壊していることに他なりません。私たちの周囲を見渡しても大きさや数に関係なく山あり、海あり、川ありでそこにはよく観るとさまざまな生命が息づいています。このような観念に立ち、身近な自然の中にかくれている生きものたちのつながりがあることに気付くため年1回シリーズで岸和田市を知るための野外学習会を設け、市内の自然を観ています。日常的には消費者問題と向きあっている団体ですが、上記のような内容を含めた行事を定例化し実施中です。また、日常的に学習する「食」の分野では地産地消を呼びかけ実践することで温暖化防止につないでいます。そしてスーパーで扱っているグリーン商品を調査し、スーパーとの懇談会で消費者の購入度などを把握するようにしています。
0004	林業を振興し、適切な森林整備の実施等を推進していくことが、生物多様性の保全につながると思われる。
0005	神於山に「蝶(昆虫)が集まる春木川源流の森」と題して、神於山に蝶が集まる山を作っています。
0006	神於山での里山保全のとらえ方は、里山保全の良好性(良盤性)は、「生物多様性」が高いレベルで維持されていることだと考えています。そのちめい、モニタリングと持続的、継続的維持管理活動を行うこと。それにかかわる人間がそれを楽しいと感じながら活動できることを意識しながら活動計画をたてています。そしてそれを継続できるシステムづくりをめざしています。
0007	神於山保全活動への参加。
0008	グループの環境方針を定め、その中で事業活動においては、常に環境への影響に配慮し、環境保全と汚染の予防等、環境リスクの低減に努めると定めている。
0009	会議所所報に節電やエコに関する情報を掲載。まちを美しく運動や港湾美化啓発活動等に職員(1~3名)が参加しております。
0010	I 地域の子供に久米田池の水で打ち水を体験してもらうことで、水の大切さを理解し、自然を汚さないようにする意識を育てる。II 久米田池や水路に棲む生き物に触れてもらい、また学習することで、身近に様々な生き物が生息・生育していることを学び、自然を大切にする心を養う。III 清掃活動に参加し、如何に不法投棄(ペットボトル・缶・ビン類・自転車・タイヤ・電化製品・その他鉄クズ)が多いのかを実感し環境問題に関心をもたれ、参加者一人ひとりが地域に帰られてからも、生き物が住める環境の保全に努める意識を持ってもらうこと。IV ため池百選の「久米田池」を人々の憩いの場、また教育の場として美しいままで、都市と自然の共生する、水と緑に包まれた「都市のオアシス」として、新たな視点に立った環境づくりを目指し、未来に引き継いで行くこと。V 久米田池は「鳥の国際空港」とも呼ばれ、年間を通して125種類もの野鳥が確認されており、

	鳥類に優しい環境づくりを目指している。
0011	前問でもありましたが、専門が林業なので常に川上環境と接していますが、川下の環境を守ろうと川上は川下とは違う努力をしています。例えば、立木を伐採する場合において、優良材生産という林業としての面を考慮し、また、伐採を行うということは受光促進を行うということで、下層の上壤改善を促し、土壌改良に繋がり、土砂流出を防備するという社会的正義の面を考えます。そういう自然との対話をし、両立を図っていくと、生物多様性が容易に見えてきます。とある地区では、間伐等伐採作業を行いたくても、少し早い時期に行わないといけない地区があります。その地区は、1月頃から3月頃まで、大鷹の営巣地としての大木があるからです。いまとなつては大鷹は絶滅危惧種なので、工程管理により作業を譲歩できるところを検討対策しています。こういった、小さい取り組みから生態系の循環を破壊せずに、多様性に繋がっていくのだと思い、常に意識しながら作業に取り掛かっています。
0013	1. プナ林の花芽調査、方策調査→平成12年、18年にはアミを張り、プナの種(ソバクリ)の採取などを実施。2. アサギマダラが6月～10月頃まで偶に見られ、会員によってはNo.リングして、放蝶したりする。3. ヒメホタルが塔原バス停から1.5km程の所から頂上までに6月末～7月上旬頃に飛んでおります。特にこの和泉葛城山は飛行が午前0時から午前4時頃まで約10匹を確認しております。(2007年～ 4. プナ調査 ①H8. 9. 10年頃、トラスト協会及びボランティアメンバーが調査(未完了)。②2006年、トラスト協会、学者に調査を依頼し、プナ樹785本調査。③2010年林内を調査し、未登録樹69本を確認、枯れ拡大等による減少を考え、現在841本あるとしている。又、植栽木も2400本ほどあり。(その内、新潟プナ:60本余あり) 5. その他、種々の山野草についても調査を検討中。
0014	「未来を植えるどんぐりプロジェクト」植える苗木を地域で集めたどんぐりから育てたものに限定「遺伝子の多様性保全」を実現するために有効な活動である。又、東京大学大学院・下村彰男教授及び兵庫県立大学・服部保教授から生物の保護育成には科学的視点に基づく生物多様性保全への配慮が必要なことを学びました。機会があるごとに教授から勉強会を開催し新たな事項に取り組んでいます。
0015	・自然環境の善良な維持管理をテーマに活動していること。・身近な自然を知ること。
0017	神於山の生物(植物、虫、鳥など)とのふれあい。
0018	・里山保全運動に協力している(神於山)・野営場に隣接する土地を借用して農作物やミツバチ、くだもの(カキ、モモ、ウメ、ミカン、ブドウ)を植えて収穫すると共に生育方法等を実施体験している。・河合町の山林を借用して第2野営場を運営している。竹の子掘りやキャンプ、ホタル観賞を行っている。
0019	今まで行ってきた奉仕活動を見ていただいたら、よく解ると思っています。
0020	「生物多様性」を授業の中で扱います。しかし生徒達にとって自然とはTVの中などにあることが多く身近にあるとは言い難いものです。
0021	・自然環境部会で岸和田の身近な自然観察の調査を実施・昨年度、市民公開講座で生物多様性をテーマに学習した。
0022	本会は、「春木川・轟川流域の河川環境改善とうるおいのある地域づくりを進める」ことを目的に諸活動を進めています。春木川は、昭和60年頃に最も汚れ、メダカが絶滅した記録が大阪府に残されています。このとき、メダカの餌となる生物も絶滅したと考えられ、1種の絶滅は数種の生物が絶滅したのと言い換えられます。私たちの活動と大阪府の河川改修、岸和田市の下水道整備によつて水質が少しずつ改善され、また、一部自然に近い護岸の整備により、メダカをはじめ多くの魚類が生息するようになってきました。しかし、小型の底生生物の種類が少なく、種類を増やすには、さらなる水質改善が求められます。現在、水質改善の目標を「ホタルの再生」とし、流域での貝類やホタル生息状況などについて調査・情報の収集に取り組むとともに、ホタル再生予定場所の河畔林を含む護岸等の整備について大阪府と協議しています。これらの取り組みは、失われた環境、生物多様性を少しでも取り戻し、うるおいのある地域をつくるためのものです。今後の課題として、古来の種を保存するため、外来種への対処の検討が必要です。
0023	産業の中で自然と共生しながら継続できるのは(一次産業)農業だと考えます。自然そのものを再生できる状態で農産物生産を繰り返す。当然、たくさんの生き物が生き続けられる状態でないと農業生産はできません。以上の事から農業と生物多様性は表裏の関係であると考えています。
0024	電気事業では、電力設備の設置から運用・廃棄物の処理に至るまで、事業活動にあたって生物多様性が生み出す様々な自然の恵みを享受していますが、一方で、事業活動に伴い発生するCO2による地球温暖化への影響や、設備の設置に伴う土地改変などにより、地球規模、地域レベルで生物多様性に影響を及ぼすことが懸念されます。このため、事業の実施にあたっては、原子力発電や再生可能エネルギーの推進など低炭素社会構築に向けた取り組みなど地球規模での環境影響への配慮、環境影響評価や地域の特性に応じた環境保全措置など地域レベルでの生物多様性への配慮などに積極的に取り組んでいます。また、森林保全や環境教育活動などの生物多様性に資する社会貢献活動にも力を入れています。例えば、発電所におけるビオトープの造成や自然の森づくり(エコロジー緑化)を行っている。*エコロジー緑化とは、良質の土壌で盛り土をし、その地域の自然の森や林にある様々な種類の苗木を高密度に植えることによって、早期の森を人工的に形成する手法である。
0025	特に関わっているわけではないが、自然科学部の生徒が観察に出かけたことがあった。生徒会がボランティア活動として地域の清掃を行ったことがある。
0026	海作り大会での鮮魚の販売。この行為を通して大阪湾の(我々の目の前の)海からこれほどの豊かな恵みがあることを知り、それを守るために日々の暮らしの中で何をすべきか又、何をしてはならないかを考えさせる。神於山に登り、木の保全に努めることで多様性を守る意義を確認させる。
0029	基本的な考え方:多様なステークホルダーと連携し、環境に配慮した事業活動と社会貢献活動を通じて生物多様性の保全と持続可能な利用を推進する。環境省発行の「生物多様性民間参画ガイドライン」を踏まえバリューチェーン全域にある先進的環境の取り組みと社会貢献活動の特徴を盛り込んだ方針を制定する。 社会貢献活動の取り組み方:直接的な保全活動の実施。社内のマインド醸成活動の展開。小学校環境教育、野外環境教室等の啓発活動。

【岸和田市の自然について】

○岸和田市の自然については「豊かだと思う」が約 52%、「豊かなところもあるが、身近には自然が少ない」が約 41%となっており、多くの団体が「岸和田の自然は豊かだ」もしくは「豊かなところもある」と思っていることが分かる。

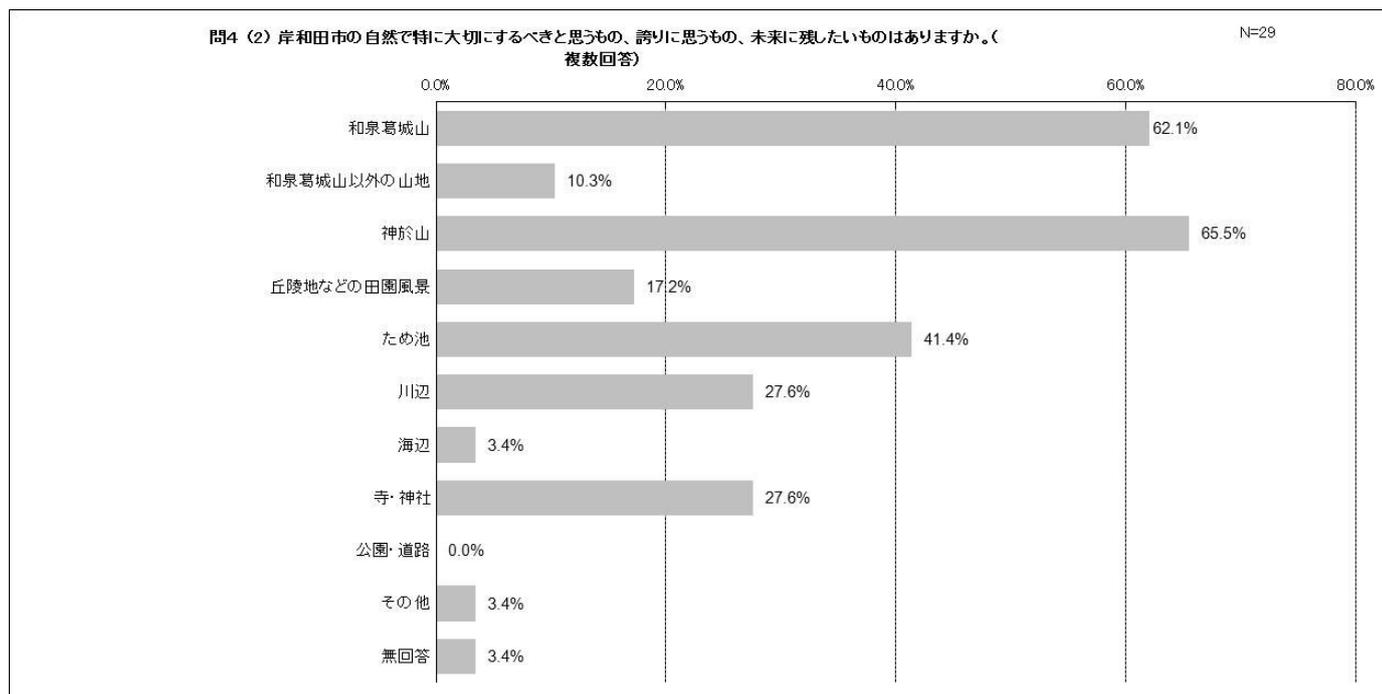


	回答数	割合 (%)
1 豊かだと思う	15	51.7%
2 豊かなところもあるが、身近には自然が少ない	12	41.4%
3 豊かではない	0	0.0%
4 その他	0	0.0%
5 無回答	2	6.9%
合計	29	

問4 (1) 岸和田市の自然は豊かだと思いますか。その理由を記入してください。

団体番号	番号	理由
0001	2	阪和線より山手は自然が残っているが、浜側ではほとんどない。
0002	1	相川町住民としてはそう思う。
0003	1	岸和田市の地形は海岸部から山間部まであり変化に富んでいます。それぞれの地形は生物の生息環境を豊かにしています。
0004	1	森林資源が豊富
0005	1	神於山、葛城山の存在。
0006	2	比較対象は・・・基準が難しい。
0009	2	山手に行く程、自然が残っていると感じられるが、阪和線より西側では（海側）感じられない。
0010	1	臨海部、平野部、丘陵部、山間部、和泉葛城山が位置している
0011	1	単層人工材だけでなく、四季の色合いを感じる天然広葉樹林もあり、山頂付近にはブナ林もある。谷合いには大きな落差の滝もあり。神於山という里山もある。水がきれいで、カワニナが住み、天然の蛍が飛ぶ。まずは、住宅調整区域がきちんと確保されているのが自然を荒らしていない理由ではないかと考えます。
0012	1	まだまだ、緑が多く残っているところがある。
0013	2	それぞれの人によって違うかもしれませんが、私は和泉葛城山に約18年程行っている中で、和泉葛城山には残っています。
0015	1	海から山まであり、歴史があり、川、ため池、社寺林、古墳等身近な自然が豊富にある。
0018	2	全体としては、まあまあであるが西側（海）には少ないのではないかと。
0019	2	都会部分と山間部部分との差が大きい。それぞれの地域の良さをアピールする。
0020	2	岸和田高校の周りには五風荘の庭園などに野鳥もよくやってきます。しかし、市街地には緑が少なく豊かとは言い難いでしょう。
0021	2	丘陵部から山間部にかけては、自然は豊かではあるが、年々在来種の植物の種類も減少し量も減っている。
0022	2	山、川、溜池、海、緑があり、まちづくり計画で無指定区域における開発規制や開発に係る事前協議などによって、これらの環境要素が一定保存されている。
0023	1	過去から無造作な開発をせずに（市街化調整区域の線引き等）町づくりを実施。
0025	1	牛滝川など自然が保たれている。
0026	1	学校のそばの川でカワセミがいたり神於山で動物を見たり、まだ、学校の前では養魚池、水田があり、日々それを目にするので。
0027	1	東葛城校区は山、川、水に恵まれている。
0029	1	歴史的な背景もあり、山、川、海とが有機的に連鎖する里山を有するから。

○岸和田市の自然で「好きなもの、大切に思うもの、誇りに思うもの」では「神於山(約66%)」及び「和泉葛城山(約62%)」がと著しく多く、続いて「ため池(41%)」となっている。このことから、「和泉葛城山」、「神於山」、「ため池」が岸和田市における自然のシンボルであることが分かる。



問4 (2) 岸和田市の自然で特に大切にすべきと思うもの、誇りに思うもの、未来に残したいものはありますか。		
	回答数	割合 (%)
和泉葛城山	18	62.1%
和泉葛城山以外の山地	3	10.3%
神於山	19	65.5%
丘陵地などの田園風景	5	17.2%
ため池	12	41.4%
川辺	8	27.6%
海辺	1	3.4%
寺・神社	8	27.6%
公園・道路	0	0.0%
その他	1	3.4%
無回答	1	3.4%
合計	76	

問 4 (2) 岸和田市の自然で特に大切にすべきと思うもの、誇りに思うもの、未来に残したいものはありますか。

具体的な場所名

団体番号	山地	田園風景	ため池	川辺	寺・神社	その他
0001		河合、 相川など	北阪 河合 相川辺りの小さなため池、 個人のため池		意賀美神社 積川神社 稲葉管原神社 夜疑神社などの社寺林	
0002	竹林が多いところ					
0003			新池（相川）			
0006			ため池と水路、 6の川つながり	牛滝川 春木川 津田川それぞれ		
0007			久米田池			
0009			久米田池		すべての寺・神社 (木が多い場所)	
0010			久米田池	春木川、津田川		
0011					岸城神社 弥栄神社など	岸和田城
0012			久米田池			
0013				塔原下流の相川 におけるゲンジボタルなど		
0015			上松町のため池群 新池 合池 道ノ池 地藏講池 明神池 小廻り池			
0018			久米田池		積川神社 森を残す	
0019			久米田池		岸和田城周辺	
0022						久米田池
0025	山地	田園風景	ため池	川辺	寺・神社	その他
0026			久米田池			
0027				中央公園横の春木川の遊歩道	カンカン周辺	
0029				春木川など	海庭の海	

問 4 (3) 岸和田市の自然で特に大切にすべきと思うもの、誇りに思うもの、未来に残したいものについて、理由や、より具体的な対象がございましたら記入してください。

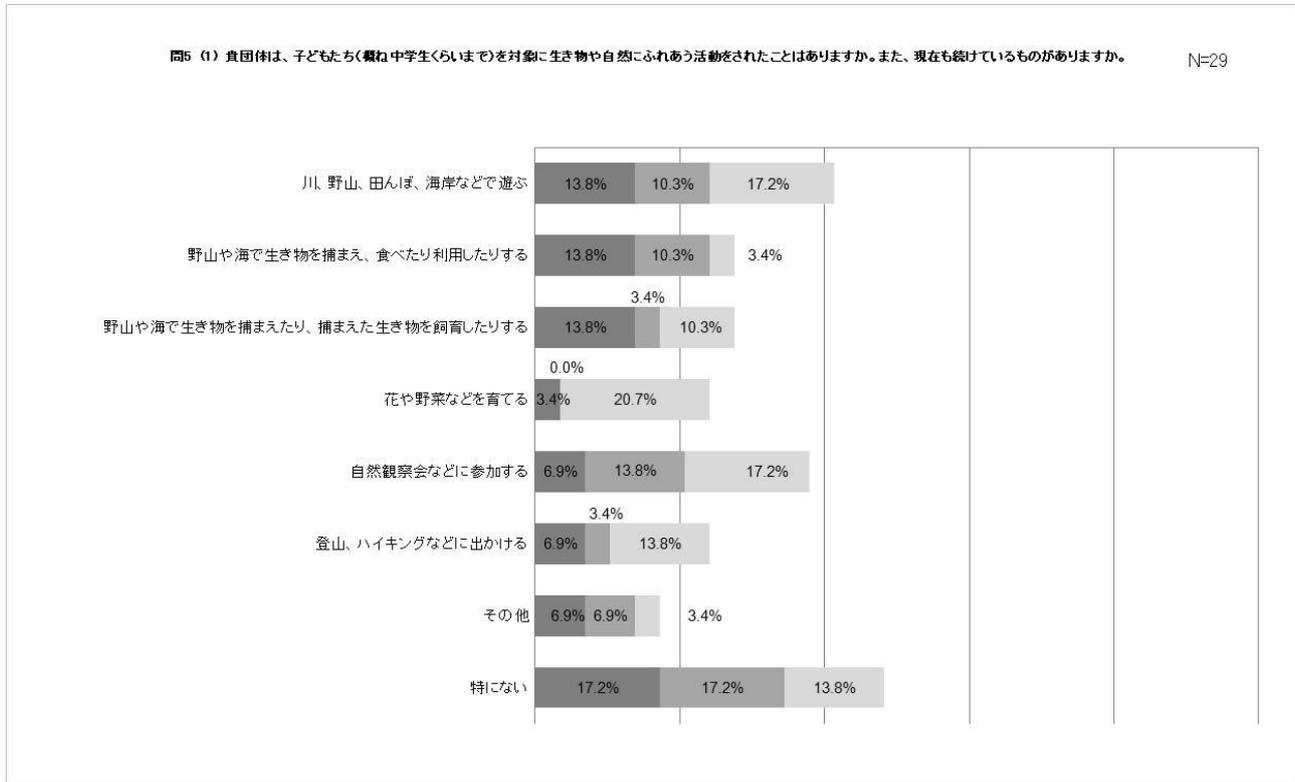
団体番号	内容
0001	1 や2 はほとんどの人が答えると思うので私はあえてはぶきました。神於山はいろいろな手が入りすぎて人工的になりすぎていると思います。今の神於山に私は賛成出来ません。6.7 はすでに自然はまったくなく、今から未来に残したいところなどありません。9 もです。絶滅危惧種と言われながらも、まだいくつかの植物や動物昆虫が岸和田の河合、相川あたりの田園地や地図にもない様な小さなため池（たぶん個人所有だと思います。それ程小さい池です。）に残っています。大きなため池は堤防工事などが進み自然の状態は残っていません。社寺林も自然の姿がかろうじて残っているのは上記4社ぐらいですが神社側の都合で公園になったり駐車場になったり、また大気汚染や乾燥化温暖化でどんどん植生が減って行っています。今何かしないと手遅れになると気がききではありません。ぜひ未来に残して欲しいです。
0003	1. 和泉葛城山、山頂北側斜面に広がるブナの天然材は、もともと標高の高い冷涼な気候帯に生育していますが、このブナ林は本州の南限に近く大正12年に国の天然記念物に指定されています。2010年度の貝塚市の調査によればコショウノキ、メギなど準絶滅危惧種に指定されている植物もあり、ブナをはじめ多くの動植物の保護は当然大切です。 2. 神於山、かつては里山として身近に存在し春木川の源流になっている独立峰ですが、燃料革命と共に多くの里山はその機能を失いました。全国的に広がった里山保全活動は今「NPO 法人神於山保全くらぶ」が引き継ぎ再生活動が続けられていますが、「あまり手を加えすぎて自然度がなくなっているのではないか」と市民の声がありました。神於山の保全活動進捗

	<p>状況や将来の展望など情報がほしいです。</p> <p>3. ため池、相川にある新池は市内にあるため池の中で最も美しいといわれていますが、その周辺にあった湿地の植物はすでにみられなくなりました。時間をかけてでも回復して欲しいと思います。</p>
0005	自然がたくさんあるので誇りに思い大切にすべきだと思います。
0006	分けて考えることに無理がある。つながりの中でこそ意味がある。
0009	人間の営みによって開発されてきたものであるが、現在の状況が良いのかわからないのが、岸和田らしいため池、岸和田にある自然の多い神社・仏閣、丘陵地、ブナ林等は極力開発せずに残して欲しいと思います。
0013	<p>1. 和泉葛城山 ①天然記念物に指定された時大正12年(1923年)には直径30cm以上が1800本もあった。②2010年調査では、コア部分197本、バッファ部17本、計214本しかない。③和泉葛城山、全山でブナについては、実生木：850本ほど。・植栽木：2400本ほど(内、新潟ブナ：60本余)④山野草についても、種々あると思われる。</p> <p>2. 神於山 私自身、2回しか参加していないが、竹林の除伐等を実施している中で、新たに戦前に生えていた山野草等ができて来ると思われる。3. 相川のゲンジボタルなど。・相川のゲンジボタル。・ここから上流3kmほどの所からヒメホタルが多数いること。</p>
0015	3. 神於山、里山保全活動の代表として重要。5. ため池、空間として環境保全上大切である。8. 寺・神社、人との関わりとして大切である。
0019	岸和田城周辺の整備で残された部分(元裁判所)の活用を考えるべき!並松町、下野町、沼町、筋海町の町づくりを考えてほしい。
0021	8. 意賀美神社、山直神社、稲葉菅原神社、積川神社の社寺林
0022	<ul style="list-style-type: none"> ●和泉葛城山のブナ林の保護・育成場所。 ●神於山の里山林の保全・育成場所。今後、赤松林再生の検討をお願いします。また、神於山に接した社寺(意賀美神社、神於寺)、意賀美神社の雨降りの滝の保全。 ●府内最大の久米田池は、農耕及び景観、歴史上、未来に残すべきものである。
0024	特になし
0026	地蔵浜の向こう岸には魚類の産卵のための浅瀬があります。その場所なら水にさわることができる親しみやすい場所になると思います。
0027	山は治水のみならず、多くの生命を育むと考える。寺・神社はそのものが歴史遺産であるとともに社寺林には多くの生き物が住んでいるから。
0029	弊社は神於山にて活動していることもあり、各団体の取り組みひとつひとつが岸和田市の自然に繋がっているから。

【活動について】

○子どもたちを対象とした活動については、「特にない」が最も多い。

○現在取り組まれている活動では「自然観察会」や「川、野山、田んぼ、海岸などで遊ぶ」取り組みが多い。



問5 (1) 貴団体は、子どもたち(概ね中学生くらいまで)を対象に生き物や自然にふれあう活動をされたことはありますか。また、現在も続けているものがありますか。

※回答数				
	子どもの頃	現在	両方(継続)	無回答
川、野山、田んぼ、海岸などで遊ぶ	4	3	5	
野山や海で生き物を捕まえ、食べたり利用したりする	4	3	1	
野山や海で生き物を捕まえたり、捕まえた生き物を飼育したりする	4	1	3	
花や野菜などを育てる	1	0	6	
自然観察会などに参加する	2	4	5	
登山、ハイキングなどに出かける	2	1	4	
その他	2	2	1	
特にない	5	5	4	
※割合				
	子どもの頃	現在	両方(継続)	無回答
川、野山、田んぼ、海岸などで遊ぶ	13.8%	10.3%	17.2%	0.0%
野山や海で生き物を捕まえ、食べたり利用したりする	13.8%	10.3%	3.4%	0.0%
野山や海で生き物を捕まえたり、捕まえた生き物を飼育したりする	13.8%	3.4%	10.3%	0.0%
花や野菜などを育てる	3.4%	0.0%	20.7%	0.0%
自然観察会などに参加する	6.9%	13.8%	17.2%	0.0%
登山、ハイキングなどに出かける	6.9%	3.4%	13.8%	0.0%
その他	6.9%	6.9%	3.4%	0.0%
特にない	17.2%	17.2%	13.8%	0.0%

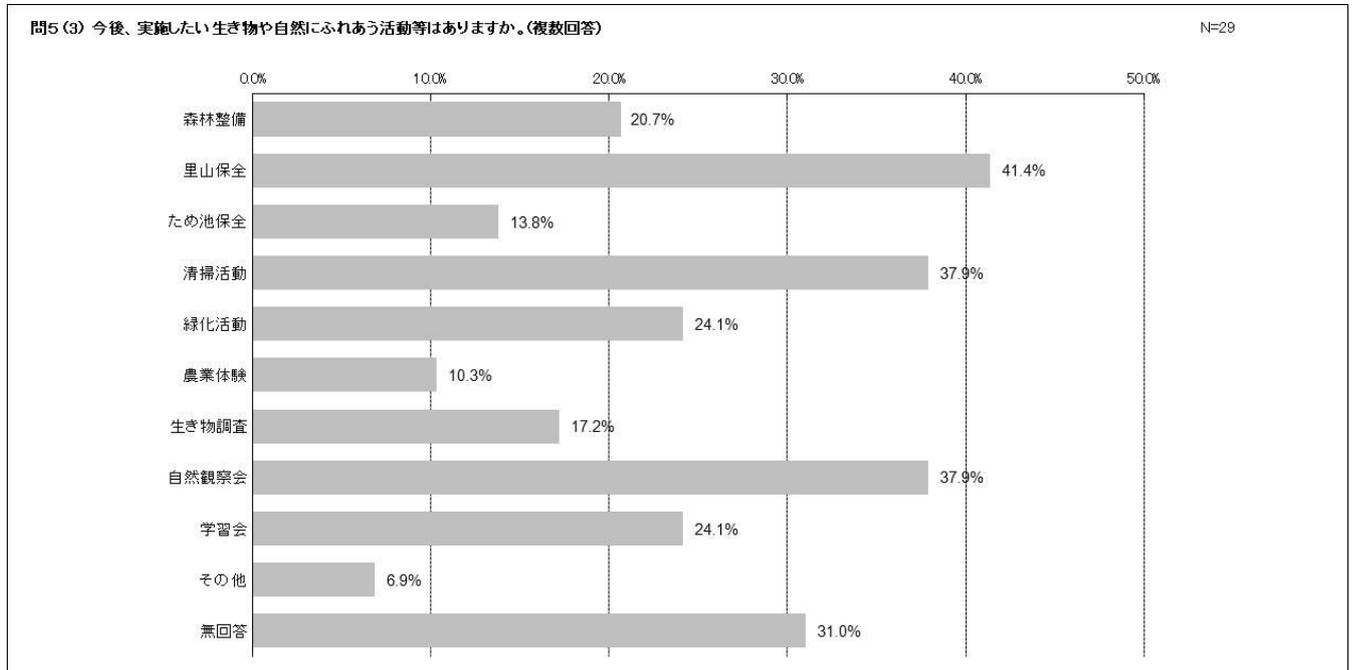
問 5 (2) 「問 5 (1)」を実施された際の具体的な内容やお気づきの点についてお聞かせ下さい。

団体番号	内容
0001	タンボポ調査など親子でいっしょに。七草つみなど親子でいっしょに。セミの羽化観察など親子でいっしょに。ドングリの観察や工作など親子でいっしょに。子供たちはもちろんの事、若いお母さん、お父さん方も喜んでくださる。
0006	実施した中で、子供たちの反応の良かったもの・・・自然の中で、道具を使わない遊び(カゲのぼり、木のぼり、ヤブこきなど・・・)・切る、倒すなど肉体を使った作業的なこと(竹切、間伐、道づくり、階段づくりなど)。虫とり。草や虫を食べる。自然の葉っぱ、枝などを使った遊び。など長時間集中できます。
0010	I 久米田池の水で打ち水を行い、打ち水前と後の温度を測定し、温度差を体験する。 II 水路やため池に棲む生き物を目の前で学習し、子に触れて、その生き物を家で育てる。
0011	参加人数(子供)が少ないように感じる。また、先生方の参加が無いようにも感じる。
0013	上記の①子どもの頃を5～10年前と読み代える。 1. 葛城小学校6年生(11名)への「和泉葛城山ブナ林について」の話をした時、子供達は山にはそんなブナがある。天然記念物、アサギマダラなど色々な和泉葛城山では見られる話を、行きたい等の話がある。 2. 山滝中学校でも上記同様の話あり。 3. 貝塚第5小学校では上記講演の後3年生62名(先生4名)が塔原、和泉葛城山頂、塔原へと下り、ブナ林の状況を確認された。 以上のような状況の中、この様な、自然観察会を通じて、子供は今の生き物などについて認識し、温暖化により枯木が増大し実生が少なくなる等が理解できると考えられる。
0016	子供達ができるだけ楽しんで思い出になればと思って実施しています。例、山でバーベキュー大会、海で潮干狩、老人ホームでクリスマス会。
0017	全校オリエンテーリング(神於山)。
0018	「あそびの広場」を開催して幼児5才～小学校低学年を対象にイベントを行っている。日常のスカウト活動として実施。
0019	特に海岸周辺や海での遊びが出来なくなっている。危険であるし、汚れがひどい。昆虫等も少なくなっている。
0021	野草の天ぷら、イタドリ、ツクシのキンピラ。春木川、河口のクロベンケイガニ、久米田池近くの用水路でアメリカザリガニ、ドジョウ、大町の水田、畑でツチガエル、昔はトノサマガエル、カナヘビ。
0022	春木川河口部の環境体験学習を目的として、岸和田市教育委員会の後援を受け、流域7小学校の児童及び保護者、本会構成団体の小学生及び保護者を対象に、春木川河口部でカニ釣大会を実施しています。実施日は夏休み中で、下流部4校、上流部3校及び本会構成団体を2日に分けて開催しています。参加の呼び掛けは、7小学校の児童数のチラシを作成、学校長の協力で全児童へ配布していただいています。当日は、カニの釣り方、カニのいる巣穴の見分け方、カニの種類などについて説明後、小学生と保護者でカニ釣りを開始。それぞれが工夫してカニを釣上げ、カニの種類を特定し、大きさを測り記録します。カニの種類別に一番大きなカニを釣った子どもをチャンピオンとして表彰しています。これまで16回実施。夏休みの自由研究としてまとめる子どもやファミリーで河川の清掃活動に参加するなどの成果とともに、子ども達の楽しみの一つになってきています。
0027	時々山などに立ち入り禁止の看板が立っていたり、川遊びに適した場所に高い柵をめぐらされていたりして残念な思いをしたことがある。
0029	子どもたちが実際に自然にふれあう機会が少なくなっていると感じます。一例として知識だけでなく、実際に森の中に入ってふれあうことで環境や生物に対する子どもたちの考え方や行動が深まる洋に感じます。

【今後実施したい活動について】

○今後実施したい活動については、「里山保全(約 41%)」が最も多く、次に「自然観察会」と「清掃活動」がそれぞれ約 38%となっている。

○また、「緑化活動(約 24%)」や「学習会(約 24%)」、「森林整備(約 21%)」、「生き物調査(約 17%)」、「ため池保全(約 14%)」など幅広い活動に対する希望がある。



問5(3) 今後、実施したい生き物や自然にふれあう活動等がありますか。どのような活動ですか。

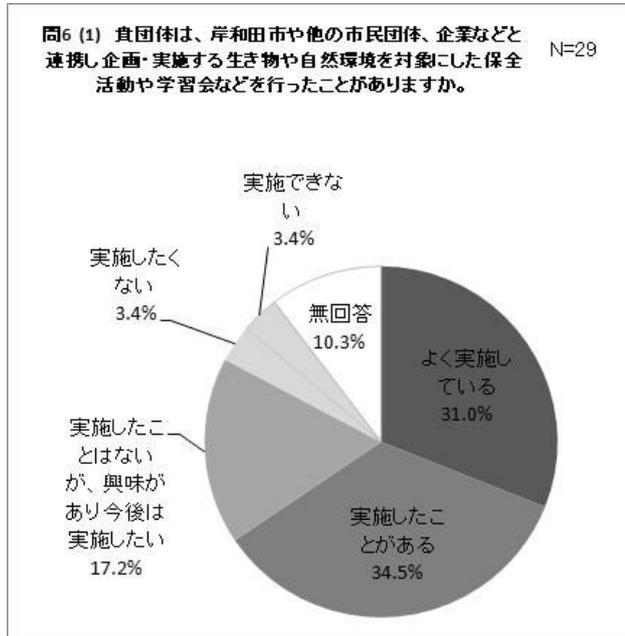
	回答数	割合 (%)
1 森林整備	6	20.7%
2 里山保全	12	41.4%
3 ため池保全	4	13.8%
4 清掃活動	11	37.9%
5 緑化活動	7	24.1%
6 農業体験	3	10.3%
7 生き物調査	5	17.2%
8 自然観察会	11	37.9%
9 学習会	7	24.1%
10 その他	2	6.9%
11 無回答	9	31.0%
合計	77	

問5(3) 今後、実施したい生き物や自然にふれあう活動等がありますか。理由を記入してください。

団体番号	番号	理由	その他
0001	8・9	1～9すべてしたいと思うが高齢化のため、実際には体力的に可能な8・9ぐらいしか出来ない。	
0002	2・4	竹林の荒廃化。	
0004	1・2・5	森林の保全及び林業振興に寄付するため。	
0005	2・8		
0006	1・2・3・7・8・9	子供たちに生きもの（動植物）を身近に感じ、生きものすばらしさを感じ”命”を感じてほしい。	
0007	1・2・3・4・5	環境保全の為に有用！	
0009	4・5	現状実施していることの継続で、特にありません。	
0010	3・4・9	I 当会の設立目的にそって、久米田池周辺の景観を守り、自然環境の保全に努めるとともに、当地域に存在する歴史的な遺産を守り、郷上の誇りとして後世に伝える啓発活動を行い、住民意識の高揚を図るため。	
0011	1・2・5	1. 森林整備-木を伐採することは悪いことだという認識を持っている。子供が多くいる中で、間伐体験や、森林学習を実施してはどうかと思う。2. 里山保全-神於山という環境省との話にもあるくらいの里山があるのだから、竹林整備や、植林（ケヤキ・クヌギ等）をし、椎茸栽培等も一環に入れた体験学習をしてはどうかと思う。3. 緑化活動-市街地の緑化をアドプト形式で作って、地域の緑化に対する思いは地元任せ。	
0013	2・8	現在進めている、ブナ林の保全活動について、子供達に見てもらいたいし、このブナ林を次世代に引継いでいってもらいたい。この為には里山の保全、自然観察会は必要と考えております。	
0014	2・4・5・6・8・9	環境保全のため（生物多様性保全含む）。	
0015	4・8・10	自らの活動として可能な内容のもの。	公園樹木の名札付け
0017	2・4・6・8	自然を大切にする気持ちや態度を学ばせたい。勤労体験の大切さを学ばせたい。	
0018	5・7・8	⑤現在久半田地内に水仙の植付けをしているが継続して行う。⑦ホタル野営地の隣接地（河川敷）でできればよいが。⑧神於山での生き物をスカウトに体験させたい。	
0019	1・2・4	葛城山や神於山の整備と悪人の排除を考えてほしいね。	
0021	3・7・8・9		
0022	7・9・10	本会では、カニ釣大会開催場所、中央公園内春木川、額原町地内春木川の3地点を「子どもの水辺」として登録しており、大阪府は現在、本会及び流域市民の意見を聞き、整備中です。本登録地でのホタルの再生をめざし、流域での生息状況及び種類の特定期間調査を進めています。調査後、流域の小学校と協議し、子ども達とともに再生への取り組みを進めたい。	ホタルの再生活動
0023	4・6	農業、農作物理解のために積極的に実施する方向。	
0027	2・4・8	環境を美しく保ちたいから。	
0029	1・2・4・5・7・8・9	弊社が活動する森林等を通じ、少しでも地域の子どもたちのお役に立ちたいから。	

【連携について】

○「他団体等と連携した取り組みの実施」に対しては、「実施したことがある(約 35%)」、「よく実施している(約 31%)」、「実施したことはないが、興味があり今後は実施したい(約 17%)」となっており、他団体との連携について高い実績とニーズがあることを示している。



問6 (1) 貴団体は、岸和田市や他の市民団体、企業などと連携し企画・実施する生き物や自然環境を対象とした保全活動や学習会などを行ったことがありますか。		
	回答数	割合 (%)
よく実施している	9	31.0%
実施したことがある	10	34.5%
実施したことはないが、興味があり今後は実施したい	5	17.2%
実施したくない	1	3.4%
実施できない	1	3.4%
無回答	3	10.3%
合計	29	

問 6 (2) 実施した活動はどのような活動ですか。具体的な内容についてお聞かせください。

団体番号	連携相手	実施内容	連携のメリット	連携の改善点
0001	大阪府自然環境保全協会・公民館・図書館・春木川をよくする市民の会・久米田池を守る会	タンポポ調査・ドングリ探検隊・ドングリ講座・植物の不思議発見・清掃活動	清掃活動など多人数で出来る。岸和田市以外の調査結果がえられる。自分達の知識が役立つ。環元出来る。	
0004	大沢町会	大沢町会主催の「夏の竹細工教室」に参加	他団体に、当会の活動等を知ってもらえる。	
0005	ボーイスカウト、神於山保全くらぶ	ボーイスカウト、神於山保全くらぶ	年に1度、共同で神於山の保全。	
0006	岸和田市（環境保全課、学校教育課、地元小学校）アドプト参加企業府立大学	里山ボランティア育成入門講座・新採教員研修・野あそびくらぶ・体験活動・アドプト参加企業・社員研修・府立大桜まつり	幅広い人との交流、意見支援、問題課題の把握。	
0008	神於山保全クラブ	里山再生のための活動	家族も安全に作業ができる。	
0010	当会の100団体会員（市内一円及び地域の各種団体）岸和田市産業振興部農林水産課、きしわだ自然資料館、大阪府泉州農と緑の総合事務所耕地課	久米田池環境学習会 11月初旬の「久米田池清掃奉仕活動」および2月初旬の「久米田池オアシスクリーンアップ」	参加への理解や意識が高いので、参加者が増加傾向にある。	
0011	山滝中学校	森林教育実習（間伐体験と丸田階段作り）	地元とのコミュニケーションが図れる。	安全対策の温度差
0012	岸和田市自然資料館	上記のご指導のもと「岸和田ネイチャー探訪」を制作・放送	自然に対する大事さが深まっていく。	
0013	損保ジャパン、岸和田市ボランティアセンター	貝塚川バッファークラブ（塔原デッキ：東側）で毎年1回、損保ジャパンが下草刈り実施に合わせ、トラスト協会で活動している。※ボラセンの紹介で毎年4,5人のボランティアが参加し間伐作業を実施。	若い人が多くそういう方々に今の活動を上げられる。	もっと他団体との連携を拡げ、新規参加者の拡大を図りたい。

0014	小学校	工場内でのCSRの取り組み方	住友ゴム工業(株)の地域への取り組み方の理解を得て会社のイメージUP。	
0015	岸和田市	河川清掃、ため池調査、身近な自然調査、公園樹木名札付け	会議場所の提供、書類送付、連絡等々の支援。	支援の維持
0017	神於山保全くらぶ	神於山の自然にふれあい、自然を大切にすの気持ちや態度を育てる。	学習内容をいろいろと考えて提案してくださっている。	授業時数の確保(回数を精選する)
0018	北ロータリークラブ	里山保全	植樹や草刈の体験をさせることができる。	隊行事、期末テストとの兼ね合いの調整が必要
0019	野村証券やロータリークラブに入室している地元企業	葛城山の清掃、神於山での桜の植樹	岸和田の他のロータリークラブ、ライオンズクラブとの交流。	年度計画をもっと早く作成する必要あり(時期)
0021	大阪府岸和田市	春木川、アドプトリバー	苧りとった草の処理。	
0022	大阪府岸和田土木事務所、岸和田市	春木川・轟川一斉清掃、春木川・轟川市民のつどい(フォーラム)一斉清掃:清掃資源の支給、ごみの改修市民のつどい;河川改修計画、水質状況等の発表	清掃活動が問題なく実施でき、河川美化意識の向上に繋がっている。府や市の取り組みや河川の環境状況を知ることにより、市民自らの行動との関連を認識することに繋がっている。	特になし。
0024	岸和田市	きしわだ環境フェア		
0026	大阪府漁連、JA	岸和田産の食品の販売、里山保全	異年齢の社会人との交流、昼食の提供	学校としてなぜその団体と結びつくのか意義を周知すること。
0029	神於山活用保全協議会	神於山体験会等	弊社も活動する神於山で他団体の方が活動されている内容を知ることが出来たこと。	目的意識をはっきりさせる事(連携の仕方や深みが変わるから)。

問6(3) 今後、岸和田市や他の市民団体、企業などと連携してみたい活動はどのような活動ですか。

団体番号	連携相手	連携したい理由	内容
0001	家庭学級生や小学校・幼稚園・自然資料館。	自分達の知識を小学校や幼稚園で役立てたい。	家庭学級生や小学校・幼稚園、植物観察会や工作。自然資料館、発表や展示。
0004	山手地域の町会、市内製材所等。	木材の利用促進のため。	山手地域から搬出された木材の有効利用。
0006	より幅広く、ふだん接点のなどと思われる人たち。	思わぬ発送・視点がほしい、学びたい。	
0010	現状維持で活動していく。		
0011	木材団地の大工場や企画。	取扱いで地元産材が無いに等しいから。	地域材によるコラボレーションと自然体験ブース。
0013	岸和田市、神於山保全活動団体。	新規参加者の拡大。	広報紙等への掲載など。
0019	今迄行われてきた活動の総点検する。	参加人数が増加するだろう。	
0020			千亀利公園内堀の生物多様性回復、水質浄化。
0021	小学校。	子どもたちの環境教育。	タンボゴ調査。
0022	大阪府岸和田土木事務所、岸和田市、岸和田市教育委員会。	関係機関と流域の子ども達、本会が協働してホテルの再生、子どもの水辺の整備・保全を推進するため。	
0023	岸和田市、岸和田市教育委員会。	若年齢層を中心に、集中して実施したい。	
0027	自然資料館、野鳥の会。	珍しい生き物(小鳥も)を目にしても意識を持って見ないから。	神於山周辺の生き物や小鳥などの生態。
0029	神於山活用保全協議会。	神於山で活動する団体だから。	今のところ具体案はありません。

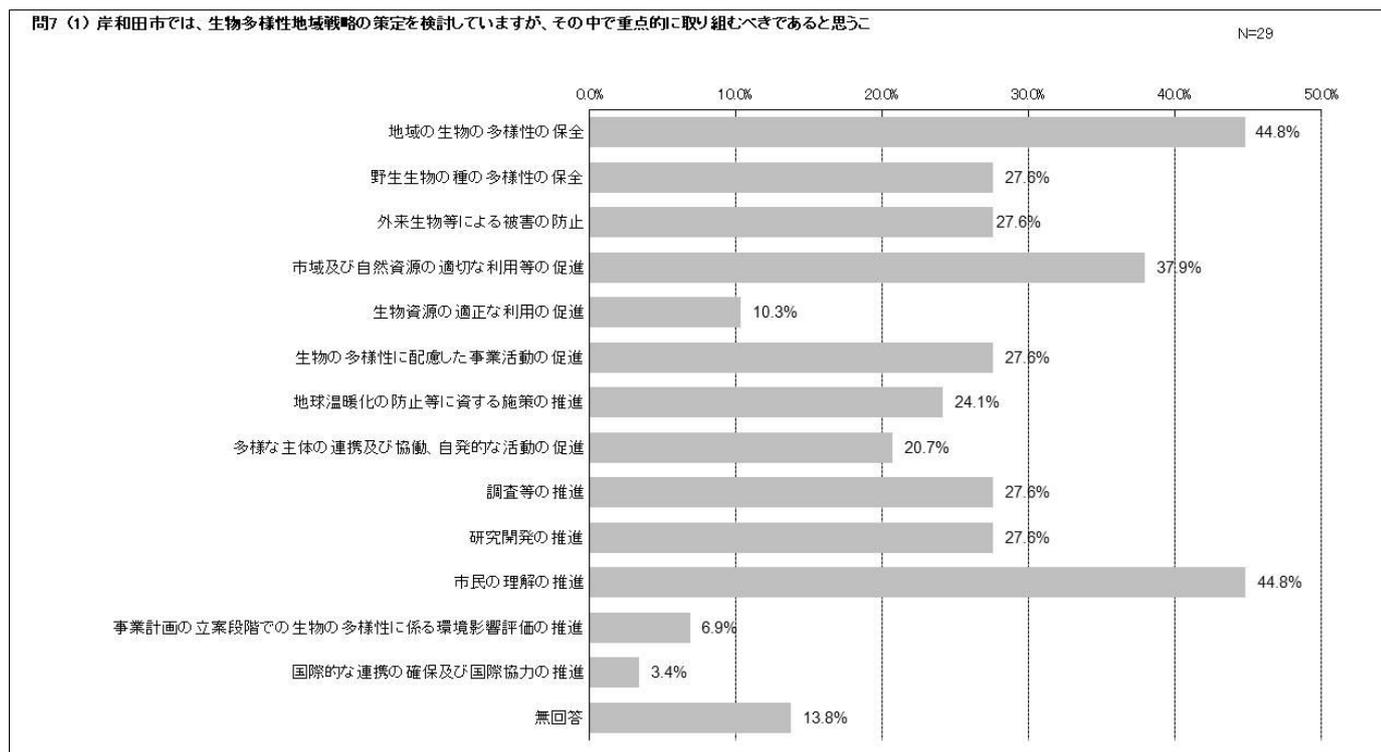
問6(4) 他団体との連携を妨げる要因は何ですか。

団体番号	要因	理由
0019		奉仕の一本化をする必要がある。
0025	連携のしかたが分からない 連携を希望するメンバーがない、調整する時間がない。	クラブのメンバーなどいる時であれば池、川調査など参加できるかも知れませんが、現在の地域の活動をよく知りません。

■生物多様性地域戦略の策定について

【重点的に取り組むべきであると思うこと】

○生物多様性づくりへの取り組みに関しては、「生物多様性地域戦略の策定の中で重点的に取り組むべきこと」については、「市民理解の促進」、「地域の生物多様性の保全」、「市域及び自然資源の適切な利用等の促進」がそれぞれ約40%以上を占め高い割合を示す。



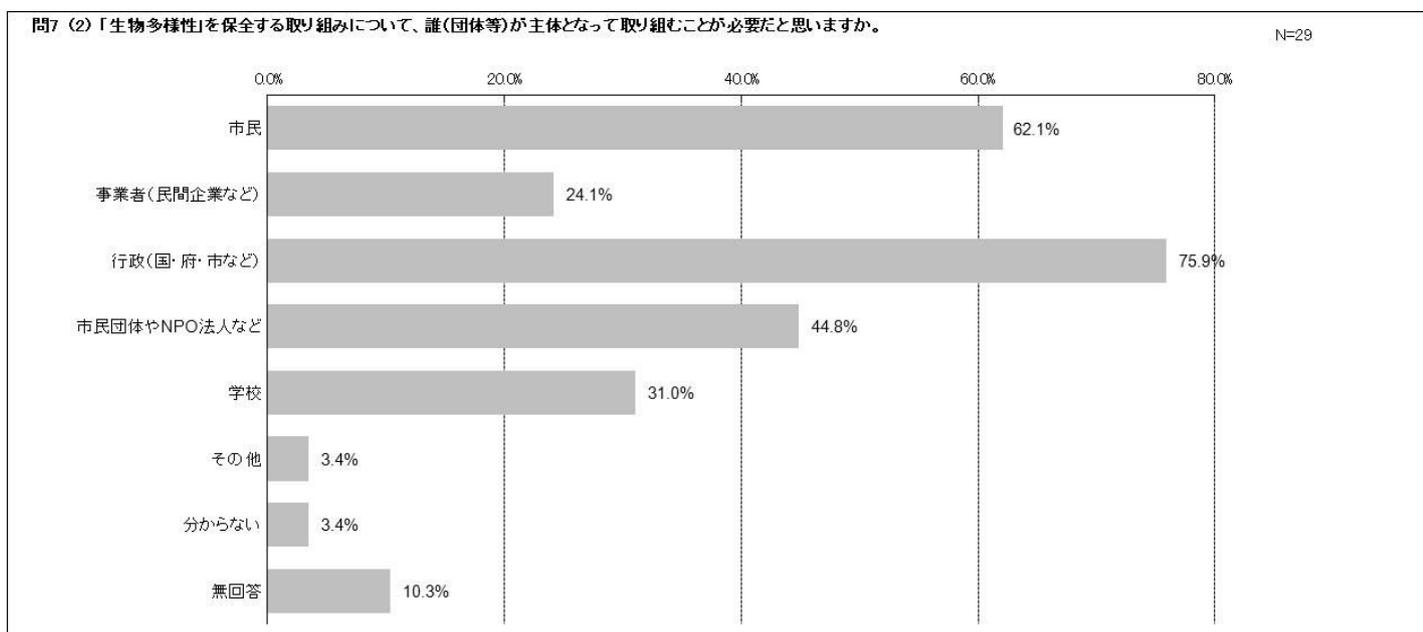
問7(1) 岸和田市では、生物多様性地域戦略の策定を検討していますが、その中で重点的に取り組むべきであると思うことは何ですか。

	回答数	割合 (%)
地域の生物の多様性の保全	13	44.8%
野生生物の種の多様性の保全	8	27.6%
外来生物等による被害の防止	8	27.6%
市域及び自然資源の適切な利用等の促進	11	37.9%
生物資源の適正な利用の促進	3	10.3%
生物の多様性に配慮した事業活動の促進	8	27.6%
地球温暖化の防止等に資する施策の推進	7	24.1%
多様な主体の連携及び協働、自発的な活動の促進	6	20.7%
調査等の推進	8	27.6%
研究開発の推進	8	27.6%
市民の理解の推進	13	44.8%
事業計画の立案段階での生物の多様性に係る環境影響評価の推進	2	6.9%
国際的な連携の確保及び国際協力の推進	1	3.4%
無回答	4	13.8%
合計	100	

問 7 (1) 岸和田市では、生物多様性地域戦略の策定を検討していますが、その中で重点的に取り組むべきであると思うことは何ですか。

団体番号	理由
0001	すべて重要だと思うが、いくら調査や研究をしても市民がそれを理解していなければ何もならない。まずすべての市民に理解を求め、市民がそれぞれ毎日の生活の中で簡単に出来る事から推進していくべきだと思う。
0002	森林。里山の整備の方が優先されたい。
0004	今後、山から搬出される予定の間伐材等の利用促進。
0006	選択できません。
0007	・居住地、工業商業地と自然保護地の策定と有効利用。・自然保護地への環境保全。
0010	I 市民への広報等による理解度の向上が不可欠。II 地球温暖化防止に市民として関われる、より具体的な事象の推進。III 地域(連合町会、単町)による自発的な活動の促進。IV 資源ゴミの利用等の理解と、実施への促進。V 一人ひとりが実践、参加することが生物多様性の保全につながる。
0011	自然環境の区域において、何をしていくのにも地権者の同意や、隣地境界の確定が最優先事項だと考えます。国有林等が存在しない岸和田市では、ほぼすべてが民有地なので、野生生物や地域の生物の現状を把握しようにも、境界がはっきりしていない土地で、同意もなく調査すらできませんので、まずは隣地境界の調査・確定が必要だと思います。あと、地球温暖化の防止等に資する施策の推進を挙げるかという点、根本的には温暖化がもたらした環境変化により、外来種が生息しやすい環境が出来上がってしまったということや、山林環境を整備しないために起こっている、市街地でのキイロスズメバチ被害など、根本となる森林整備が最優先と考えます。
0013	現況の市域、和泉葛城山、神於山などの現況把握し生物の多様性の保全が図れる方向性を見出し、このような中で、生物多様性地域戦略の策定をよろしくお願ひします。
0015	継続的な現況調査のもとに戦略を考えた方が良い。
0017	自然環境保護に取り組むことが実感できることを重点とした方が子どもたちにも達成感、成就感がわかるから。
0018	一般の人の生物多様性の認知度が低く具体的なイメージが湧いてこない現状である。もっと行政としてわかりやすく解説してPRをすべきである。
0019	・何もかも保全することの重要性を考えなければいけないとは思わない・自然に対する保全の重要性を子供達に教育する。
0021	外来植物、動物の増加が在来種の絶滅につながることも多い。
0022	岸和田市が市民や専門家の協力を得ながら現状把握のための調査と生態系機構の解明を進め、それらを市民へ公表した上で、市民や専門家、事業者、行政が参加する事業計画立案組織を確立し、計画をまとめることが望ましいと考えられる。
0023	外来生物による自然、生物、農産物の被害による破壊が急速に進んでいるため。
0026	何もしないと関心がないままの人材が育つので。
0027	市民が地域の環境について知らないことが多いため。
0029	地域の事を良く知る事で他の地域との違いも明確になるから。これらについて神於山で活動する各団体が連携して、地域の方々への理解が深まる事を希望するから。

○生物多様性の取り組みを進めていくうえで主体となる必要があるのは「行政(国・府・市など)」が約80%と高い割合を占め、続いて「市民」が約62%となっているが、全てに関わる人たちの協力が必要であるとの認識が強い。



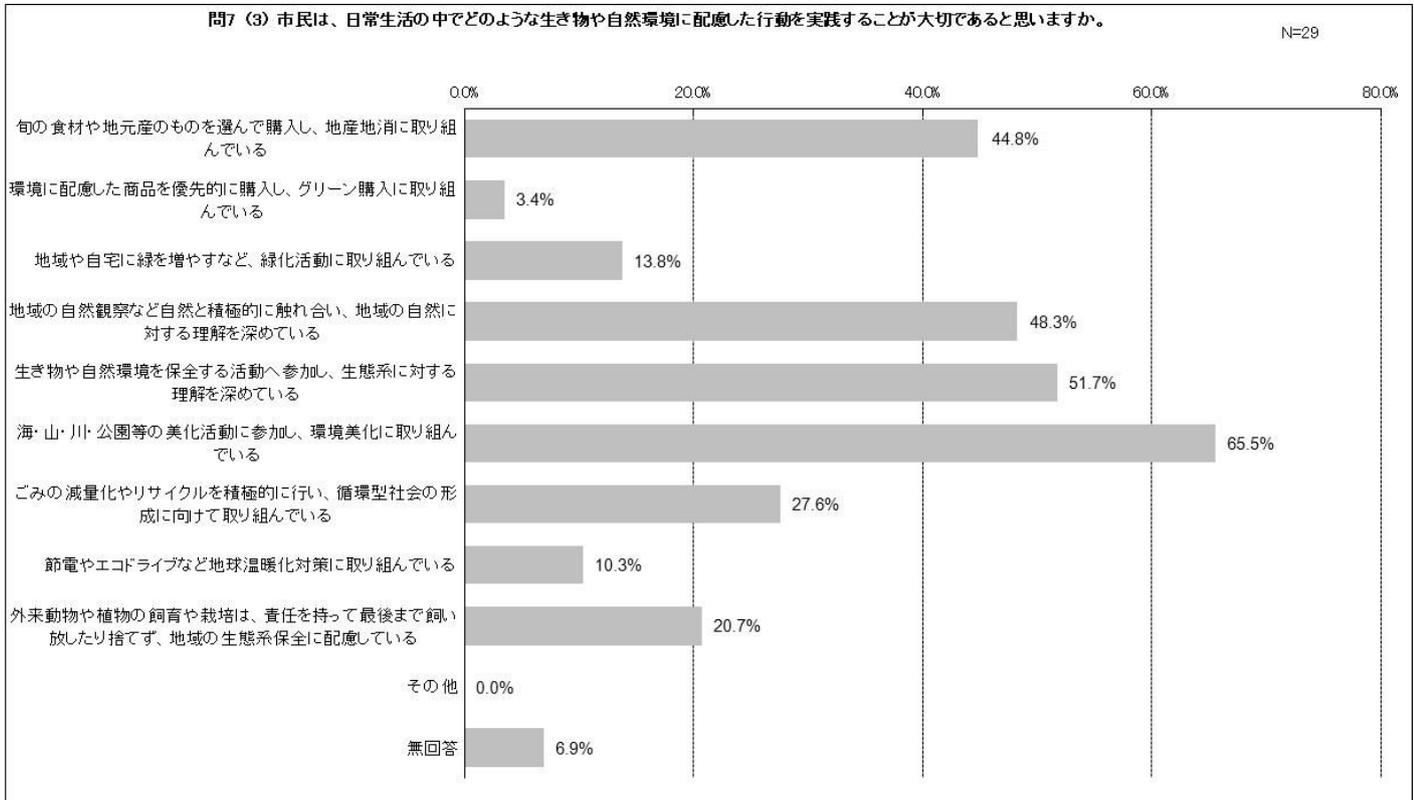
問7 (2) 「生物多様性」を保全する取り組みについて、誰(団体等)が主体となって取り組むことが必要だと思いますか。		
	回答数	割合(%)
市民	18	62.1%
事業者(民間企業など)	7	24.1%
行政(国・府・市など)	22	75.9%
市民団体やNPO法人など	13	44.8%
学校	9	31.0%
その他	1	3.4%
分からない	1	3.4%
無回答	3	10.3%
合計	74	

問7 (2) 「生物多様性」を保全する取り組みについて、誰(団体等)が主体となって取り組むことが必要だと思いますか。

団体番号	理由
0001	一部の市民団体やNPOだけでする事ではなく全市民に関する事だと思うので行政が呼びかけて中心になって全市民が協力すべき。また子供の内から指導するため学校行事授業として取り入れ子供にも活動させればよいと思う。
0003	「生物多様性」保全の取り組みは1個人1団体等ではないと思います。「ヒト」として構成しているそれぞれの立場で取り組まねば効果を発揮することはできません。
0004	行政、市民、企画等が一体となって取り組むべき。
0006	誰が・・・という問題ではないのでは・・・。行政が先頭に立たなければはじまらないとは思いますが。
0007	多岐にわたる知識・協力が必要と思われる。
0009	まず、行政がどの様に自然を保全するのかを考え、市民の方たちによる自然を守ろうとすることに関し、バックアップすることだと思う。
0010	三位一体の取組が必要
0011	民間事業者、行政(市)が主体となって、事業展開しないと、学校・市民・NPO任せでは迅速な改革改善には繋がらないように思う。また、同じ予算編成をするなら、工事業者としての利益追求は次にして、地域の雇用推進を対策した事業を進めていった方がよいと思う。あと、地域の方々にも受け入れてもらいやすい財団法人大阪緑のトラスト協議会等の協力を得ることができれば、植物・生物系専門博士が在籍しているするので、実作業時の相談もしやすい。
0013	「生物多様性」を保全する取り組みについては、市民並びに市民団体等へ主体となり、行政と協働し、その活動に対して、事業者もE S R、環境への対応として参画すべきと考えます。
0014	行政が主体となって取り組みを行わなければ、大きな意味での「生物多様性」が図れない。
0015	土地の所有者は多岐にわたるので行政が主体となり、市民・各種団体が協働すれば良い。
0017	市民・学校・行政が一体となって行うことが大切と考えます。
0018	一人ひとりの生活にどの様にかかわっているか人類の共存に大きくかかわっている事を証明していくことにより感心をもたせることが必要である。
0019	・市民と行政の一体化・農民の人達の気持ち。金儲けのみに走っている(最近特に)・農協も考えるべし。
0020	1～5の全てが協力しあい、連携していくことで取組が充実していくと思います。
0021	行政が方針を打ち出し、市民や団体、NPOなどと協働して取り組む。
0022	生物多様性の保全を推進するためには、それを目標に、全てに関わる人たちの協力が必要である。
0026	行政と学校が主体となると、最も効率的に教え行動することが出来ると思います。
0027	人まかせにしないために。
0029	全ての人が主体となって取り組むべきと思うから。

【日常生活での取り組みについて】

○市民の日常生活での実践については、「海・山・川・公園等の美化活動に参加し、環境美化に取り組む」が約66%となっており、次に「生き物や自然環境を保全する活動へ参加し、生態系に対する理解を深める(約52%)」、「地域の自然観察など自然と積極的に触れ合い、地域の自然に対する理解を深める(約48%)」、「旬の食材や地元産のものを選んで購入し、地産地消に取り組む(約45%)」が大切であると高い割合で認識されている。

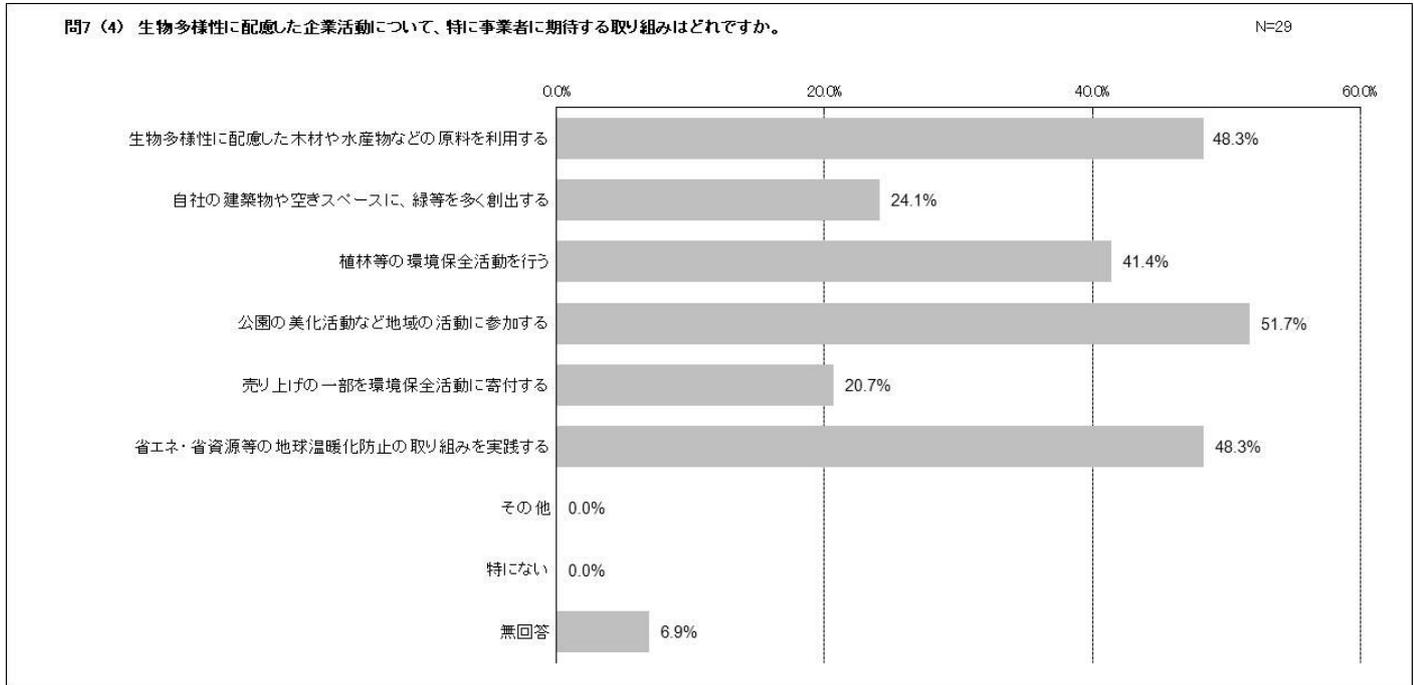


問7 (3) 市民は、日常生活の中でどのような生き物や自然環境に配慮した行動を実践することが大切だと思いますか。

	回答数	割合 (%)
旬の食材や地元産のものを選んで購入し、地産地消に取り組んでいる	13	44.8%
環境に配慮した商品を優先的に購入し、グリーン購入に取り組んでいる	1	3.4%
地域や自宅に緑を増やすなど、緑化活動に取り組んでいる	4	13.8%
地域の自然観察など自然と積極的に触れ合い、地域の自然に対する理解を深めている	14	48.3%
生き物や自然環境を保全する活動へ参加し、生態系に対する理解を深めている	15	51.7%
海・山・川・公園等の美化活動に参加し、環境美化に取り組んでいる	19	65.5%
ごみの減量化やリサイクルを積極的に行い、循環型社会の形成に向けて取り組んでいる	8	27.6%
節電やエコドライブなど地球温暖化対策に取り組んでいる	3	10.3%
外来動物や植物の飼育や栽培は、責任を持って最後まで飼いや捨てず、地域の生態系保全に配慮している	6	20.7%
その他	0	0.0%
無回答	2	6.9%
合計	85	

【事業者に期待する取り組み】

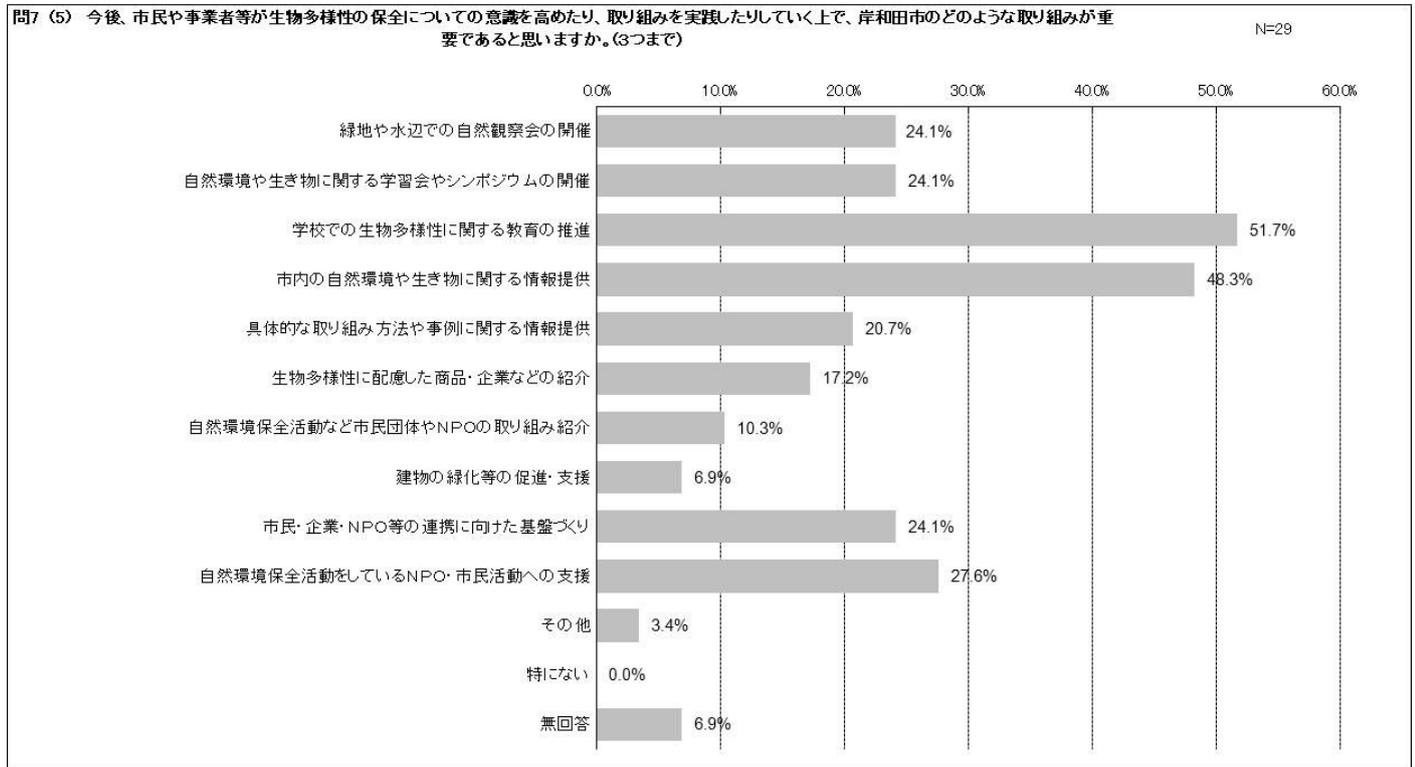
○生物多様性に配慮した企業活動で期待する取り組みは「公園の美化活動など地域の活動に参加する（約 52%）」が最も高く、「生物多様性に配慮した木材や水産業などの原料を利用する（約 48%）」と「省エネ・省資源等の地球温暖化防止の取り組みを実践する（約 48%）」などに対する期待が大きい。



問7（4） 生物多様性に配慮した企業活動について、特に事業者に期待する取り組みはどれですか。		
	回答数	割合 (%)
生物多様性に配慮した木材や水産物などの原料を利用する	14	48.3%
自社の建築物や空きスペースに、緑等を多く創出する	7	24.1%
植林等の環境保全活動を行う	12	41.4%
公園の美化活動など地域の活動に参加する	15	51.7%
売り上げの一部を環境保全活動に寄付する	6	20.7%
省エネ・省資源等の地球温暖化防止の取り組みを実践する	14	48.3%
その他	0	0.0%
特にない	0	0.0%
無回答	2	6.9%
合計	70	

【今後の活動について】

○今後の生物多様性の保全について、市民・事業者等の意識向上や取り組みの実践については「学校での生物多様性に関する教育の推進(約 52%)」、「市内の自然環境や生き物に関する情報提供(約 48%)」が他と比べて著しく期待が高い。



問7 (5) 今後、市民や事業者等が生物多様性の保全についての意識を高めたり、取り組みを実践したりしていく上で、岸和田市のどのような取り組みが重要であると思いますか。

	回答数	割合 (%)
緑地や水辺での自然観察会の開催	7	24.1%
自然環境や生き物に関する学習会やシンポジウムの開催	7	24.1%
学校での生物多様性に関する教育の推進	15	51.7%
市内の自然環境や生き物に関する情報提供	14	48.3%
具体的な取り組み方法や事例に関する情報提供	6	20.7%
生物多様性に配慮した商品・企業などの紹介	5	17.2%
自然環境保全活動など市民団体やNPOの取り組み紹介	3	10.3%
建物の緑化等の促進・支援	2	6.9%
市民・企業・NPO等の連携に向けた基盤づくり	7	24.1%
自然環境保全活動をしているNPO・市民活動への支援	8	27.6%
その他	1	3.4%
特にない	0	0.0%
無回答	2	6.9%
合計	77	

問7 (6) 将来(約50年後)の岸和田の自然環境はどうなっていて欲しいですか。

団体番号	内容
0001	少なくとも今より破壊されていない様に。市街地にも緑の多い公園や水辺が多くあり、出来れば人工的ではなく自然の姿で、あるいは自然に近い状態で残って欲しい。ちょっと玄関先に植木があるとか打ち水をしているとか、すだれやよしずで日よけをしているとか、風鈴が風に揺れているとか。虫取り網をもってセミやトンボを追いかけしている子供達がいて川やため池にはミズスマシやメダカがいて昭和30年代40年代の岸和田が希望です。社寺林にはカブト虫がいて、フクロウやムササビのほこらがあって・・・春木川、宮の池公園、上松公園、お城周辺や神於山なども整備してきれいな街にするのではなく自然が残る街に、公園にして欲しいです。水辺もほとんどないのでイナ川古城川暗渠にうめるのはとてももっていない。
0002	竹林の荒廃化が心配。
0003	海岸部から山間部まで緑でつながり、さまざまな生きものが存在している。・エコロジカル・ネットワークにより緑のつながりがあり、市街地のいたるところで生き物がいきかっている。・緑のカーテンや太陽光発電、地産地消などで環境負荷の少ない生活がおこなわれている。・学校教育の中では環境学習への取組が盛んになり、ビオトープやプランター等を使った水田が設置されている。・湿地(相川にある新池あたり)がよみがえり、湿地性植物が復活している。・河川と水田を行き来するドジョウなどの生き物がみられる。・海から河川の上流部までアユがすめるぐらいの環境になっている。・水田は冬季でも水が張られ、ガン・カモ類の冬島の飛来地になっている。・点在する緑地が街路樹や河畔林などで結ばれている。
0004	適切に森林整備がされ、市内で木材を利用した建築物等が普及して欲しい。
0006	岸和田市の特徴である3本川とそれにつらなため池、市街地、農地、山地という地形の特色を生かし、それぞれの自然環境を維持、保全できるようにしてほしい(特に自然海岸の回復)。
0010	I市民の大多数が「自然環境の保全」や「地球温暖化」、「自然資源の適切な利用」等の理解を深め、積極的に活動に参画する意識が高まり、地域の様々な環境の中のいろいろな生物がつながり、全体のバランスが保たれているような自然環境。
0011	まずは、昭和の頃のように、スズメがたくさん飛んでいる町並み、環境に戻って欲しい。
0013	今、和泉葛城山のブナ林の保全活動を行っている中で、岸和田市の天然記念物に大正12年に指定され現在にある中、将来までこのまま残して欲しいと思っておりますが、現状ブナ林の枯れが進み100本/20年実生木がここ20年で8本しかありません。このままではブナの実生はなくなるかもしれません。なんとかもう少し生育が進むことを望んでいます。
0015	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄のない環境・人工干潟の完成。 ・子ども達が身近な自然で遊んでいる社会。 ・市民が身近な環境維持活動をさりげなくしている社会。
0017	<ul style="list-style-type: none"> ・公園はゴミのない、緑につつまれた場所に。 ・川遊びができるほど水質をきれいに。 ・ホテルが川に戻ってこれるよう(50年前のように)・花がたくさん咲く、とんぼ池や中央公園のような場所に。 ・産業廃棄物処理場を整備して景観を美しく。
0018	自然がますます破壊されていると思われるので公共施設の充実(公園、里山植樹)自然資源を残すようにする。
0019	事業者ばかりに寄付をつのり、個人個人が金銭的な奉仕をしようとしな。何かしようとしたらお金が必要となるので役人も市民も金を出すべきだと思う。
0020	子どものすぐ近くに豊かな自然があつてほしい。その自然の中で彼らが遊び、学べるような環境を望みます。
0021	<ul style="list-style-type: none"> ・和泉葛城山のブナ林が元気に育っている。・山間部の社寺林(意賀美神社、山直神社、稲葉菅原神社、積川神社)が、郷土の自然植生を代表する森としてシイの極相林として育ち、下草にはアリドオシ、フユイチド、イズセンリョウ、ツルユウジ、ルリミノキなどが元気に育っていてほしい。 ・摩湯山古墳は50年前はマツ林であった。現在、落葉樹と常緑樹の混合林であるが50年後には遷移がすすみ、常緑樹林の極相林になっているだろうか。
0022	主要3河川でホテルが飛び交い、山地、里山は緑で覆われ、田畑が適切に使用されており、砂浜が再生されている。
0023	現状のままであつてほしい。自然環境は、放任状態では維持されません。現状維持できる対策が必要だと考えます。
0025	生物など自然が守られてほしい。
0026	農業、漁業、林業を抱えそれを誇りに持って消費する市民、この循環がうまくなされ、その結果、豊かな自然も残るとい(今以上に整備され)都市。
0027	今よりも良くなっていると思う。
0029	現在の自然豊かな岸和田市がこの状態の維持及び向上して欲しい。

問 7 (7) 今後の岸和田の生物多様性に関する取り組みについて、あなたの考えやご提案をお書きください。

団体番号	内容
0001	「生物多様性」という言葉もまだまだ聞いたことのない人の方が多いと思います。が私達の生活は全ての生き物と直接的または間接的に支えあって生きていけるのであってすべての市民にかかわる問題だと思うので、一部の団地や企業だけで取り組む問題ではないと思います。しかしそのためには人々の理解やよびかけ情報提供がなければ個人的に何をどうしてよいかわかりません。わたしたちのグループでは30年前からこういう事の学習よびかけ協力をして来ました。今後も1参加できる取り組みがあればグループ、あるいは個人で協力したいと考えます。まずは公報などで「生物多様性」とはどうゆう事か私達一人づつが誰でも出来る事(地産地消や外来動物・植物の飼育や栽培野生植物動物の保護や自宅の植栽節電やごみ電量やリサイクルへの取り組み)を推進したり学習会た講演会の開催・希望者への植物無料配布やどうしても飼えなくなった人の外来生物植物の無料引取りや駆除を無料でしたり、またそういう事を小学校や幼稚園でも指導して欲しいです。
0003	・重要地域の保全(和泉葛城山、神於山、ため池)・自然環境の保全地域を指定し適正な管理をする。・動植物の生息生育状況など把握(調査)し、その他を適切に管理する。・人工林を管理し間伐材を利用した商品の開発。・環境学習や環境保全活動をすすめ、その人材を育成する。・市内を流れる三川(津田川・牛滝川・春木川)を利用した生きもの学習をこれまで以上に実践していく。
0006	河川、農地、山林、市街地など法による担当分野をバラバラに把握するのでなく、横断的、一体的に把握、計画管理していく。行政組織にしていくとなしに、生物多様性は考えられない。思いきった組織体制を作るくらい腹づもりで取り組まないと・・・。また、岸和田をどんな特徴のある、魅力のあるところにあるのか、その中に”自然”というのが特徴魅力になるのか、位置づくのか・・・。それをしっかり定めておかないと(箱庭的自然としてではなく、生きている自然として)全国共通の”金太郎アメ”のような型どりの言葉だけのものに終わってしまうと思います。
0009	生物多様性が第一ではなく、生活環境において人間の環境を良くすることが優先されるべきで、どう自然と折り合いをつけていくことが大切であると思います。人間環境も自然にあわせ、どれだけ自然に配慮してゆかにかかっていると考えます。
0010	抽象的な取り組みではなく、具体性のある手法で対象区域や目標設定を明確にしてほしい。
0011	生物多様性や、循環に支障をきたしているのは、川上である森林環境の変化と感じます。戦時中に建築材や燃料用として使用するのをメインに緊急植林したのはずの材が、使用せずに大きく育ってきているのにも関わらず、販売先がない。需要と供給のバランスが崩壊しています。コストに見合う供給先・供給量が確保できれば、受光伐をすることになるわけですから、必ず森林環境は整い、川上から流れる水はミネラル豊富で川下の土壌も肥やします。相対して、生態系バランスが崩れていく瞬間は、カラフルな工場排水による河川汚染や、乱伐により岩山や平地だけになってしまい、濁流の土石流被害などでも有名な中国のことです。環境対策を無視しているのが、多様性を通り超えて、生物がいない川や森です。そうなると、生物多様性と一言でいっても、環境のバランスだと感じます。また、桧の化学式を参考に考えていただきたいのですが、桧は、 $C_8H_{12}O_6$ だったと思います。これは、木を燃やして、水分である H_2O が無くなると、炭素になるということです。当たり前のことですが、空気中の $2CO_2$ を吸着して、木は幹となり育つのです。だから、炭素・水・窒素化合物というものが、イコール桧ということです。一般的には、緑の樹木は光合成をして酸素を作っていて、空気がキレイになるものだと思いますが、実際は $2CO_2$ 吸着 = $1:9$ です。遅れている森林について、保育森林整備を施していき、水質だけでなく、空気環境も同時に整えていかないといけないと感じます。
0013	天然記念物に指定されて、90年になるのに合わせ、80年余りで、北海道、広島のブナ林の団体を招きイベント開催をされる、今年90周年でイベントを開催するのではないかと考えております。皆様の考えで(行政の方向性)、市民は盛り上がりやすい。いろいろな状況の中、忙しいとは思いますが、皆様の活動により、市民の活動を含め、色々な団体の活動も進むと思います。今後ともよろしく願いいたします。
0015	岸和田市総合計画の中の一つとして位置づけ、他の計画と総合的に取り組まなければいけない。
0017	池、川に生き物がたくさん生息できるように、市・市民・企業・学校が一体となって自然環境保護に取り組んでいきたい。
0018	環境保全と自然資源を使い尽さぬように配慮して漁業、林業者が生産した木材やシーフードを消費者として選んで買入していく知恵が必要。
0019	資金の必要性を真剣に考えること。税金を使ってやるなら、誰でもできることです。
0021	・これまでの調査データをとりまとめ、保存しておいてほしい。市が調査したもの10年くらい前に保全課で植物、野鳥などの調査をしたもの。春木川の子どもの水辺を整備する時に府が調査したもの。自主学习グループはらっぱの社寺林調査、摩湯山古墳調査、30年間のタンポポ調査など。
0022	詳細な現況調査が必要と考えられます。特に無指定区域における開発等においては、その開発で失われる生態系を把握し、その対策等を検証できることとなります。また外来生物の繁殖状況について広く市民に広報し、その対策について、市民とともに考えるようにすることも必要です。
0026	市民と海とを結ぶことで自然に対する認識が変わると思います。水と親しめる親水エリアを作ることでイメージは大きく変わると思います。食べ物を通して地域と結びつくのも一つのアプローチとして有効と考えています。
0029	生物多様性に関する取り組みは結果がすぐ現れる事は希なケースである事から、地道であっても、継続して取り組んでいくことが大切だと思います。